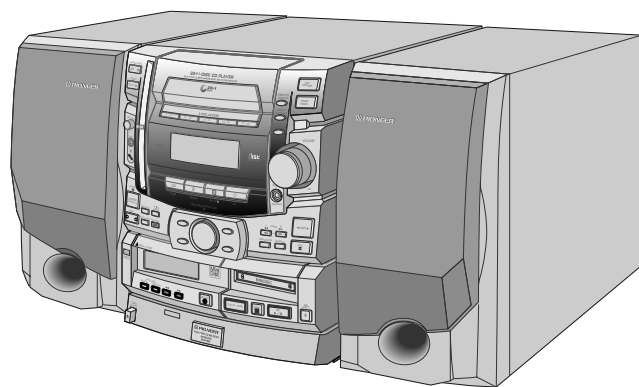


X-MDJ 5 X-MDJ 7

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。



[X-MDJ 5] 図は X-MDJ 5 です。

ステレオフィールタイプ CD MD カセットデッキレシーバー
: XR-P5MD
スピーカーシステム : S-P770V-LR

[X-MDJ 7]
ステレオフィールタイプ CD MD カセットデッキレシーバー
: XR-P7MD
スピーカーシステム : S-P770V-LR

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輛、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有料修理を承ります。

取扱説明書



接続のしかたや操作前に知っておいていただきたいことが書かれています。

準備

とにかく音を出して楽しむための説明をしています。

基本操作

便利な機能やおもしろい機能を説明しています。

応用操作

故障かな？と思ったら
アフターサービスについて

その他

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意

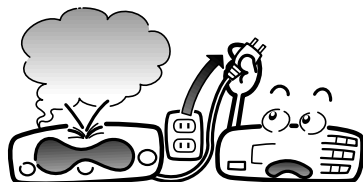
警告

〔異常時の処置〕

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



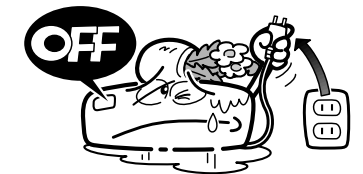
プラグを抜け



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



	安全上のご注意	2
準備	こんなことができます	4
	お使いになる前に (付属品を確認しよう)	5
	MD,CD およびテープの取り扱い	6
基本操作	接続のしかた	8
	各部のなまえを知っておこう	11
	時刻を合わせよう	14
	電源を入れてみよう	15
	CD,MD を操作する前に必ずお読みください	16
	CD を聞くには	18
	MD を聞くには	20
	ラジオ放送を聞くには	22
	カセットテープを聞くには	23
	MD に録音する前にお読みください	25
	MD に録音するには	26
	テープに録音するには	27
	ラジオ放送を手軽に聞くには (ステーションメモリー / ステーションコール)	28
	CD の便利な機能	
	希望のディスク・曲から演奏する (ディスクサーチ、一発選曲)	29
	気に入った曲だけを演奏する (ベストセクションメモリー)	29
	好きな曲を予約する (プログラム演奏)	30
	繰り返し演奏する (リピート演奏)	31
	順不同で演奏する (ランダム演奏)	32
	ディスクの中をすばやく探す (ハイライトスキャン)	32
最近聞いたディスクを探す (プリビウスディスクスキャン)	33	
表示を変えてみよう	33	
ディスクに名前をつけよう (ディスクタイトルメモリー)	34	
MD の便利な機能		
希望の曲から演奏する (ダイレクト選曲)	36	
繰り返し演奏する (リピート演奏) / 順不同で演奏する (ランダム演奏)	36	
好きな曲を予約する (プログラム演奏)	37	
モノラルで長時間録音する (モノラル長時間モード)	38	
録音部分の途中から録音する	38	
録音中に曲番をつける / ひと続きの曲として録音する	39	
音楽と効果音を同時に演奏する (サウンドミックス)	40	
MD の編集機能		
編集機能でできること / 編集メニューについて	41	
曲の区切りを整理する (デバインド機能 / コンバイン機能)	42	
曲を並べ換える (ムーブ機能 / プログラムムーブ機能)	44	
曲を消す (イレース機能 / オールイレース機能)	46	
ディスク名や曲名をつける (ディスクネーム機能 / トラックネーム機能)	47	
オートフェードイン / フェードアウトで録音する	52	
リミックス機能の使い方 (X-MDJ7 のみ)	53	
リミックス機能を楽しむには	54	
演奏の速さ (テンポ) を変える	55	
テンポを変えても音程を変えないようにするには	55	
CD の頭出し位置 (キューポイント) を決めて演奏待機する	56	
CD から MD へつなぎ録りする		
CD から MD へつなぎ録りする	57	
自動編集録音 (A.S.E.S.) をする		
CD を MD, テープにアクセスする	60	
CD を MD, テープにレンタルアクセスする	62	
MD をテープにアクセスする	64	
テープを MD にアクセスする	65	
リミックスで CD を MD にアクセスする (X-MDJ7 のみ)	66	
音質 / 音場効果を変えて楽しもう (ピーパス / サウンドフィールドコントロール)	67	
カラオケ機能を楽しもう	68	
アメニティータイマーを使ってみよう	69	
好きな音楽で目覚める (ウェイクアップタイマー)	69	
留守録音する (タイマー録音)	71	
音楽を聞きながら眠る (スリープタイマー)	73	
増設 CD プレーヤーを使う	74	
日ごろのお手入れ	75	
故障? ちょっと調べてください	76	
仕様	78	
アフターサービス	79	
デモモードについて	裏表紙	
その他		

こんなことができます

X-MDJ 5、X-MDJ 7 共通の機能

1

25 枚の CD (約 300 曲) の中から聴きたい曲をいつでもワンタッチプレイ!

ボタンひとつで曲のメモリー、再生が可能な 2 つのベストセクション機能を搭載 (おのおの 25 曲をメモリー可能)

➡ P29

25 枚分のラックを 5 枚毎にブロック化して、それぞれにダイレクトプレイキーを配することにより、25 枚の CD をライブラリー感覚で簡単に使える 5 ディスクアクセス機能搭載 ➡ P19

2

25 枚チェンジャーを使えば、ディスク交換の手間無しにオリジナル MD、テープ編集が可能!

プログラムした曲の積算時間がでるプログラム自動編集録音 (A.S.E.S) ➡ P60

レンタルした複数枚のシングル CD を一気に録音するレンタル CD A.S.E.S ➡ P62

ベストセクションでメモリーした曲を自動録音するベスト A.S.E.S. ➡ P61

3

多彩な MD 機能!

CD のデジタル信号を高音質のまま録音

ジョグ操作で簡単にディスク名や曲名の文字入力ができます。(カタカナ入力にも対応) ➡ P47

デバインド、コンバイン、ムーブ、イレースなどの MD 編集も簡単 ➡ P41

モノラル長時間モードで、英会話などの録音にも便利 ➡ P38

4

効果音などをバックに音楽が楽しめるサウンドミックス機能!

CD や MD の音をミックスしての再生が可能

例えば波の音を BGM に好きな音楽を聞いて楽しめます ➡ P40

5

CD の増設に対応した入出力端子!

増設用 CD コントロール出力端子を装備 ➡ P74

増設用 CD 入力端子を装備 ➡ P74

X-MDJ 7 の独自機能

6

気分に合わせて CD の曲のテンポが好みに変えられる!

ジョグを回して CD 演奏のテンポを簡単に変えることができます (可変範囲 $\pm 10\%$) ➡ P55

CD 演奏のテンポを変えても曲の音程が変わらないマスターテンポ ➡ P55

7

好きな曲やフレーズを同じテンポで MD につなぎ録りして、自分だけのノンストップ MD がつくれるデジタルリミックス機能!

曲の頭出しを自由に設定でき、瞬時に再生スタートできるキュー機能 ➡ P56

CD や MD の曲のテンポが目で見えてわかるオート BPM カウンター ➡ P55

CD から MD へつなぎ目なく録音できる MD カットイン録音 ➡ P57

8

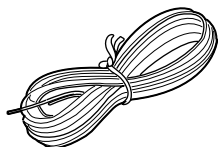
外部エフェクターが接続可能なセンド、リターン端子!

お使いになる前に

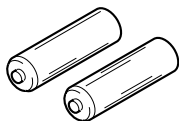
準備

付属品を確認しよう

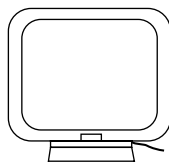
・ FM アンテナ × 1



・ 単 3 形乾電池 × 2 (R6P)

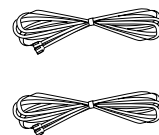


・ AM ループアンテナ × 1



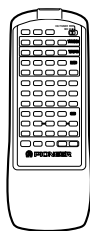
(図は組み立てた状態です)

・ スピーカーコード

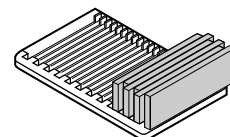
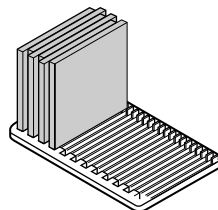
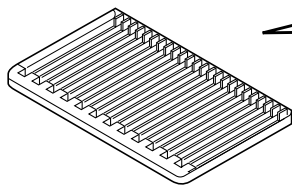


(スピーカーに付属)

・ リモートコントロールユニット × 1



・ ディスクケーススタンド × 1



ディスクケースの番号と製品にセットされたディスクの番号を合わせると便利です。

シングル CD のケースは図のように置くことができます。

注意!

2 枚組のディスクケースなど入らないものもあります。

MD, CD およびテープの取り扱いかた

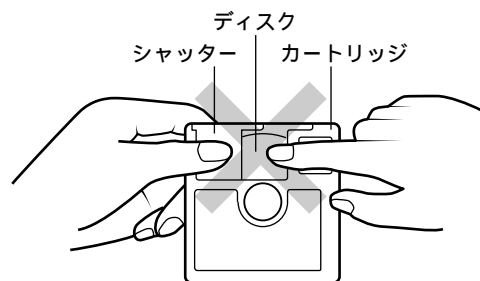
MD の取り扱いかた

右記マークのディスクを
お使いください。



⚠ 注意

ディスクに直接触れないでください。
シャッターを無理に開けるとこわれます。
分解しないでください。



保管

ケースに入れて保管してください。
次のようなところには保管しないでください。

- ・ 高温多湿の場所
- ・ 直射日光が当たる場所
- ・ 砂やホコリの入りやすい場所

カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽くふき取ってください。

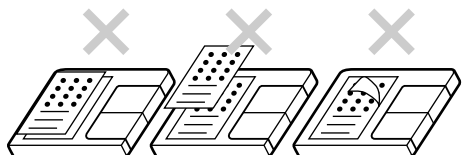
ラベルの貼付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が
取り出せなくなります。

指定の場所（エリア内）に貼ってください。

重ねて貼付けしないでください。

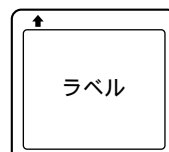
ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえて
ください。



MD の種類について

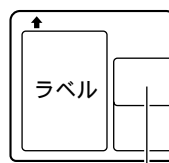
再生専用と録音・再生用があります。

再生専用 MD（録音はできません）



シャッターが裏面
にあります。

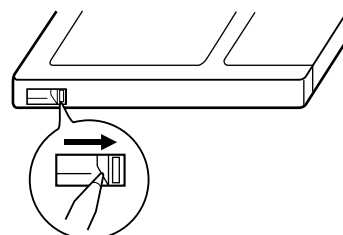
録音・再生用 MD



シャッターが両面
にあります。

録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



MD,CD およびテープの取り扱いかた

CD の取り扱いかた

右記マークの付いたコンパクトディスクをお使いください。



ディスクの持ちかた

なるべく信号面（虹色に光っている側）にふれないようにしてください。



保管

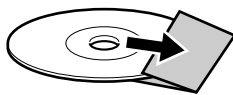
必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

ディスクに指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。



円周に沿って拭かない



柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

ディスクの清掃には別売のディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。

汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。



注意 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

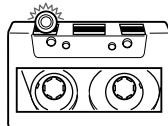
カセットテープの取り扱いかた

“カセットテープと上手にお付き合い”

以下の注意事項は必ずお守りください。

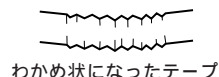
⚠ 注意

テープがからまる！



C-90 を超えるテープ（C-100, C-120 等）は厚みが非常に薄く、早送り、巻戻し、停止等を繰り返すと、ピンチローラやキャプスタンに巻き込んだり、テープが切れたりする原因になりますので、ご使用にならないでください。

巻き乱れのあるテープ、わかめ状になったテープ、伸びたテープも巻き込んだり、切れたりする場合がありますので、ご使用はおすすめできません。

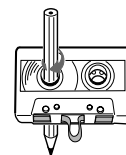


わかめ状になったテープ



伸びたテープ

テープたるみがあると巻き込んだりする場合がありますので、ご使用前に図のようにたるみを取り除いてください。



テープ使用時のご注意

テープのはじめには、リーダーテープ（録音できない部分）があります。あらかじめ、約 5 秒間テープを走行させてから録音を始めてください。

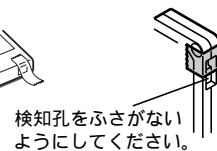
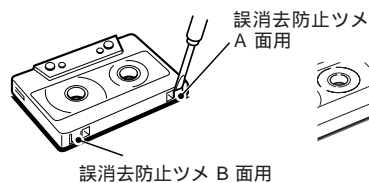
また、録音前に早送り、早戻しをすると、テープの巻きムラによって起こるカセットデッキへの負担が防げます。

録音したものを誤って消さないために

カセットテープの側面にある誤消去防止用のツメを折ってください。ツメを折っても、穴をセロハンテープなどで二重にしっかりと貼れば録音することができます。

TYPE II（HIGH/クローム）のカセットテープでは、テープタイプの検知用の穴をふさがないようにご注意ください。

ドライバーなどで折る



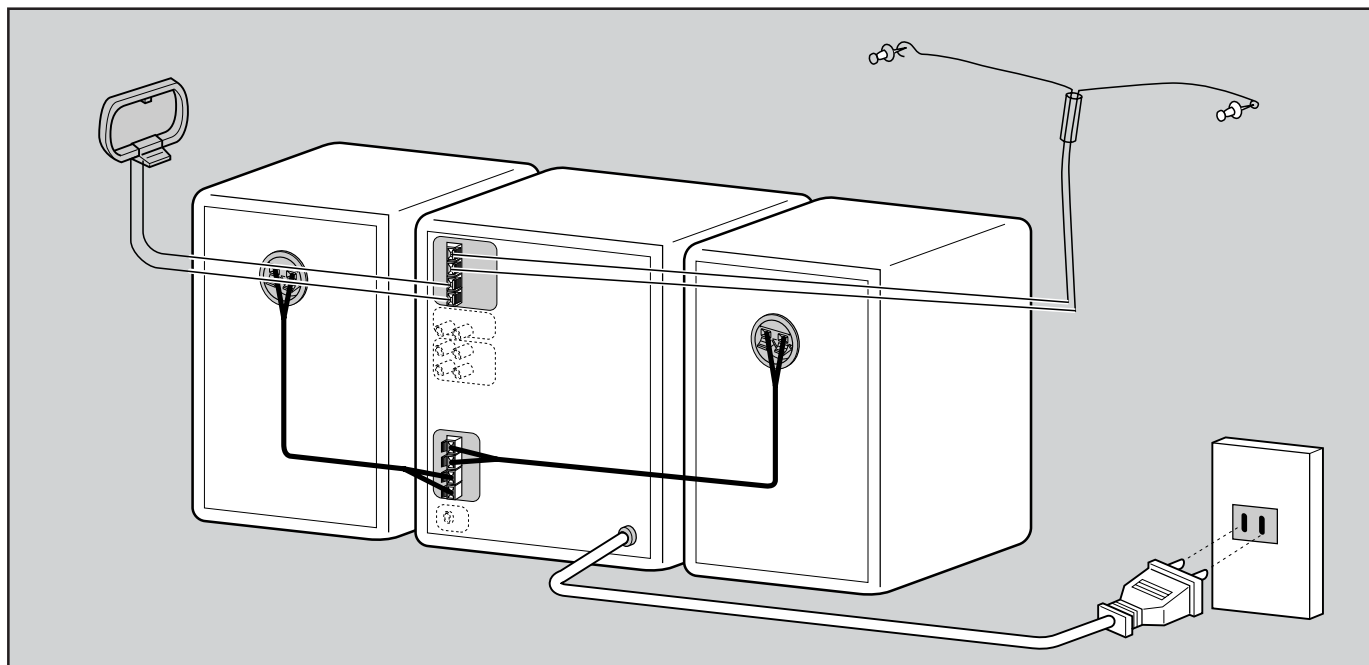
保管

カセットケースに入れて、ホコリ・油・湿気・磁気の影響を受けないところに保管してください。

接続のしかた

本機を使う前に次の手順で正しく接続して下さい。

- ・アンテナは必ず接続してください。(接続しないと AM・FM 放送が受信できません)
- ・本機は必ず水平な場所に設置してください。



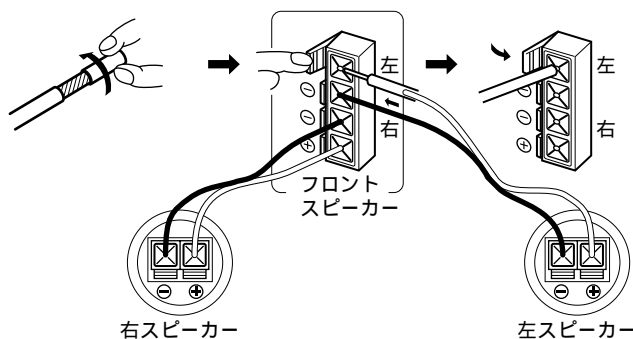
図は X-MDJ7 です。

1 スピーカーをつなぐ

スピーカーコードの先端のビニールを回しながら引抜き導線を出します。
スピーカー端子のレバーを開き赤いコードは ⊕ (赤側)、黒いコードは ⊖ (黒側) にスピーカーコードを差し込みレバーを元に戻します。
きちんと接続されたかどうかコードを軽く引っぱって確かめましょう。



注意 本機はスピーカー部に潤滑剤を使用しています。性能を劣化させますので手や布で触れないようにお願いします。もし潤滑剤が手に付いた場合は、すぐに中性洗剤で洗ってください。



スピーカーシステムについて

スピーカー設置上の注意

直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりスピーカーが故障する原因になります。

不安定な場所に設置するのは大変危険ですとおやめください。

本機のスピーカーシステムは防磁設計 (EIAJ) ですのでテレビと組合せても色むらが起こりにくくなっています。まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15～30 分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。

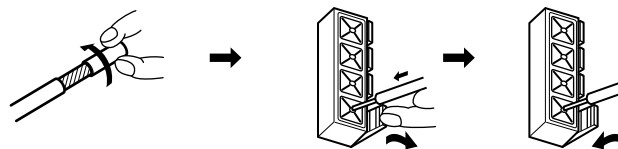
* 「防磁設計 (EIAJ)」とは (社) 日本電子機械工業会 (EIAJ) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

接続のしかた

2 AM・FM アンテナをつなぐ

AM ループアンテナについて

平らな面に置き、受信状態の最もよい方向に向けてください。壁に取付ける場合も最良受信状態を見つけて取付けてください。



FM アンテナについて

FMアンテナはたらししておいたり、丸めたままにしないで最良受信状態が得られるように張ります。

接続したアンテナのコードについて

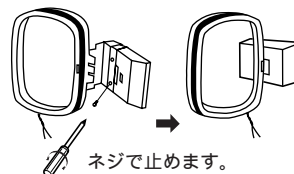
本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。またパソコン、テレビなどからも、できるだけ離してください。ノイズの原因になります。

AM ループアンテナの組立、取付けのしかた

< 組立てかた >



< 壁などに取り付けるとき >



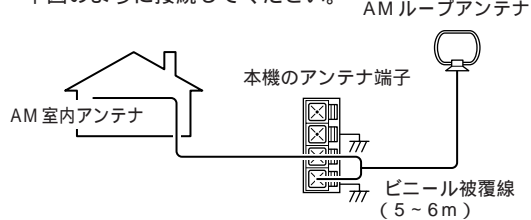
ネジで止めます。

付属のアンテナでよく聞こえないとき

・AM 外部アンテナ、市販の FM 屋外アンテナを接続します。

AM 外部アンテナの接続

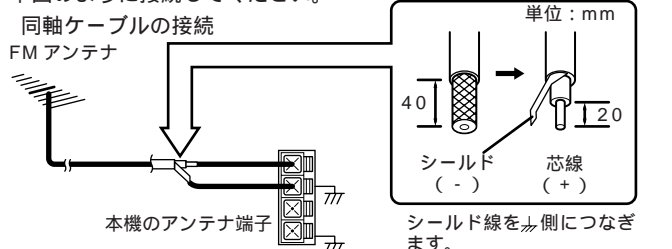
下図のように接続してください。



AM 外部アンテナを接続しても AM ループアンテナは外さないでください。

FM 屋外アンテナの接続

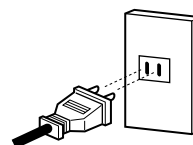
下図のように接続してください。



（信号用アース）は、アンテナを接続した場合の雑音の低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

3 最後に電源をつなぐ

壁のコンセント（AC 100V）にきちんと差し込みます。



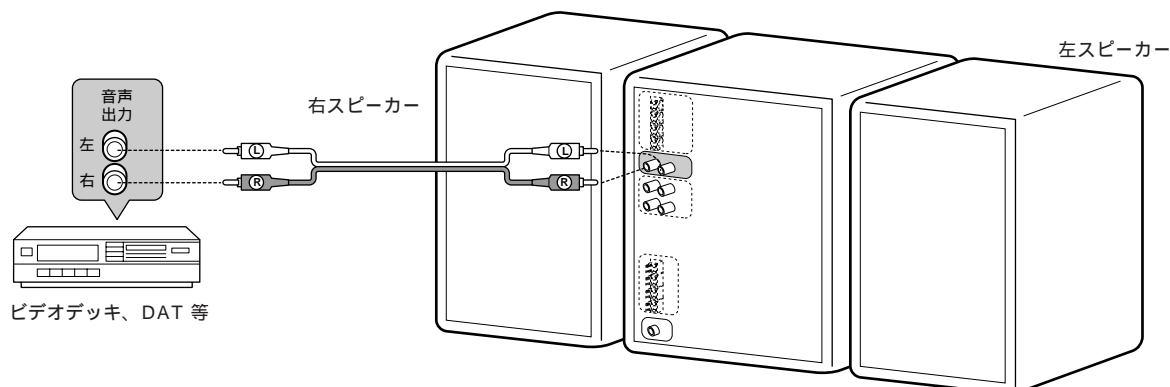
製品を移動するとき

すべてのディスクを取り出し CD の演奏停止状態で電源スイッチをオフにします。約 10 秒経過したら電源コードを抜き移動します。

故障の原因となりますので、ラック内にディスクを入れたまま移動しないでください。

製品を梱包する際、もしくは製品を梱包箱から取り出す際は、製品の前面に手をかけないでください。

接続のしかた



図は X-MDJ7 です。

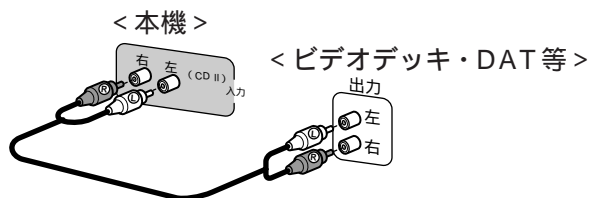
外部機器との接続

(ビデオデッキ、DAT 等)

再生するときは本機の入力 (CD) 端子と接続機器の出力端子を接続します。

市販のオーディオコードでつないでください。

詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。



CD プレーヤーの増設

(接続については P74 をご覧ください。)

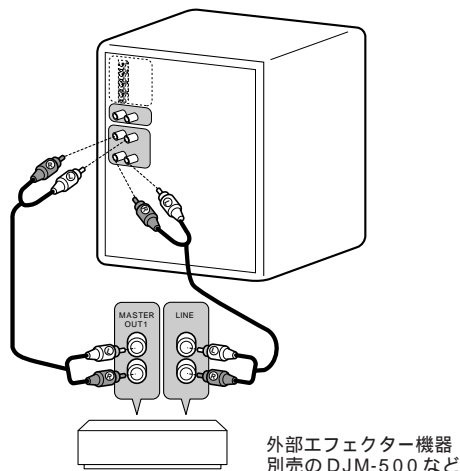
コントロール入力端子を持つパイオニア製 CD プレーヤーが接続できます。

市販のミニプラグ付きコード (抵抗なし) で本機のコントロール出力端子と、接続する CD プレーヤーのコントロール入力端子を接続します。

本機のリモコン受光部を接続した CD プレーヤーのリモコン受光部として使用できます。

市販のオーディオコードで本機の CD 入力端子と接続する CD プレーヤーの出力端子を接続します。

X-MDJ7 のみの機能



外部エフェクターとの接続

別売の DJ ミキサーなどの外部エフェクターをつないで音質調整をしたいときは、SEND 端子と RETURN 端子のショートピンをはずし、SEND 端子を外部エフェクターの入力端子 (LINE 入力) と、RETURN 端子を外部エフェクターの出力端子 (MONITOR OUT) とそれぞれ接続します。

注意!

外部エフェクターを接続しないときは、必ずショートピンを差し込んでおいてください。ショートピンをはずすと音がでません。



注意!

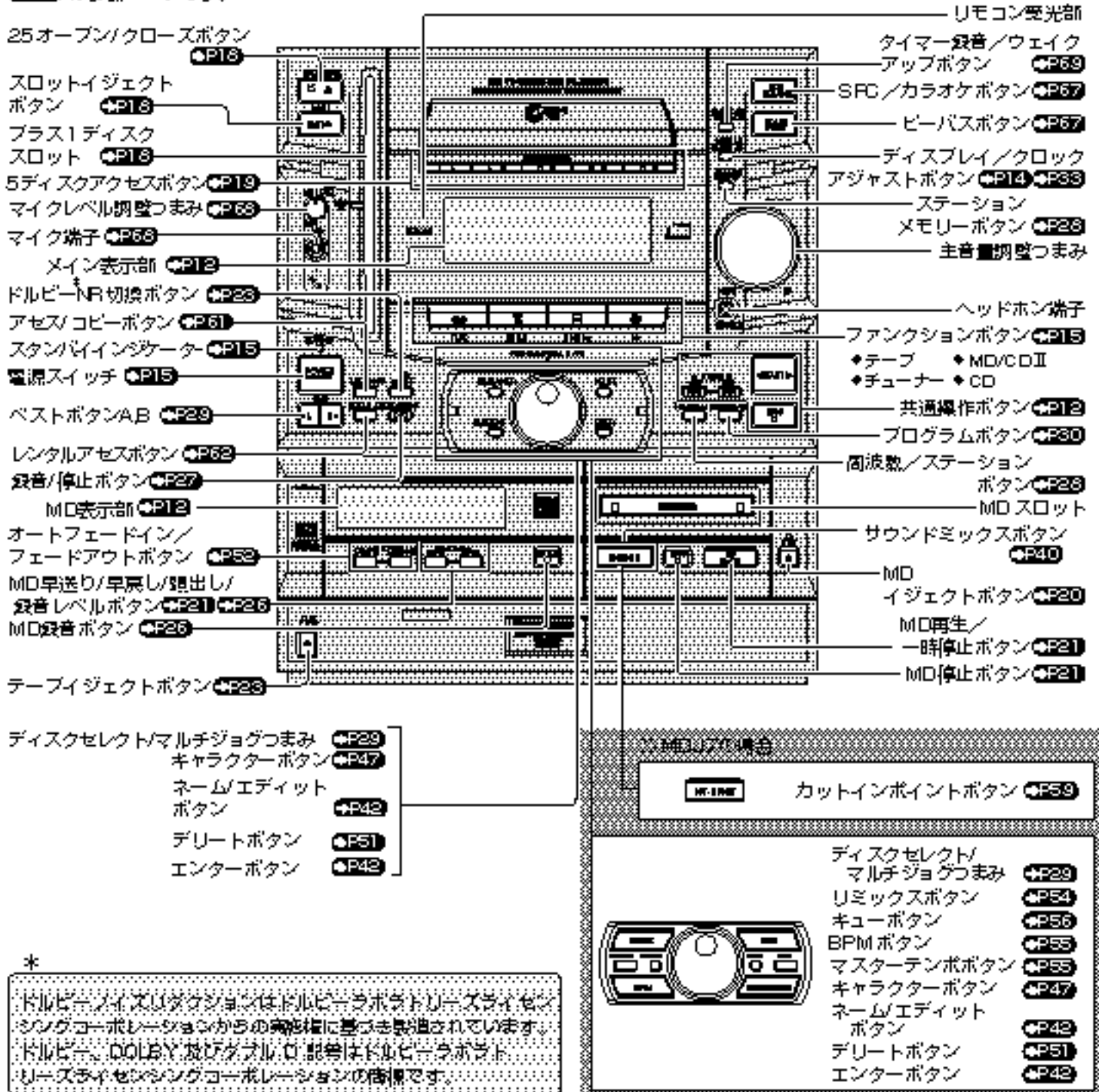
外部エフェクターは出力レベルコントロールができるものを使用して下さい。

各部のなまえを知っておこう

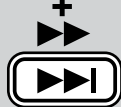
本体部

準備

イラストはMDJ5です。
● は説明ページです。

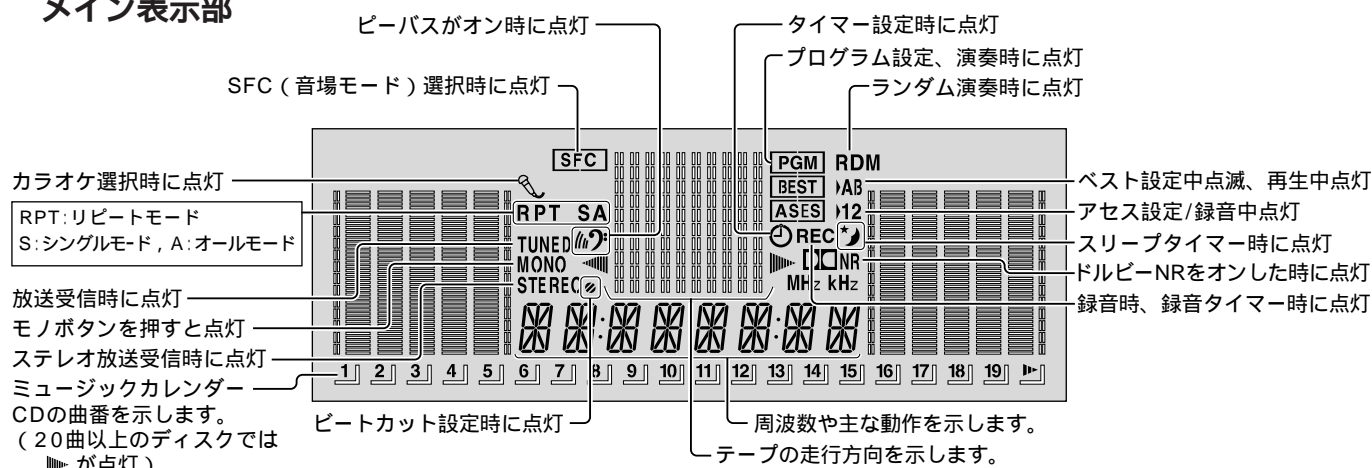


共通操作ボタン

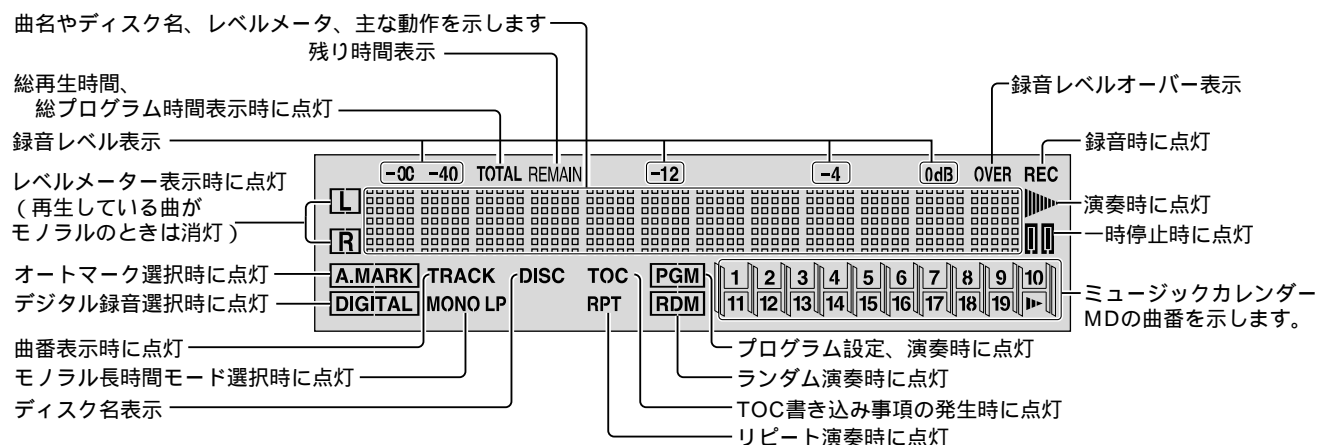
				
CD 使用時	早戻し / 頭出しボタン	再生ボタン / 一時停止ボタン	早送り / 頭出しボタン	停止ボタン
テープ使用時	巻戻しボタン / 頭出しボタン	再生ボタン、走行方向切替	早送りボタン / 頭出しボタン	停止ボタン
チューナー使用時	周波数ダウンボタン	—————	周波数アップボタン	—————
(MD, 外部入力使用時)	—————	—————	—————	—————

表示部

メイン表示部



MD 表示部



各部のなまえを知っておこう

リモコン

準備

SFC : SFCボタン
P.BASS : ピーバスボタン
DISPLAY : ディスプレイボタン

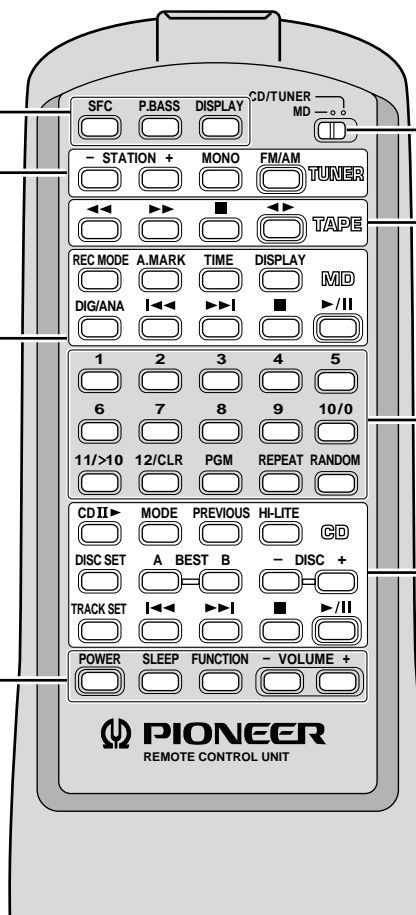
チューナー操作ボタン

- STATION + : ステーションボタン ➡P28
MONO : モノボタン ➡P22
FM / AM : FM/AMボタン ➡P22

MD操作ボタン

REC MODE : 録音モードボタン
A.MARK : オートマークボタン
TIME : タイムボタン
DISPLAY : ディスプレイボタン
DIG / ANA : デジタル/アナログボタン
I◀▶ : トラックサーチボタン
■ : 停止ボタン
▶/II : 再生/一時停止ボタン

POWER : 電源ボタン
SLEEP : スリープボタン
FUNCTION : ファンクションボタン
➡CD➡TAPE➡FM/AM
CDII◀MD◀
- VOLUME + : 音量ボタン



CD / チューナー, MD切り換えボタン

テープ操作ボタン

◀▶ : 早送り、巻戻しボタン
■ : 停止ボタン
◀▶ : 再生ボタン
再生中に押すとテープ走行方向が反転します。

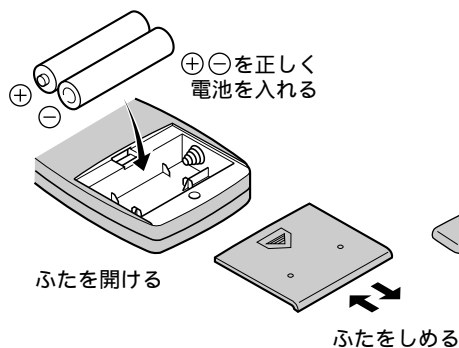
1 ~ 11 / > 10 : 数字ボタン
12 / CLR : 12, クリアーボタン ➡P28 ➡P31 ➡P37
PGM : プログラムボタン ➡P30 ➡P37
REPEAT : リピートボタン ➡P31 ➡P36
RANDOM : ランダムボタン ➡P32 ➡P36

CD操作ボタン

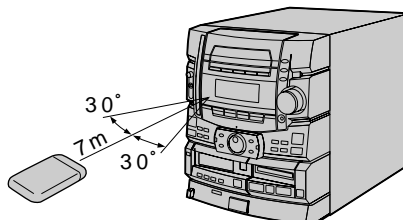
CDII▶ : CDII再生ボタン
MODE : CDモードボタン ➡P20
PREVIOUS : プリビースボタン ➡P33
HI-LITE : ハイライトボタン ➡P32
DISC SET : ディスクセットボタン
BEST A,B : ベストボタン ➡P29
- DISC + : ディスクボタン ➡P29
TRACK SET : トラックセットボタン
I◀▶ : トラックサーチボタン ➡P19
■ : 停止ボタン ➡P19
▶/II : 再生/一時停止ボタン ➡P19

リモコンに電池を入れよう

< 電池の入れかた >



< リモコン操作範囲 >



直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯を離してください。

注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。(電池の注意事項もよく見てください。)

乾電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。

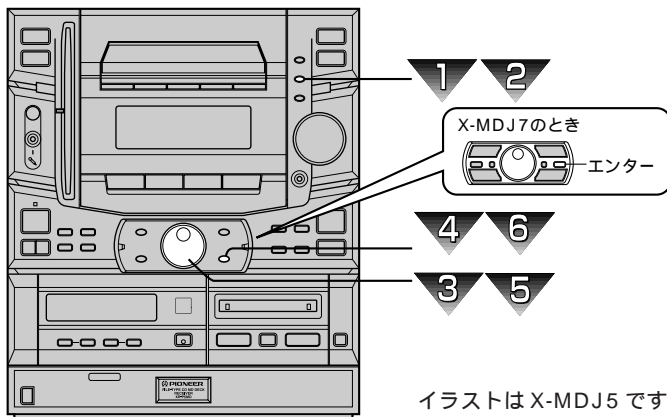
新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

長い間(1か月以上)使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。

時刻を合わせよう

時刻は 24 時間表示です。
時刻合わせは電源オフで
行って下さい。



例) 午後 6 時 40 分 (18:40) に合わせる場合

1 電源オフ時に押す

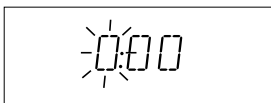
DISPLAY
CLOCK ADJ



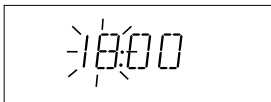
ディスプレイが点灯します。

2 さらに 4 秒間押す

DISPLAY
CLOCK ADJ

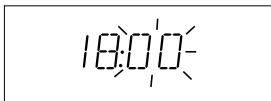


3 “時” を合わせる



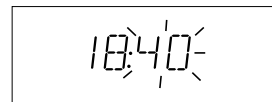
4 押す

ENTER



5 “分” を合わせる

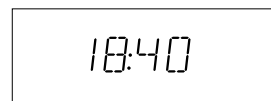
DISC SELECT/MULTI JOG



6 時間になったら押す

押した時点で動作を開始します。

ENTER



5 秒後に表示が消えます。



時刻を合わせていないとタイマーが使えませんので必ず合わせてください。

停電にご注意！

停電があったり、電源コードを抜くと、時刻の設定は消えてしまいます。

消えた場合はもう一度合わせ直してください。

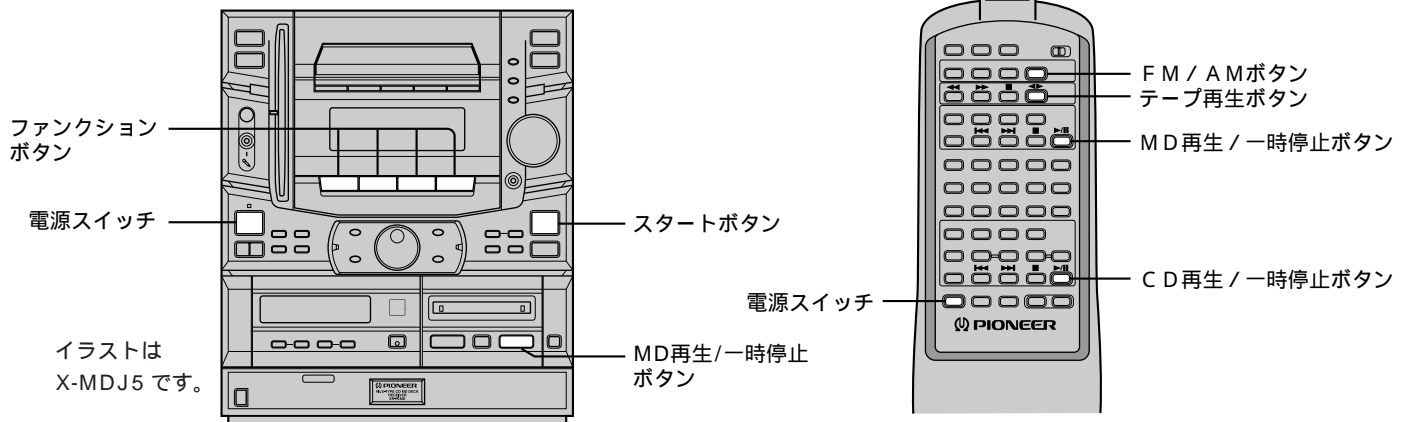


時刻合わせは電話の時報を聞いて行うことをおすすめします。

⑥ でエンターボタンを押した時点で動作開始します。

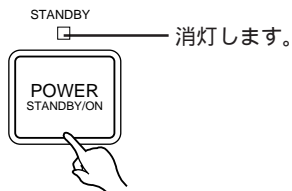
電源を入れてみよう

もう一度「接続のしかた」を見てスピーカーやアンテナなどが接続されているか確認しましょう。



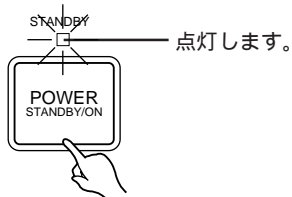
基本
操作

電源スイッチを押す



電源を切るとき

電源スイッチを押す



節電のために

旅行などで長時間使用しなときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。電源コードを抜くと、時刻の設定は消えてしまいます。消えた場合はもう一度合わせ直してください。

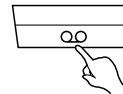
電源がオフ(スタンバイ)のとき、プラス1ディスクスロットへディスクを入ると演奏をはじめます。

電源がオフ(スタンバイ)のとき、MDスロットへMDを入ると、電源がオンになります。

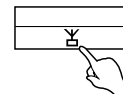
電源がオフ(スタンバイ)のとき、スロットイジェクトボタン、MDイジェクトボタンを押すと、電源がオンになりディスクを取り出すことができます。

ダイレクトパワーオン

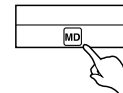
電源がオフ(スタンバイ)のとき下記ボタンを押すと電源がオンになります。



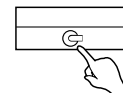
カセットテープが入っていれば演奏をはじめます。



ラジオ放送になります。



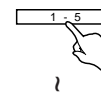
前回のファンクションがMDだった時：
MDが入っていれば演奏をはじめます。
前回のファンクションがCDIIだった時：
接続してある機器が動作していれば音声出力します。



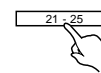
CDが入っていれば演奏をはじめます。(ラストディスクメモリー P20 されたCDを演奏します。)



電源をオフする前のファンクションが自動的に動作し、演奏をはじめます。

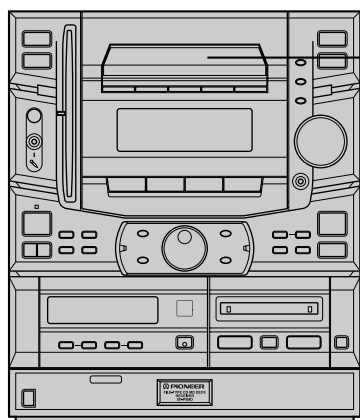


押した5ディスクアクセスの中にCDが入っていれば演奏を始めます。

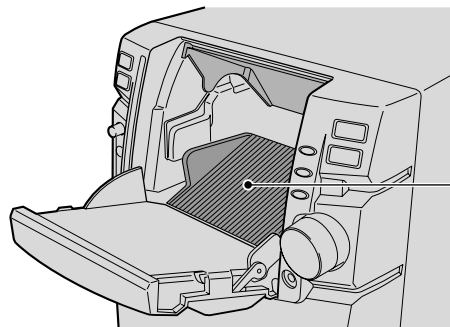


MDが入っていれば演奏をはじめます。

CD,MD を操作する前に必ずお読みください



ドアパネル

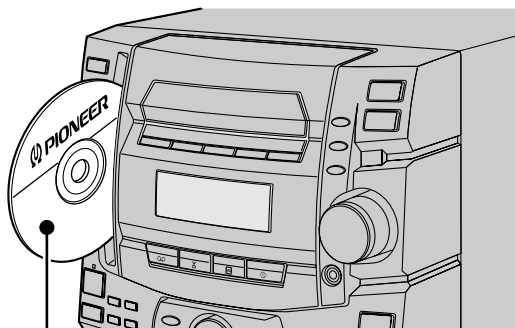


ラック

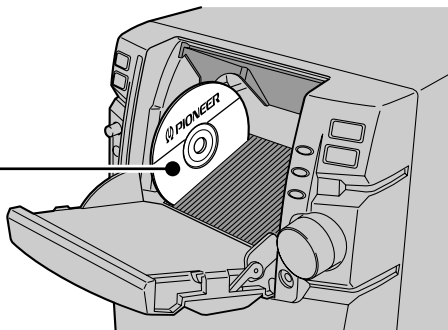
イラストはX-MDJ5です。

プラス1ディスクスロットまたはラック内にディスクを入れるときは、レーベル面（印刷面）を右側にしてください。25オープンクローズボタンを押すとドアパネルが自動的に開きます。もう一度ボタンを押すとドアパネルが自動的に閉じます。

ドアパネルを閉じるとき指をはさまないようご注意ください。また、製品内部へは絶対に手や物を入れないでください。

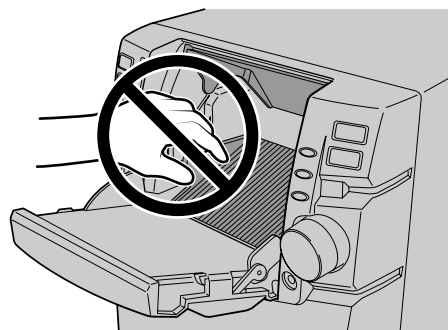


レーベル面を右側にする



プラス1ディスクスロットにディスクのレーベル面（印刷面）を左にして入れた場合、ディスクは自動的に出てきます。

無理にドアパネルを開けないでください。



ラック等プレーヤー内にはディスク以外のものを入れないでください。

8cmCD 用アダプターは使用しないでください。

ディスク挿着溝に1枚ずつディスクを入れてください。

プラス1ディスクスロットにディスクを2枚以上入れないでください。

ラックに12cmCDと8cmCDを交互に入れるとディスク交換のとき8cmCDが取りづらくなります。

12cmCDは左から、8cmCDは右から入れるような方法をおすすめします。



1つのディスク挿着溝にディスクを2枚以上入るとディスクを傷つけたり、故障の原因となります。

本機は水平状態でお使いください。

CD,MD を操作する前に必ずお読みください

MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT と異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。

これらは、システム上の制約によるものであり、故障ではありません。



こんなとき

MD の最大録音時間に満たなくても“^{トラック} TOC FULL”が表示されることがある。
(TOC とは、MD の内周部分に記録される曲番や録音場所などの情報のことです。)

MD の最大録音時間に満たなくても“^{ディスク} DISC FULL”が表示されることがある。

短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。

MD に録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。

編集で曲と曲とをつなげないことがある。

録音された曲を早戻し / 早送りすると、音がとぎれることがある。



このような制約があります

MD システムでは、^{トラック} TOC に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音をしたり、^{トラック} 編集を繰り返すと、曲数が最大 (254 曲) にならなくても、TOC の情報がいっぱいになり、録音できなくなります。
(このような MD は、全曲イレース機能を行えば最初から使用できます。)

ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。

MD の録音残り時間を表示するとき、12 秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあります。

通常は、1 クラス (約 2 秒) を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約 2 秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる残り時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
(録音中に“^{ディフェクト} DEFECT”と表示され、MD の曲番が自動的に増えます。)

録音・編集をくり返して行った MD では、コンバイン機能を使えないことがあります。
また、デジタル録音した曲 (CD) と、アナログ録音した曲をつなぐことはできません。

録音・編集をくり返して行った MD では、早戻し / 早送り中に音がとぎれることがあります。

CD を聞くには

CD プレーヤーの操作の前に

ドアパネル内のラックヘディスクを入れてください

ラックには、25 枚のディスクを入れることができます。

5 ディスクアクセスボタン (1 ~ 5) ~ (21 ~ 25) は 5 枚ごとの 5 つのブロックの選択ボタンとして使用できます。

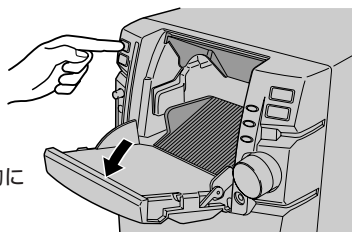
ジャンル名のメモリーはディスクタイトルメモリー (P34) をご覧ください。ディスクの挿着溝は左端から連番化されています。演奏中に 25 オープン/クローズボタンを押すと自動的にドアパネルが開きます。

1

25 オープン/クローズボタンを押す



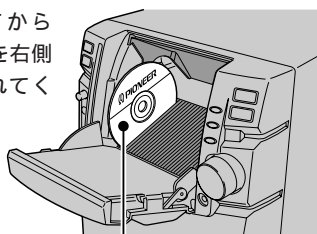
ドアパネルが自動的に開きます。



2

ディスクを入れる

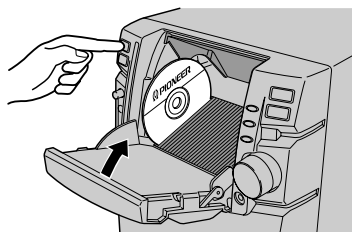
ドアが完全に開いてからレーベル面 (印刷面) を右側にしてディスクを入れてください。



レーベル面を 右側 にする

3

ドアパネルを閉じる



ディスクを取り出すには

演奏中の時は、停止ボタン () を押して約 10 秒経過後 (プレーヤーの動作が完全に停止になる。) に 25 オープン/クローズボタン () を押してください。停止中のときは、25 オープン/クローズボタンを押してください。

プラス 1 ディスクスロットを使うとき
ディスク 1 枚のみを手軽に聞きたいときに使用します。

ディスクを入れる

プラス 1 ディスクスロットにレーベル面 (印刷面) を右側にしゅっくりと入れてください。
ある程度入ると自動的に引き込まれ演奏が始まります。



レーベル面を 右側 にする

ディスクを取り出すには
スロットイジェクトボタンを押してください。 ()

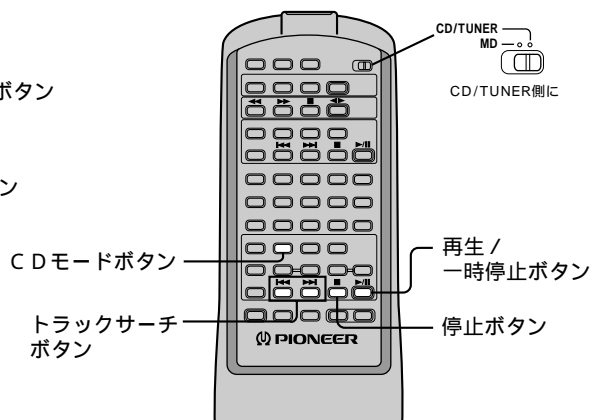
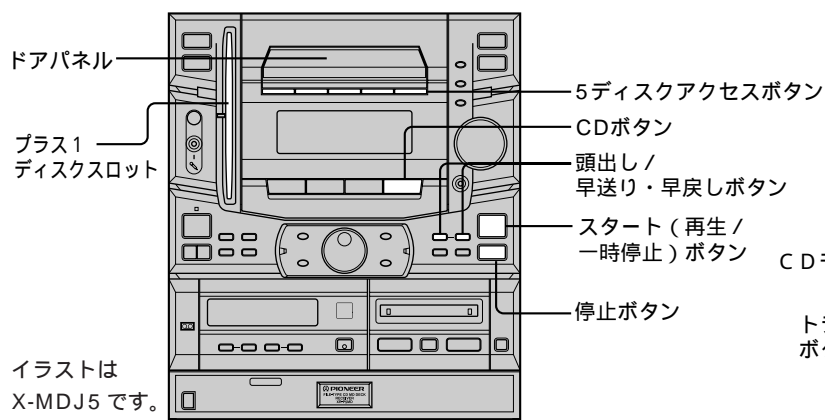


プラス 1 ディスクスロットにディスクを入れると、挿入口のインジケーターが点灯します。



1 つのディスク挿着溝にディスクを 2 枚以上入るとディスクを傷つけたり、故障の原因になります。

CD を聞くには

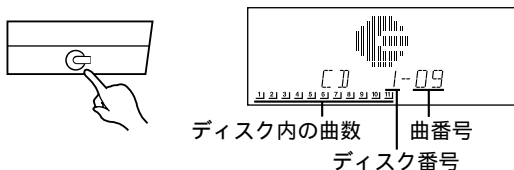


基本操作

CDを1曲目から順番に聞くととき

ディスクを入れ、CD ボタンを押す

ラックにディスクを入れドアパネルを閉じてください。プラス1 ディスク演奏の場合は、プラス1 ディスクスロットにディスクを入れてください。若い番号のディスクの1曲目から順に演奏していきます。



演奏を止める



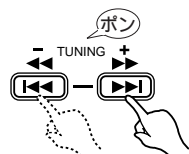
停止ボタンを押す

一時停止する / 演奏を再開する



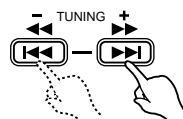
スタートボタンを押す

曲の頭出しをする (トラックサーチ)



またはをポンと押す

早送り / 早戻しをする



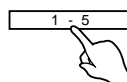
演奏中に または を押し続ける

聞きたいところでボタンを離してください。

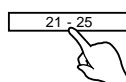
一時停止中に早送り、早戻しをすると、音は出ませんが、さらに早く送ることができます。

5枚ごとの5つのブロックに分けて聞く (5ディスクアクセス)

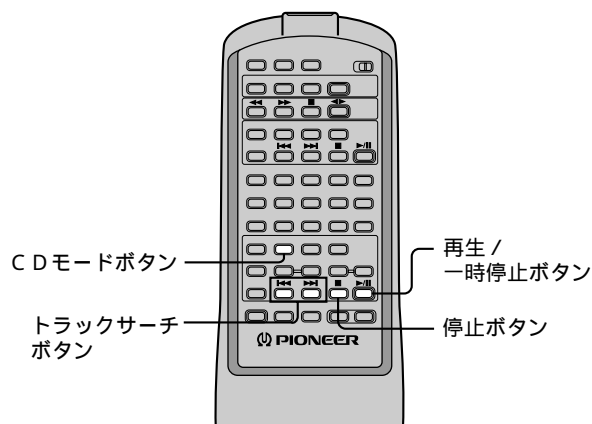
5ディスクアクセスボタンを押す



選択された5ディスクアクセス内での演奏を行います。もう一度同じ5ディスクアクセスボタンを押すとブロック選択を解除します。

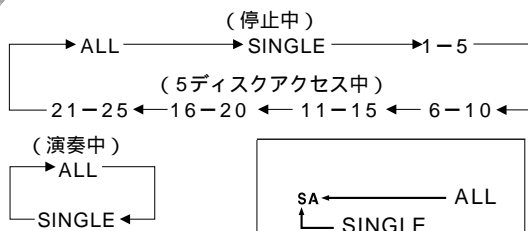


CD を聞くには



演奏モードを選ぶ (リモコンのみ)

CD モードボタンを押す



オール(ALL):全ディスクの演奏。

シングル(SINGLE):ディスク 1 枚のみの演奏。

5ディスクアクセス(1-5 ~ 21-25):選択した5ディスクアクセス内のディスクを演奏。

ラストディスクメモリー

停止ボタン () (またはリモコンの停止ボタン ()) を押すか電源を切ると、本機は演奏を停止したディスクをメモリーします。

再びスタートボタンを押すと、前に演奏していたディスクの初めから演奏します。

停止中にプラス1ディスクスロットにディスクが挿入されるとラストディスクメモリーは解除されます。演奏中にシングルモードを選んだ場合、現在演奏しているディスクでシングルモード演奏を行います。プログラムモードで CD モードボタンを押すと、プログラム内容は解除されます。5ディスクアクセスモードでは選択されたディスクの若いディスク番号から演奏が始まります。電源を入れると最後に選ばれたモードで演奏が始まります。演奏モードを選択しなければ、オールモードで演奏が始まります。

プラス1 ディスク演奏中モードボタンは機能しません。(シングルモードのみ)

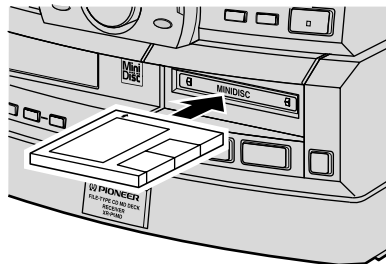
ベストセクションメモリー演奏 (P29) 終了後またはプログラムを解除したときはオールモードになります。

MD を聞くには

MD プレーヤーの操作の前に

MD スロットへMDを入れる

ラベル面を上にして矢印の方向から確実に差し込みます。



MD を入れると、自動的に電源が入ります。

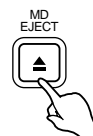
しばらくすると



MD の情報 (ディスク名など) が表示されます。

ディスク名が付いていないときは"NO NAME"と表示されます。

MD を取り出すには



長時間使用した後で MD を取り出すと、MD が少しあたたかくなりますが、異常ではありません。



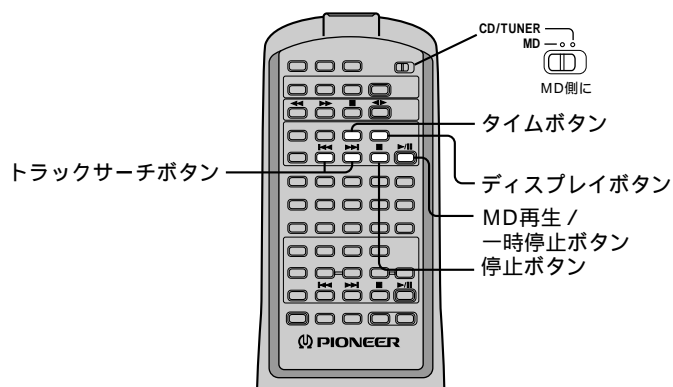
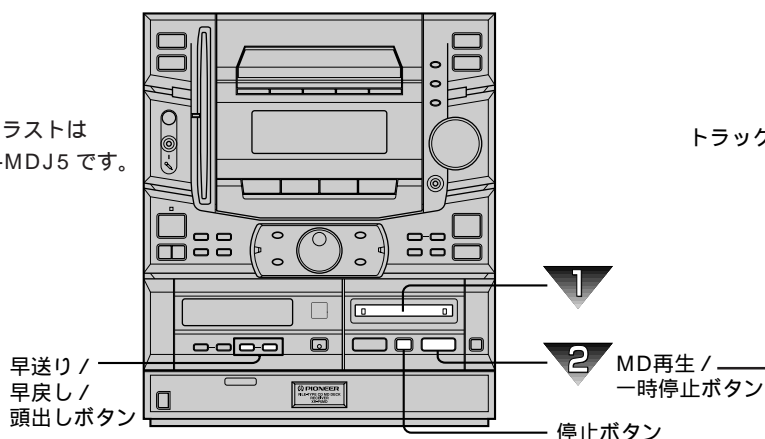
右のマークの付いている再生用 MD (市販の音楽ソフトなどは、曲名など文字情報が表示できます。

【 文字情報
英語 】

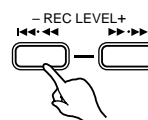
MD の情報が読み込まれる前に、電源を切ろうとしても、全ての情報の読み込みが完了するまで、電源は切れません。

MD を聞くには

イラストは
X-MDJ5 です。



早戻し / 早送りをする



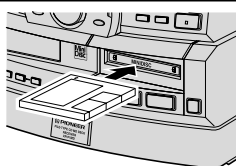
演奏中に または を押し続ける

聞きたいところでボタンをはなしてください。

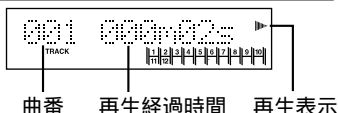
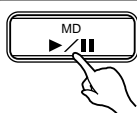
一時停止中に早送り、早戻しをすると、音は出ませんが、さらに早く送ることができます。

MDを1曲目から順番に聞くととき

1 MDを入れる



2 MD再生 / 一時停止ボタンを押す



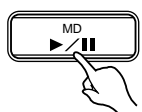
曲名があれば表示します。
最後の曲が終わると自動的に止まります。

演奏を止める / 演奏を再開する



停止ボタンを押す

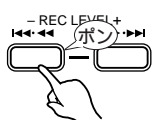
一時停止する



再生 / 一時停止ボタンを押す

一時停止表示
もう一度押すと演奏が再開されます。

曲の頭出しをする (トラックサーチ)

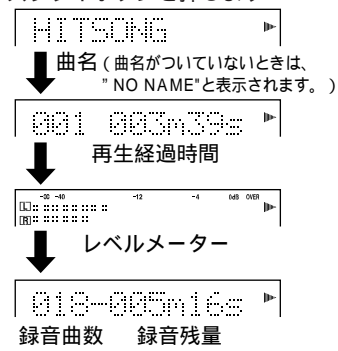
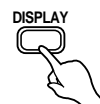


または をポンと押す

聞きたいところでボタンをはなしてください。

再生中に曲名やレベルメーターを確認する

再生中または一時停止中にリモコンのディスプレイボタンを押します

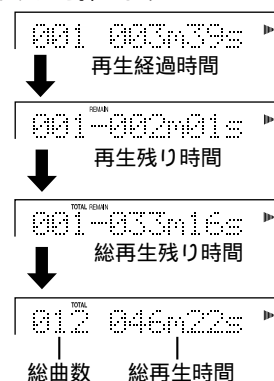
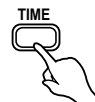


押すたびに表示が切り換わります。

次のような場合、ディスク名や曲名は表示されません。
ひらがなや漢字で入力されているディスク
ディスク名や曲名が入力されていないディスク

再生時間を確認する

再生中または一時停止中にリモコンのタイムボタンを押します

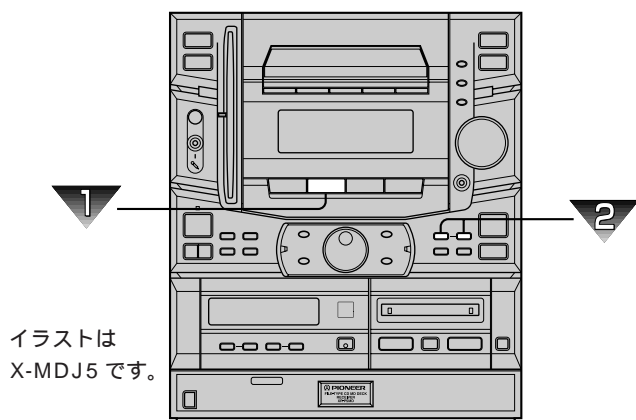


押すたびに表示が切り換わります。

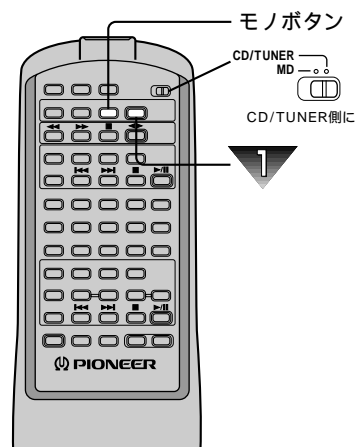
ラジオ放送を聞くには

アンテナは接続されていますか

P9

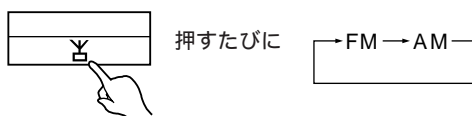


イラストは
X-MDJ5 です。



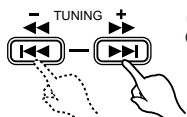
放送を受信してみる

1 AM または FM を選ぶ



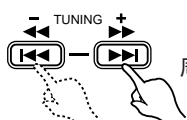
2

マニュアルチューニング



こきざみに押す

オートチューニング

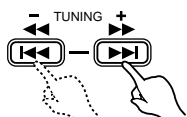


1 ~ 2 秒間押す

周波数が動き始めたら指をはなす。

↓
周波数が自動で変わっていきます。
放送を受信すると止まり、表示部
に TUNED と表示されます。

ハイスピードマニュアルチューニング



押し続ける

↓
連続して変化します。
指を離すと止まります。

ステレオ放送が始まると...

自動的にステレオインジケータが点
灯し、ステレオで放送されます。ただし、
モノインジケータが点灯している
ときにはステレオ音声にはなりません。



ステレオ放送に雑音が多いとき



モノボタンを押す (リモコンのみ)

モノラル音声になりますが聞きや
すくなります。



注意!

FM90MHz ~ FM108MHz の間は、テレビ信
号の影響によりオートチューニングが正常に動
作しない場合があります。この場合、マニユ
アルチューニングで周波数を合わせてください。



本機はテレビ放送の 1 ~ 3 チャンネルの音声を
受信することができます。

各チャンネルの周波数は次のとおりです。

1ch : 95.75MHz, 2ch : 101.75MHz
3ch : 107.75MHz

なお、テレビの 1 ~ 3 チャンネルのステレオ放
送を受信しても、音声はモノラルになります。2
ヶ国語放送は主音声のみにります。
ステップ周波数は切換えることができます。

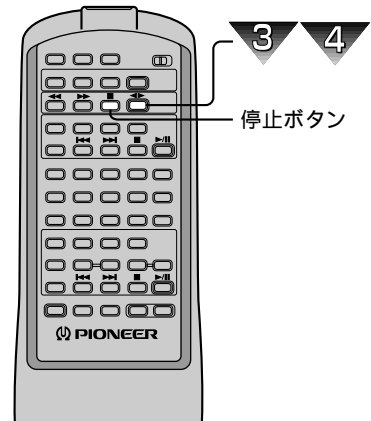
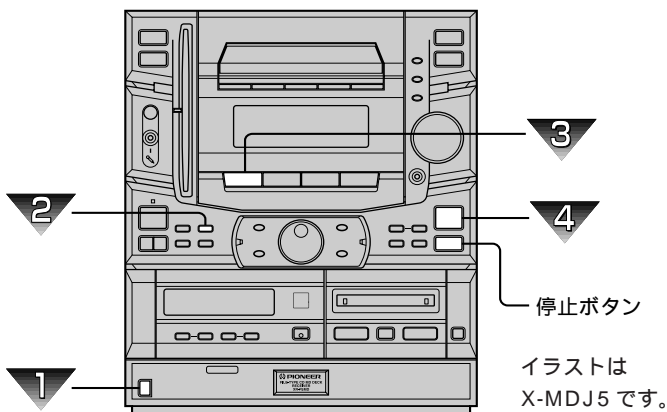
P79

本機の FM 放送受信回路は、テレビ受信回路と兼用しており
ます。このため、地域によってはテレビの 2 または 3 チャンネル
の音声受信時に FM 放送が混信することもあります。

カセットテープを聞くには

P75

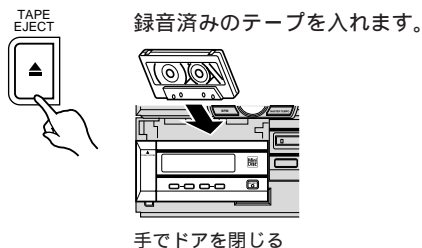
再生できるテープはTYPE I (ノーマル) テープ、TYPE II (HIGH / クローム) テープ、TYPE IV (メタルテープ) です。



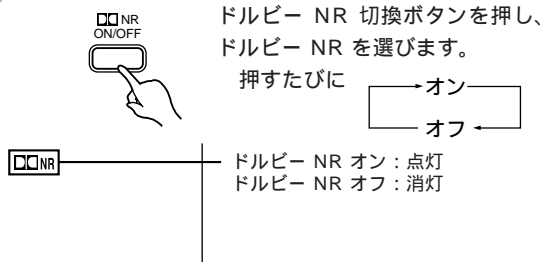
基本操作

基本操作

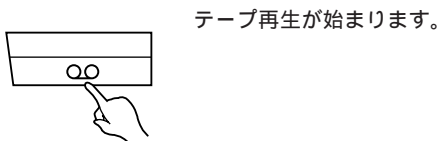
1 テープを入れる



2 ドルビー NR を選ぶ



3 テープボタンを押す



4 スタートボタンを押す



スタートボタンを押し、演奏させたい方向を切り換える。
(◀▶ インジケーターが走行方向を示します。)

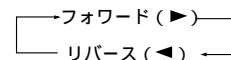
停止するには



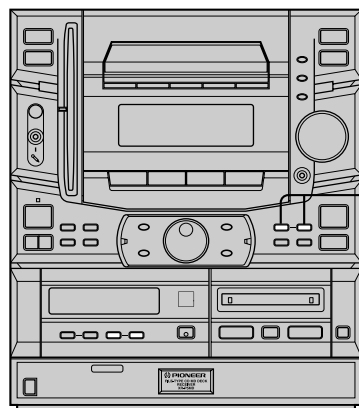
停止ボタンを押す。



テープ走行中はイジェクトボタンを押さないでください。
ドルビー NR 切替ボタンは、録音したときと同じにしてください。
再生は、最大 16 面まで連続再生します。



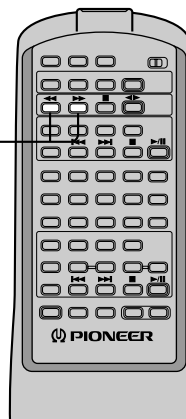
ドルビー NR システムについて
ドルビー NR システムは、テープ再生中に生じる高域のテープヒスノイズ (サーという雑音) を減らすシステムです。録音時に、雑音が耳につきやすい高域の小音量の部分のレベルを上げて録音し、再生時にこのレベルを上げた分だけ減衰させて、もとのレベルに戻します。このとき、同じ耳につきやすい雑音も低減されます。ドルビー NR システムをオンして録音したテープは、再生時もドルビー NR システムをオンして再生してください。オンで録音をオフで再生したり、オフで録音をオンで再生すると、原音に忠実な再生ができません。(本機のドルビー NR システムは B タイプです。)



頭出し /
早送り・巻戻し
ボタン

イラストは
X-MDJ5 です。

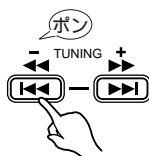
頭出し /
早送り・巻戻し
ボタン



曲の頭出しをする (ミュージックサーチ)

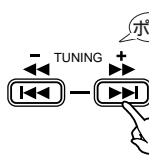
現在演奏中の曲、また次の曲の頭出しをします。

フォワード再生中(インジケーター)の場合



演奏中に聞いている曲の頭出しを
するとき

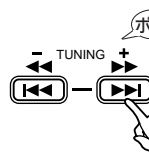
**ボタンをポンと
押す**



演奏中に次の曲の頭出しをするとき

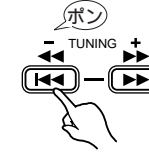
**ボタンをポンと
押す**

リバース再生中(インジケーター)の場合



演奏中に聞いている曲の頭出しを
するとき

**ボタンをポンと
押す**

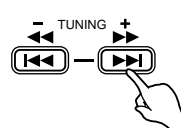


演奏中に次の曲の頭出しをするとき

**ボタンをポンと
押す**

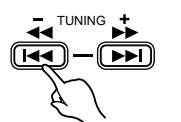
早送り / 巻戻しをする

フォワード再生後(インジケーター)の場合



停止中に早送りするとき

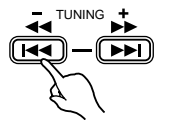
ボタンを押す



停止中に巻戻しをするとき

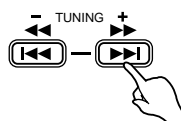
ボタンを押す

リバース再生中(インジケーター)の場合



停止中に早送りするとき

ボタンを押す



停止中に巻戻しをするとき

ボタンを押す

注意!

ミュージックサーチは、次のようなテープでは誤動作することがありますが本機の故障ではありません。

1. 曲間に約 4 秒の無録音部のないテープを使用した場合。
2. 曲間にノイズが多いテープを使用した場合。
3. クラシック音楽のように、低いレベルの部分が何秒も続いたり、1 曲の中で何秒か音がとぎれているテープを使用した場合。
4. 会話、落語などのように音声のとぎれているテープを使用した場合。
5. 曲の途中で、非常に小さい音が 4 秒続くようなテープを使用した場合。
6. 録音レベルの非常に小さい部分が 4 秒以上あるテープを使用した場合。
7. 1 曲の長さが 30 秒以下の曲の場合。

MD に録音する前にお読みください

MD 録音とテープ録音のちがい

MD は片面だけの録音です。

録音できる場所を自動的に探してそこから録音します。

録音の前に録音できる時間の残りが確認できます。▶ P26

曲番号について

録音すると自動的に曲番が付けられます。

追加録音するたびに順に曲番が多くなります。

CD のデジタル録音

CD からの曲番ごとに順に曲番を付けて録音します。(シンクロマーク機能)ただし、CD の曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。

ラジオ放送の録音

1 回の録音を 1 曲として曲番を付けます。

CD のアナログ録音やテープ、外部機器の録音

1.5 秒以上の無録音部分があると、曲間とみなして次の曲番を付けます。(オートマーク機能)ただし、雑音が大きき場合、録音する内容、録音レベルによっては正しく働かないことがあります。オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として録音することもできます。▶ P39

録音モードについて

ステレオ録音かモノラル録音かを選択できます。▶ P38

モノラル録音では、ステレオ録音の約 2 倍の時間の録音ができます。

トック TOC (Table of Contents) について

MD に録音すると、曲番や録音場所などの情報がディスクの内周部分に記録されます。これをトックと呼びます。再生や編集(▶ P41)はこの TOC を手がかりに動作します。

TOC は次のときに MD に記録されます。

MD を取り出したとき

電源を切ったとき

TOC の記録中(“TOC”点滅中)に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOC が正しく記録されず、正しい再生ができなくなります。

録音中に停電すると

何も記録されていない MD への録音中にコンセントが抜けたり、停電があると、そのときの録音内容は消えてしまいます。すでに録音されている MD に追加して録音した場合は、追加して録音した部分が消えてしまいます。



次のようなときは録音できません。

再生専用 MD (市販の音楽ソフト) に録音しようとしたとき。

MD が誤消去防止状態になっているとき。

MD の録音可能時間が残っていないとき。

“TOC FULL” が表示されたとき。

TOC が異常なとき。

デジタル / アナログ録音の切換えについて

CD を録音するときのみ、切換え可能です。

(リモコン)

DIG/ANA



デジタル録音 (DIGITAL が点灯)

アナログ録音 (DIGITAL が消灯)

ラジオ放送、テープ、外部機器を録音するときはアナログ録音となります。

録音レベルについて

CD のデジタル録音をするとき：

自動的に CD の曲と同じレベルになります。録音レベルの調整は必要ありません。

アナログ録音をするとき：

録音をはじめる前に録音レベルを調整します。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

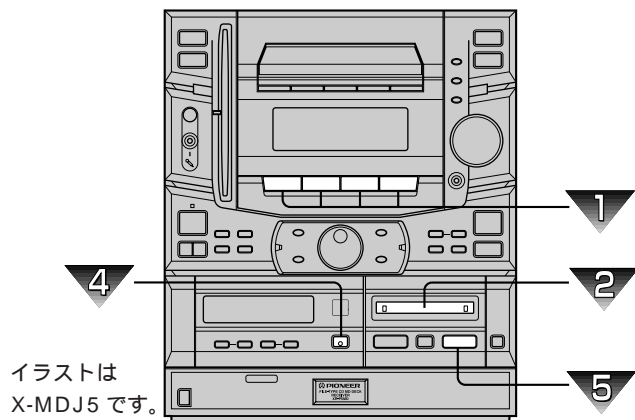
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問合わせ先：(社)私的録音補償金管理協会

☎ 03-3506-8407

MD に録音するには

録音できる MD は、再生・録音用 MD です。



イラストは
X-MDJ5 です。

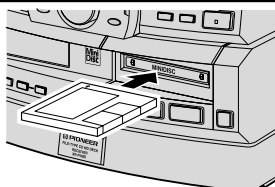
ラジオ・CD・テープ・外部入力を録音する

CD を録音する場合、CD をセットしてください。

1 音源を選ぶ

テープ、CD を選んだときは、演奏が始まりますので停止させてください。

2 録音用 MD を入れる



3 CD を録音する場合はリモコンでデジタル録音かアナログ録音かを選ぶ

(リモコン)



4 MD 録音ボタンを押す



録音待機状態になります。

アナログ録音するときは、このあと録音レベルを調整します。

5

再生 / 一時停止ボタンを押す

録音が始まります。

6

他の機器を演奏する

録音を止めるには



MD 停止ボタンまたはリモコンの停止ボタンを押します。

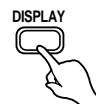
録音を一時停止 / 再開するには



再生 / 一時停止ボタンを押します。

録音できる時間を確かめるには

(リモコン)



ディスクを入れたあと、リモコンのディスプレイボタンを押します

すでに録音されている曲数

010-005m16s

録音できる時間

録音レベルを調整するには (アナログ録音のみ)

- ① MD 録音待機状態にする。
- ② 録音する機器を再生する。
- ③ ボタンで調整する。

最も大きなレベルで “0dB” をこえないようにします。調整が終わったら、他の機器を止め、左の 5 の操作に移ります。

REC LEVEL 37



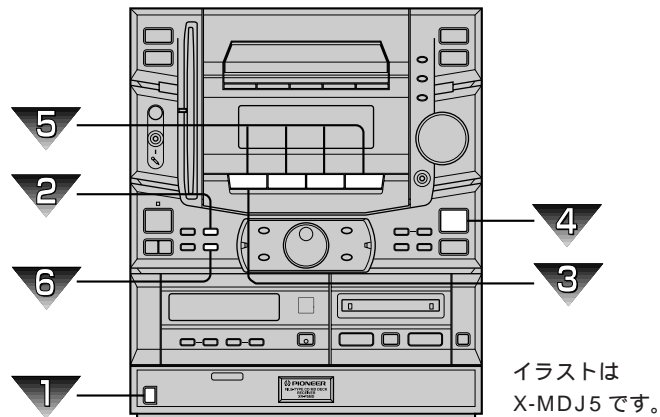
ファンクションが MD のとき、サウンドミックスのときは録音できません。
録音中には入力切替はできません。
録音時にはサウンドフィールドコントロール、ピーバスは機能しません。またカラオケのオン / オフは操作できません。

テープに録音するには

ヘッドは汚れていませんか？

P75

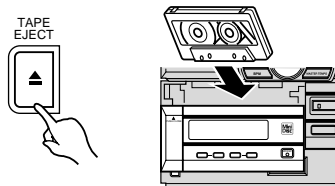
録音できるテープは、TYPE I (ノーマル)、TYPE II (HIGH / クローム) テープです。



ラジオ・CD・MD・外部入力を録音する

CD, MD を録音する場合、それぞれディスクをセットしてください。

1 テープを入れドアを閉じる



録音用テープはリーダー部分を先送りして磁性面にしておいてください。▶ P7
誤消去防止ツメの折れているテープには録音できません。▶ P7

2 NR を選ぶ

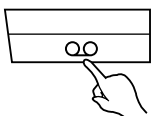


ドルビー NR オン / オフを選びます。
押すたびに

NR

ドルビー NR
オン時点灯

3 テープボタンを押す



テープの再生がはじまります。

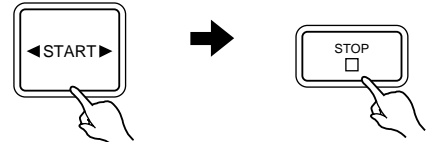
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

4 スタートボタンを押す

録音したい方向を切り換え、停止ボタンを押します。
(インジケータが走行方向を示します。)

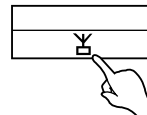
▶ : A 面 (▶) の録音後、B 面 (◀) へつづけて録音します。

◀ : B 面 (◀) のみ録音します。



5 音源を選ぶ

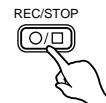
(例)



CD、チューナー、MD または CD
ファンクションを選びます。
チューナーは放送を受信して
おいてください。

CD、MD を選んだときは再生がはじまりますので、
停止ボタンで再生を停止させてください。
テープを選ぶと無音録音になります。

6 録音 / 停止ボタンを押す



マイクミキシングの音も録音できます。

▶ P60

CD、MD を録音するときは、録音を開始して
から CD、MD の再生をはじめてください。

解除するには

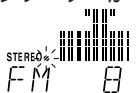


録音 / 停止ボタンまたはリモコン
の停止ボタンを押します。
RECインジケータが消灯します。

ビートカットについて

AM 放送を録音するときに雑音 (ピーというような音)
が録音されるような場合、次の操作を行ってください。
雑音が低減されます。

1. 電源をオフにする。
2. ステーションメモリーボタンを押しながら、電源をオンにする。(表示部のビートカットインジケータが点灯します。)
もう一度上記の操作を繰り返すと、
もとの状態に戻ります。



録音中には入力切換えはできません。

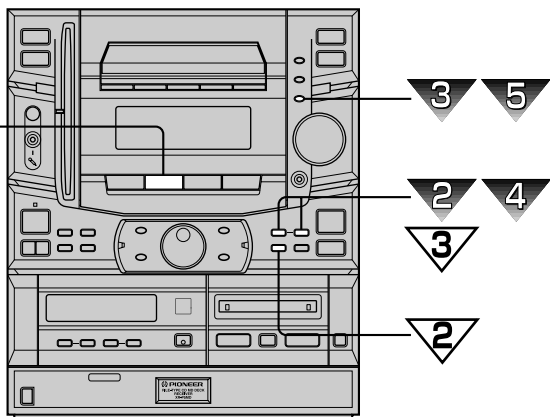
本機は ALC (Auto Level Control) により自動的に
録音レベルを設定します。

録音時は、サウンドフィールドコントロール、ピーバ
スは機能しません。またカラオケ、オン / オフは録音
中操作できません。

ラジオ放送を手軽に聞くには

ステーションメモリー
ステーションコール

イラストは
X-MDJ5 です。



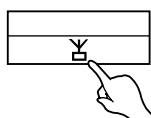
放送局をメモリーする

(ステーションメモリー)

FM, AM あわせて 24 局をステーションメモリーできます。

例) FM80.0MHz をステーション 2 にメモリーする場合

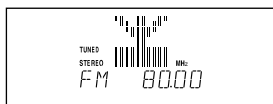
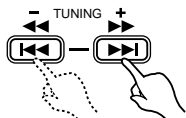
1 FM を選ぶ



押すたびに切り
換わります。

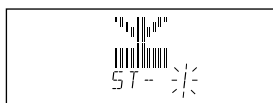
→ FM → AM

2 希望の放送局を受信する



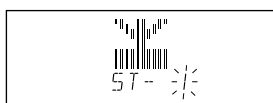
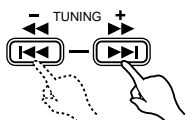
モノボタンのオン/オフも放送局ごとにメモリーできます。

3 ステーションメモリーボタンを押す



4 ステーションを選ぶ

ステーション表示が点滅中に または ボタンを押して、メモリーしたいステーションを選びます。



すでにメモリーされているステーションへメモリーすると
前の放送局は消去され、新しい放送局がメモリーされます。

5

ステーションメモリーボタンを押す

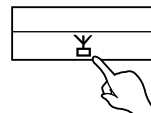


メモリーした放送局を呼び出す

(ステーションコール)

1

チューナーを選ぶ



2

ステーションモードにする

周波数 / ステーションボタンを押してステーションモードにします。



押すたびに
切り換わります。

→ 周波数

→ ステーションモード

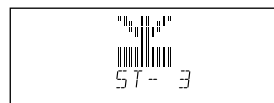
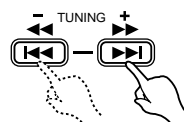


3 秒間何も押されない場合、周波数モードになります。

3

ステーションを選ぶ

または ボタンで希望のステーションを選びます。



(リモコン)



リモコンでダイレクトに呼び出す

① を CD/TUNER 側にする。

② を押してチューナーにする。

③ ~ を押して呼び出す。

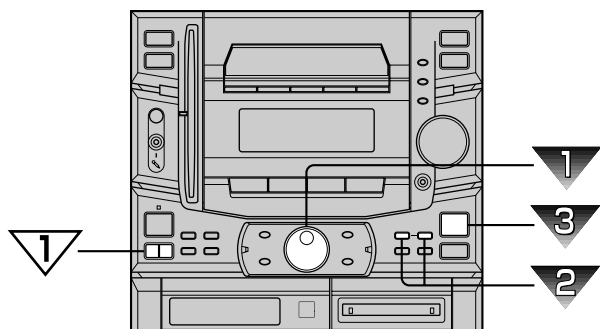
1 回押すと 1 ~ 12 のステーションが呼び出されます。

2 回続けて押すと 13 ~ 24 のステーションが呼び出されます。

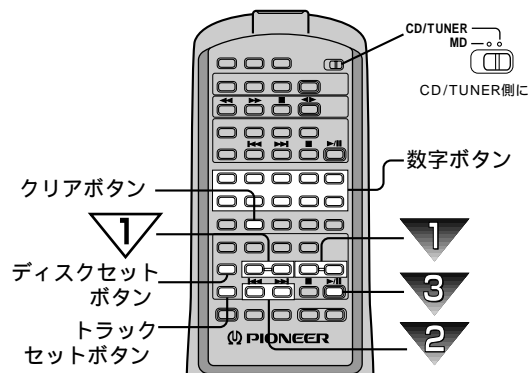
ステーション：メモリーしてある放送局のことです。

CD の便利な機能

希望のディスク・曲から演奏する
ベストセクションメモリー



イラストはX-MDJ5です。



希望のディスク・曲から演奏する

希望のディスクを演奏する場合。(ディスクサーチ)

▼ 1 ▼ 3 の順で操作してください。

希望のディスクの中から聞きたい曲を演奏する場合。

(一発選曲) ▼ 1 ▼ 2 ▼ 3 の順で操作してください。

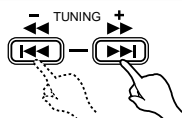
1 ディスク番号を選ぶ

停止中または演奏中に、ディスクセレクトつまみを回して希望のディスク番号を選びます。



プラス1ディスクを選ぶ場合はP0を選びます。
演奏中に操作した場合は、ここで演奏がはじまります。

2 曲を選ぶ



聞きたい曲番号を または ボタンで選びます。

3 スタートボタンを押す



指定した曲を演奏します。

リモコンによるダイレクト選曲

- ① CD/TUNER MD を CD/TUNER 側にする。
- ② ~ でディスク番号を選び、DISC SET を押す。
- ③ ~ で曲番号を選び、TRACK SET を押す。

(例) 25 枚目の 10 曲目を演奏する。



5ディスクアクセスモードでは選択されたディスク内での選曲ができます。

プログラム演奏中は一発選曲できません。

気に入った曲だけを演奏する

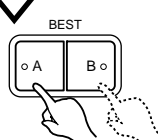
(ベストセクションメモリー)

好みの曲を演奏しているときにベストボタンを押すだけで簡単にワンタッチメモリー(25曲まで)できます。

(プラス1ディスクはメモリーできません。)

25曲づつ、2つ(AとB)メモリーできます。

1 ベストボタンを押す

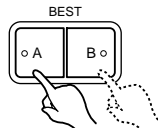


好みの曲を演奏しているときにベストAまたはBボタンを押します。

ディスク番号、曲番号が (ベストAボタンを押したとき) メモリーされます。

2 手順 1 を繰り返す

メモリーした曲を聞くととき



停止中にベストAまたはBボタンを押す

最後に入力した (ベストAボタンを押したとき) 曲から演奏します。

解除するには



ベストセクションメモリー演奏中にクリアボタンを押す。

演奏中の曲がメモリーから消されます。

ベストセクションメモリー演奏中には同じベストのベストセクションメモリーはできません。



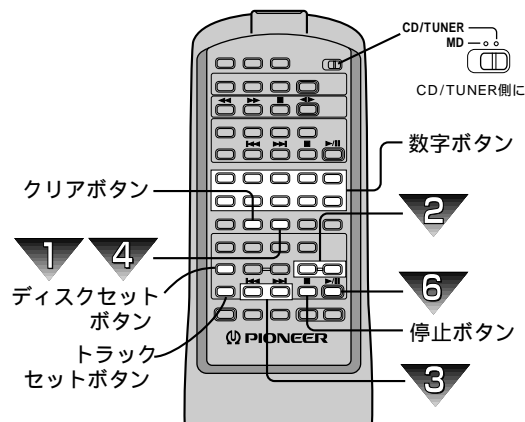
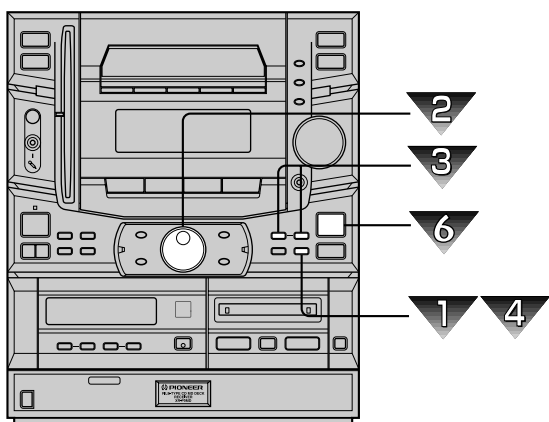
25曲メモリーしているときにベストボタンを押してメモリーするとメモリーの一番古い曲がメモリーから消され新しい曲がメモリーされます。

CDの 便利な機能

好きな曲を予約する（プログラム演奏）

32 ステップまでプログラムできます。

イラストは
X-MDJ5 です。

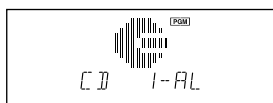


好きな曲を予約する（プログラム演奏）

例）1 ステップに 2 枚目の 7 曲目をプログラムする場合。

1 プログラムボタンを押す

停止中に押します。



2 ディスク番号を選ぶ

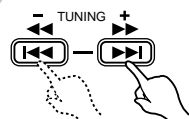
DISC SELECT/MULTI JOG



プラス 1 ディスクを選ぶ場合は、P0（表示）を選びます。



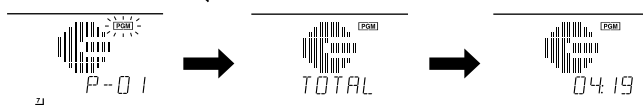
3 曲番号を選ぶ



4 プログラムボタンを押す

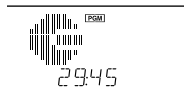


手順 ③、④ を繰り返すと同じディスク内をプログラムします。



5 手順 2～4 を繰り返す

プラス 1 ディスクとラック内のディスクを一緒にプログラムすることはできません。



6 演奏する



再生 / 一時停止ボタンを押すと、プログラムした順に演奏が始まります。

リモコンによるダイレクト選曲プログラム

- ① CD/TUNER MD を CD/TUNER 側にします。
- ② PGM を押す。
- ③ 1 10/0 でディスク番号を選び、DISC SET を押す。
- ④ 1 10/0 で曲番号を選び、TRACK SET を押す。
- ⑤ PGM を押す。

手順 ③～⑤ を繰り返す。

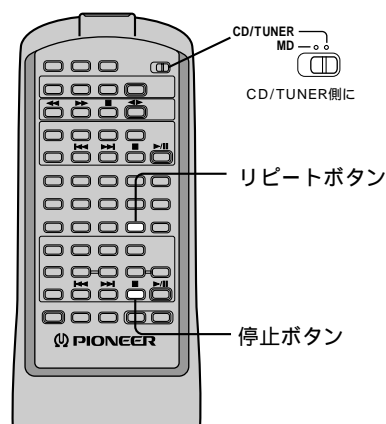
（例）1 ステップに 2 枚目の 7 曲目をプログラムする。



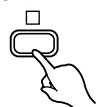
CD の
便利な機能

好きな曲を予約する (プログラム演奏)
繰り返し演奏する (リピート演奏)

リモコンで行います。

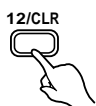


解除するには



演奏中：停止ボタンを 2 回押す。
停止中：停止ボタンを 1 回押す。

プログラムステップの解除



プログラム中にクリアボタンを押す。
押すごとにプログラム最終ステップ
から消えていきます。

ディスクオールプログラム

プログラム演奏の手順、▼1、▼2、▼4 の順に操作し
ます。



選んだディスクの全曲がプログラムされます。

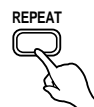


プログラムを入力するたびに、ディスクに収録され
ている時間情報を読み、プログラム積算時間を計算
します。プログラム積算時間を知りたい場合 ▼5
の後しばらくすると表示されます。(最大 99 分
59 秒まで) 計算が終了しないうちに 1 度でも
▼6 の操作を行う、ドアを開けるまたは電源オフ
にすると計算は行いません。

注意!

停止中にベストボタン、プリビースボタン、
CD モードボタン、ランダムボタンを押して
操作してもプログラムは解除されず。
プログラムを入力中または演奏中にプラス 1
ディスク演奏をするとプログラムは全てク
リアされプラス 1 ディスクの再生になります。

繰り返し演奏する (リピート演奏)



リピートボタンを押す

“RPT” 表示が点灯します。

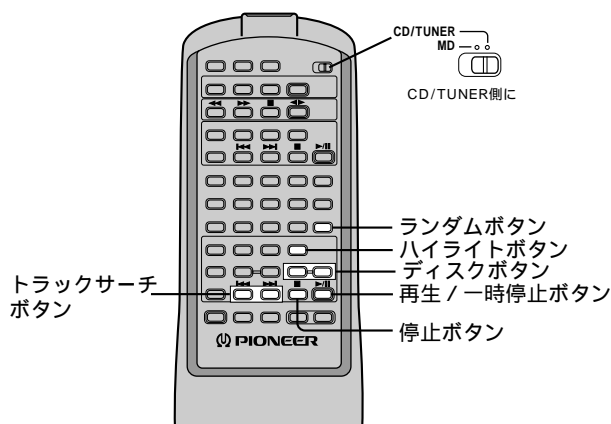
演奏モードにより、下のように繰り返し演奏しますので、希望の演
奏モードにしたあとで押してください。

演奏モード	リピート	動作
オールモード	オールリピート	全ディスク(1~25)を繰り返す
シングルモード	シングルリピート	演奏中のディスクを繰り返す
5 ディスクア クセスモード演奏	5 ディスクアク セスリピート	選んだディスクの全曲を繰り返す
プログラム演奏	プログラムリピート	プログラム演奏を繰り返す
ベストセレクト ションメモリー 演奏	ベストセレクト ションメモリー リピート	ベストセレクトメ モリーの全曲を繰り返す

1 曲を繰り返したいときは、その曲をプログラムしてプログラムリ
ピートで繰り返せます。

解除するには

リピートボタンを押して “RPT” 表示を消します。



順不同で演奏する（ランダム演奏）



ランダムボタンを押す

“RDM”表示が点灯します。
ランダム演奏を25曲まで演奏すると終了します。

演奏モードにより、下のように演奏しますので、希望の演奏モードにしたあとで押してください。

演奏モード	ランダム	動作
オールモード	オールランダム	全ディスク（1～25）でのランダム演奏
シングルモード	シングルランダム	演奏中のディスクの曲をランダム演奏
5ディスクアクセス演奏	5ディスクアクセスランダム	選んだディスクでランダム演奏

解除するには

停止ボタンを押して演奏を止めるか、ディスクボタンを押して通常演奏にします。



オールモードでディスクが25枚入っていない時または5ディスクアクセスモードでは、同じ曲が演奏されることがあります。
プログラム演奏をさらにランダム演奏することはできません。



ランダム演奏時にリピートボタンを押すと、ランダム演奏を繰り返します。（ランダムリピート）

ディスクの中の曲をすばやく探す

（ハイライトスキャン）

演奏モードに応じセットしたディスクに収録されている曲の1分後を約10秒ずつ演奏します。

ディスクハイライトスキャン

停止中にハイライトボタンを押す
1枚目のディスクから各ディスクの1曲目の1分後を約10秒ずつ演奏します。全てのディスクをスキャンすると停止します。



トラックハイライトスキャン

停止中にハイライトボタンを2回押す
セットされている全ディスクの全曲を1分後から約10秒ずつ演奏します。全ての曲をスキャンすると停止します。



プログラムハイライトスキャン

プログラムモード中に
ハイライトボタンを押す
プログラムした曲を1分後から約10秒ずつスキャンします。

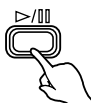


ベストセクションメモリーハイライトスキャン

ベストセクションメモリー演奏中に
ハイライトボタンを押す
ベストセクションメモリーした曲を1分後から約10秒ずつスキャンします。



聞きたい曲で再生/一時停止ボタンを押す
スキャン中のところから通常動作になります。



解除するには

停止ボタンを押す。



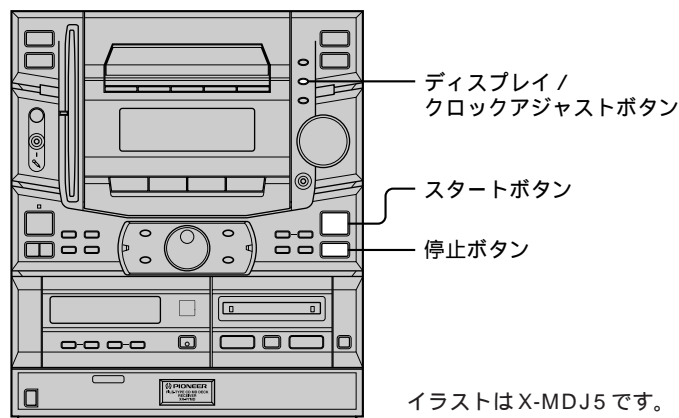
1分より短い曲は、曲の初めから約10秒間スキャンします。また、1曲が10秒より短いものでは、曲の初めから最後までスキャンします。



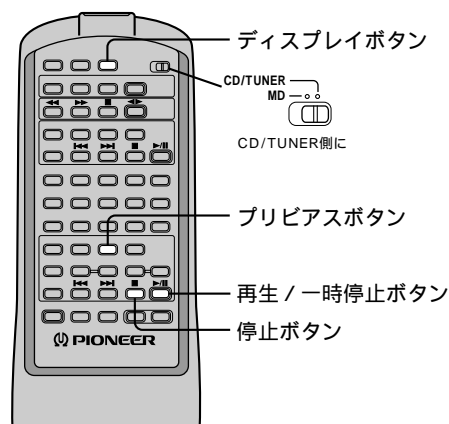
ハイライトボタンを押すたびに、ディスクスキャンとトラックスキャンに切り換わります。
トラックスキャン中にはトラックサーチボタンでスキップすることができます。

CD の
便利な機能

最近聞いたディスクを探す (プリビースディスクスキャン)
表示を変えてみる



イラストはX-MDJ5です。



最近聞いたディスクを探す

(プリビースディスクスキャン)

(リモコンのみの機能です)

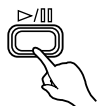
最近聞いた順にディスクハilightスキャンをします。

25枚分メモリーされます。(プラス1ディスクで演奏されたディスクはメモリーされません。)25枚を越えると古い順に消されます。

例) 1 枚目、2 枚目、9 枚目、12 枚目、13 枚目の順に演奏したとき

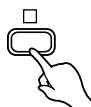
演奏中にリモコンの
プリビースボタンを
押す

13 枚目、12 枚目、9 枚目、2 枚目、1 枚目の順 (最近聞いた順) に各ディスクの 1 曲目の 1 分後を約 10 秒ずつ演奏します。

聞きたいディスクで
スタートボタンを押す

プリビースディスクスキャンは解除され、1 曲目から演奏がはじまります。

解除するには



停止ボタンを押す。

注意!

ハilightスキャン、ランダム演奏、プログラム演奏、ベストセクションメモリーで演奏したディスクは、最近聞いたディスクとしてはメモリーされませんのでプリビースディスクスキャンには出てきません。

表示を変えてみよう

CD を演奏しているときに演奏時間、タイトル名を調べることができます。

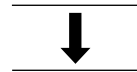
DISPLAY
CLOCK ADJ

ディスプレイ / ク
ロックアジャストボ
タンを押す

押すたびに切り換わります。

→ ディスク / 曲番号 → 演奏経過時間
総演奏時間 (TOTAL) ← ディスク / 曲番号 / タイトル

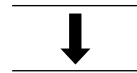
ディスク / 曲番号



演奏経過時間



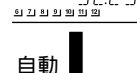
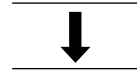
ディスクタイトル



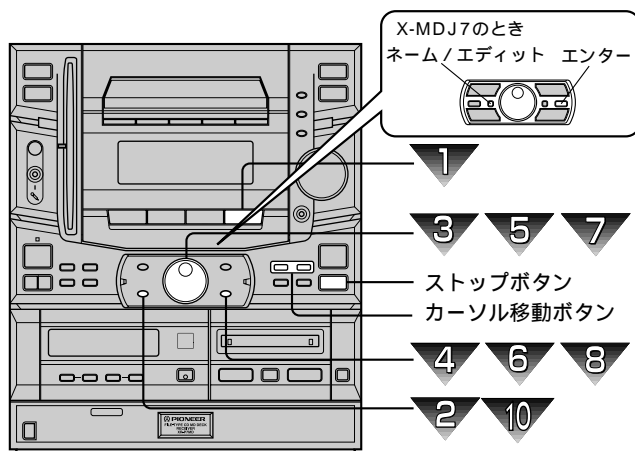
総演奏時間

プログラム演奏中はプログラム積算時間を表示します。計算が行なわれなかった場合

▶ P30 プログラムステップを表示します。



応
用
操
作



イラストはX-MDJ5です。

ディスクに名前をつけよう (ディスクタイトルメモリー)

表示部に歌手、ジャンルなど好みに応じてディスクタイトルを最大8文字まで登録することができます。

(プラス1ディスクにはタイトル入力できません。)

入力したタイトル表示方法は **P33** をご覧ください。

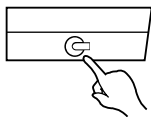
入力できる文字

英字 : A ~ Z

数字 : 0 ~ 9

記号 : -, +, /, <, >, * (スペース)

1 CD ファンクションボタンを押す



2 ネーム / エディットボタンを押す



3 タイトル入力「INPUT」を選ぶ



マルチジョグつまみを回して選びます。



4 エンターボタンを押す



入力したいディスク番号が点滅して入力待ちになります。



5 入力したいディスク番号かジャンル番号を選ぶ



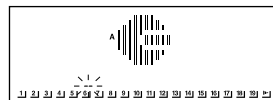
ディスクセレクトつまみを回して選びます。



6 エンターボタンを押す



カーソルが左端で点滅します。すでにタイトルが付いていたときはそのタイトルが表示されます。



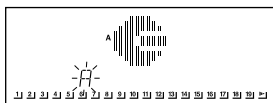
CD の
便利な機能

ディスクタイトルメモリー

7 入力する文字を選ぶ



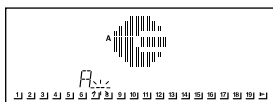
マルチジョグつまみを回して入力
したい文字を選びます。



8 エンターボタンを押す



選んだ文字が入力されカーソルが
右へひとつ移動します。



⑥ ~ ⑧ の文字入力中にカーソルを移動させるとき
⏮ ボタンを押すと、カーソルが左に移動します。⏭ ボタンを
押すと、カーソルが右へ移動します。

9 ⑦, ⑧ を繰り返す

10 ネーム / エディットボタンを押す



入力したいディスクタイトルが表示され、3 秒間点滅します。

ディスクタイトルのコピー

1. ③ でタイトルコピー「COPY」を選ぶ。
2. エンターボタンを押し、ディスクセレクト / マルチジョグつまみを回してコピーしたいタイトルを表示させる。
3. エンターボタンを押し、ディスクセレクト / マルチジョグつまみを回してコピーしたいディスク番号を選ぶ。
4. ネーム / エディットボタンかエンターボタンを押す。
コピーしたディスクタイトルが 3 秒間、点滅表示されます。

ディスクタイトルの削除

すでに入力済のタイトルを削除することができます。



1. 手順 ⑥ ストップボタンを押す
入力してある全ての文字が消えます。もう一度
押すと、消したタイトルが表示されます。



2. ネーム / エディットボタンを押す

タイトル未登録の判断

8 文字全てがスペースのときのみ、タイトルが未登録と判断します。
"NO TITLE" と表示されます。

ディスクタイトルの修正

⏮, ⏭ ボタンでカーソルを動かし、正しい文字を入力します。



最大 30 タイトルまで登録できます。(25 ディスク + 5 ディスクアクセスモード)
プラス 1 ディスクはタイトル入力できません。

MD の便利な機能

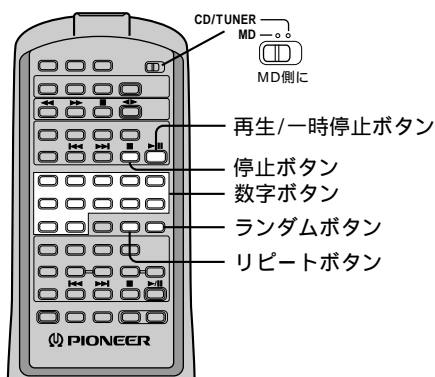
ダイレクト選曲

リピート演奏

ランダム演奏

MD をセットしておいてください。

⏮ (MD ファンクションボタン) ⏮ (MD 再生 / 一時停止ボタン) またはリモコンの ⏮ (再生 / 一時停止) を押して、ファンクションを MD に切換えておいてください。

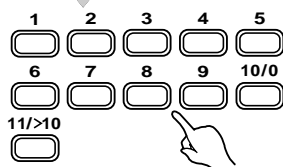


希望の曲から演奏する

(ダイレクト選曲)

曲番を指定してその曲から再生を始めます。

聞きたい曲番を選ぶ



リモコンの数字ボタンで曲番を指定します。指定した曲から再生が始まります。

11 曲目以降を指定するとき

11 曲目 ~ 99 曲目

11/>10 を押した後、曲番を指定。

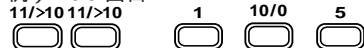
例) 28 曲目



100 曲目以降

11/>10 を 2 回押した後、曲番を指定。

例) 105 曲目



MD に入っている曲数より大きい曲番を選ぶことはできません。

入力待ち状態を解除するには 11/>10 を 3 回押してください。

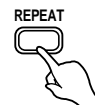
注意!

ダイレクト選曲による再生はプログラムをセットしているときは操作できません。

繰り返し演奏する (リピート演奏)

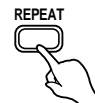
(リモコンのみ)

演奏中にリピートボタンを押す



演奏中の曲が繰り返されます。
MD 表示部に "RPT" が点灯します。

解除するには



リピートボタンを押す



好きな曲だけを繰り返すとき
プログラムをセットしてからリピート再生します。
1 曲だけをプログラムにセットして、リピート再生することもできます。 ➡ P37

順不同で演奏する (ランダム演奏)

(リモコンのみ)

ランダムボタンを押す



MD 表示部に **RDM** が点灯します。
全曲を再生し終わると停止します。

解除するには



停止ボタンを押す

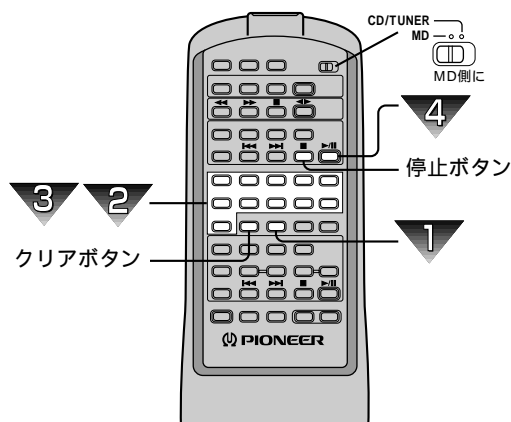


プログラムをセットしているときにランダム演奏をするとプログラムは解除されます。

MD の
便利な機能

好きな曲を予約する (プログラム演奏)

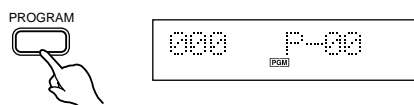
最大 25 曲までプログラムできます。
リモコンで操作します。



好きな曲を予約する (プログラム演奏)

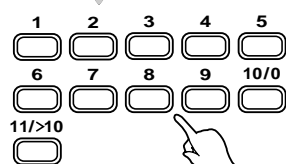
1 プログラムボタンを押す

停止中に押します。

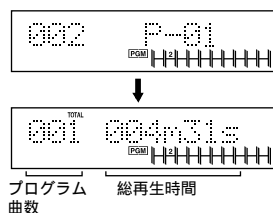


演奏中や一時停止中はプログラムをセットしたり取り消すことはできません。

2 聞きたい曲番を選ぶ

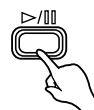


指定のしかた P36



3 手順 2 を繰り返す

4 演奏する



再生 / 一時停止ボタンを押すとプログラムした順に演奏が始まります。最後の曲が終わると自動的に止まります。

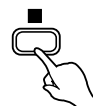
曲番を間違えたとき



停止中にクリアボタンを押す

最後に選んだ曲が取り消されます。
続けて押すと、順に取り消されます。

解除するには



停止中に停止ボタンを押す

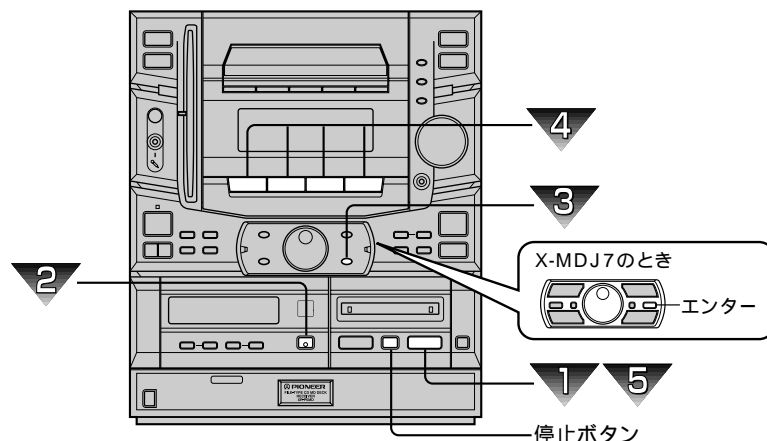
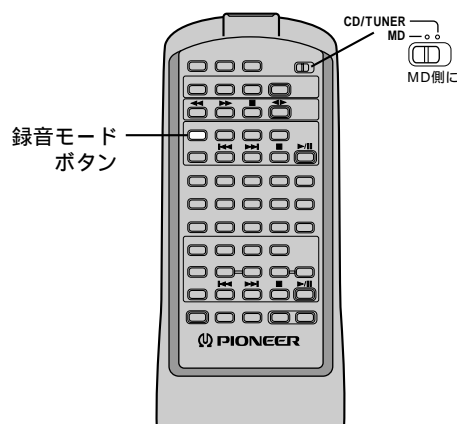
MD を取り出したとき、ランダム演奏をしたときや、録音の待機状態にしたときも取り消されます。



曲を追加するとき
プログラムがセットされている状態 (PGM 点灯) で ~ の操作を行います。前に選んでいた曲の後に、曲が追加できます。

MDの 便利な機能

モノラル長時間モード 録音部分の途中から録音する



イラストはX-MDJ5です。

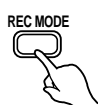
モノラル長時間で録音する

(モノラル長時間モード)(リモコンのみ)

モノラル長時間モードで録音すると、ステレオモードの約2倍の時間が録音できます。モノラル録音の曲やトーク中心の番組などを録音するときに便利です。

デジタル録音、アナログ録音のどちらでも可能です。

録音モードボタンを押す



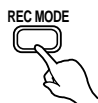
押すたびに、ステレオモードとモノラル長時間モードが切り換わります。録音中は切り換えできません。



モノラル長時間モード

注意!

録音モードは、次に変更するまで変わりません。モノラル長時間モードで録音した後は、ステレオモードに戻しておくことをおすすめします。



"MONO LP" 消灯

録音部分の途中から録音する

すでに録音されている曲を消して、新たに録音することができます。

新たに開始した位置以降の曲は、すべて消えてしまいます。ご注意ください。

消したくない曲が途中にあるときは、イレース機能を使ってその曲の前にある不要な曲を消してから操作してください。▶P46

また、すべての曲を消して録音をやり直すときは、オールイレース機能を使ってすべての曲を消したあと、通常の録音操作をしてください。▶P26 ▶P46

1

MDの演奏中に一時停止する



再生 / 一時停止ボタンを押します。



(4曲目の3分32秒以降に録音するとき)

2

MD 録音ボタンを押す



録音を取消すときは停止ボタンを押します。

3

エンターボタンを押す



録音待機状態になります。

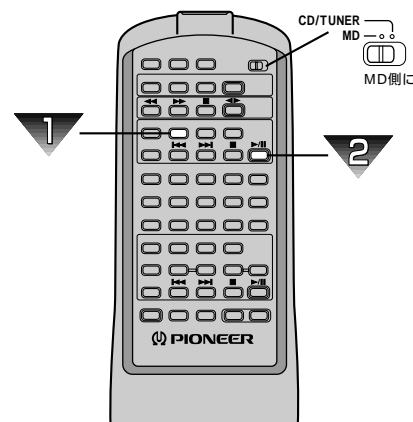
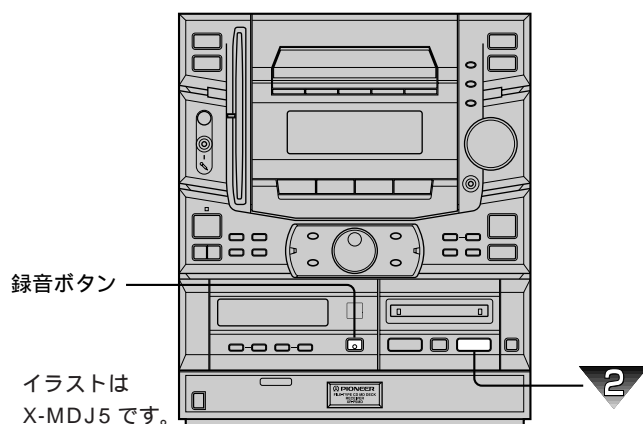


注意!

このとき MD の録音残り時間が12秒以下の場合には録音できません。

MD の
便利な機能

録音中に曲番を付ける
ひと続きの曲として録音する



4 録音する音源を選ぶ

テープ、CD を選んだときは演奏が
始まりますので停止させてください。

5 再生 / 一時停止ボタンを押す



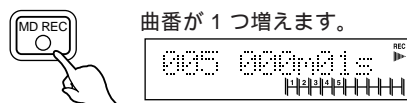
6 他の機器を演奏する

注意!

ファンクションが MD、サウンドミックスのとき
は録音できません。

録音中に曲番を付ける

録音中に MD 録音ボタンを押す



曲番はあとからでも変更できます

MD 編集機能を使えば、すでに録音されている曲の曲番
を変更したり、曲の区切りを変えることができます。

P41

ひと続きの曲として録音する

オートマーク機能 **P25** を使わずに、1 回の録音を 1 つの曲番
でひと続きの曲として録音することができます。

1 録音の待機中にオートマークボタンを押す



2 再生 / 一時停止ボタンを押す



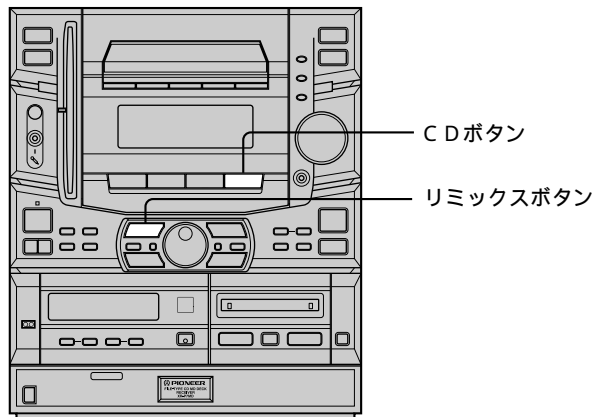
それぞれのファンクションで最後に設定したオートマークの状態を
メモリーし、ファンクションを切換えたときに自動でオートマーク
設定をおこないます。

注意!

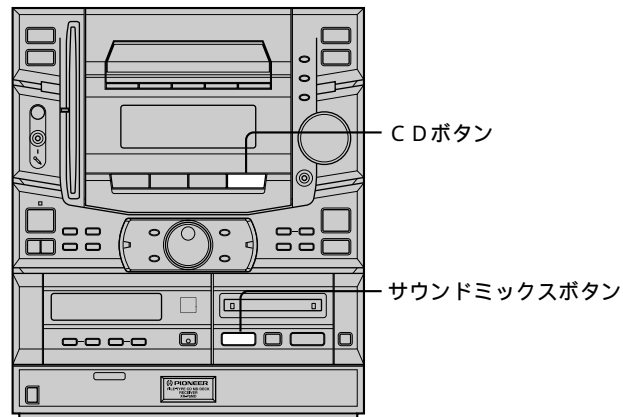
デジタル入力で CD を録音する場合、この操
作は行えません。

MD ファンクション、TUNER ファンクシ
ョン、サウンドミックスではこの操作は行えま
せん。“ A.MARK ” がオフになります。

[X-MDJ7]



[X-MDJ5]



音楽と効果音を同時に演奏する

（サウンドミックス）

サウンドミックスとは

たとえば、CDで海の音をMDでお好きな曲を同時に演奏します。2つの曲がミックスされ、まるでその場所にいるかのようなサウンドが楽しめます。

ファンクションボタンでCDを選んでいるときのみ操作できます。

X-MDJ7での操作のしかた

リミックスボタンを2秒以上押す

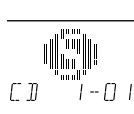


“CD-MD SOUND MIX”とスクロール表示します。

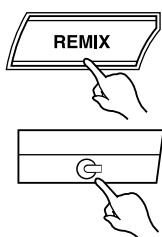
CDファンクション（サウンドミックスオフ）



サウンドミックスオン（サウンドミックスボタンが点灯）



解除するには



リミックスボタンがCDボタンを押します。
CDファンクションになります。

X-MDJ5での操作のしかた

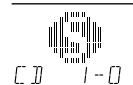
サウンドミックスボタンを押す



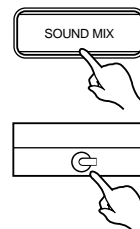
CDファンクション（サウンドミックスオフ）



サウンドミックスオン（サウンドミックスボタンが点灯）



解除するには



サウンドミックスボタンがCDボタンを押します。
CDファンクションになります。

注意!

サウンドミックスを選んだときは、以下の操作はできません。

- MDの録音
- MDの編集、ネーム入力
- CDのディスクタイトル入力
- 自動編集録音（A.S.E.S.）
- サウンドフィールドコントロール、ピーパス、カラオケは機能しません。（すべてオフになります。）
- ウェイクアップタイマー、録音タイマー

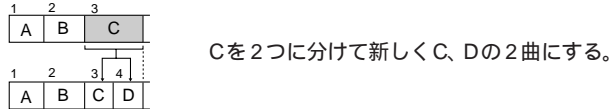
MD の編集機能

編集機能でできること
編集メニューについて

編集機能でできること

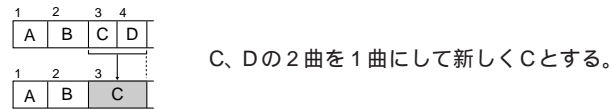
1 つの曲を 2 つの曲に分ける (デバイド)

分けた曲以降の曲番は、自動的に付け変えられます。



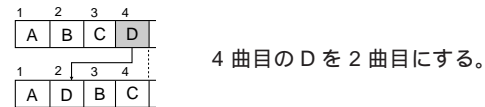
連続している 2 つの曲をつないで 1 つの曲にする (コンバイン)

つないだ曲以降の曲番は、自動的に付け変えられます。



曲を移動する (ムーブ)

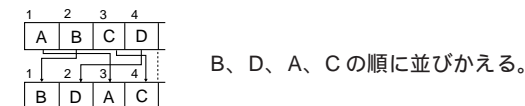
移動したあと曲番は自動的に付け変えられます。



曲を並べ変える (プログラムムーブ)

プログラム選曲再生で指定した順に曲順を並べ変えます。

並べ変えたあとの曲番は自動的に付け変えられます。

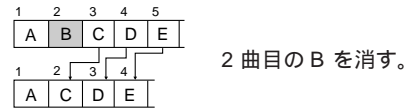


1 曲または全曲を消してしまう (イレース / オールイレース)

全曲を消したときはディスク名も消えます。

消した曲は曲名ごと消えます。

消した曲以降の曲番は自動的に付け変えられます。



ディスクや曲に名前を付ける (ネーム)

アルファベット (A~Z, a~z)、数字、記号、カタカナが使用できます。

CD やテープからの録音や放送を録音した曲の入ったディスクがあるときに、デバイド、コンバインで曲を整理しづらい曲やトーク、CMなどをイレースで消します。ムーブで曲を並べ変え、最後にネームで曲名やディスク名を付ければ自分だけのオリジナルディスクが作れます。

編集メニューについて

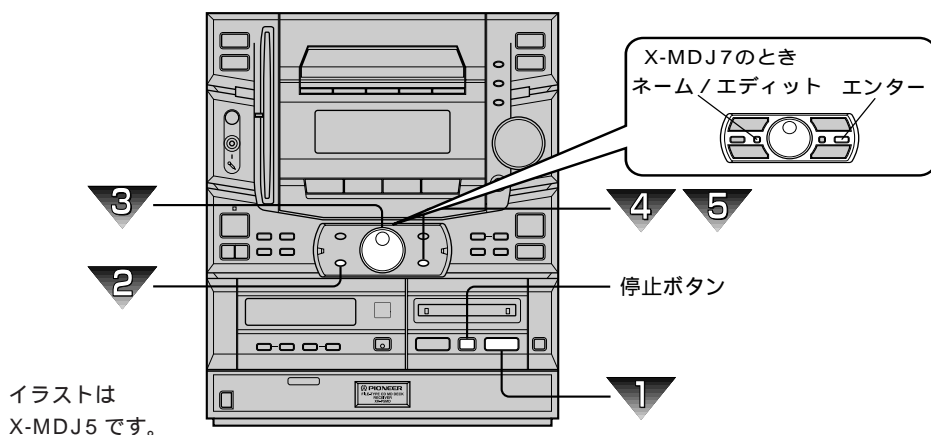
編集機能は編集メニューで選びます。

選べる機能は、編集をはじめるときの状態によって変わります。

ファンクションが MD のときのみ操作できます。

この機能は	この状態で選べます				
	停止中 (DISC 表示)	停止中 (曲番選択)	再生中	再生の 一時停止中	プログラム セット時
ディスクネーム		×	×	×	×
トラックネーム	×				×
デバイド	×	×	×		×
コンバイン	×		×		×
ムーブ	×		×		×
プログラムムーブ	×	×	×	×	
イレース	×		×		×
オールイレース		×	×	×	×

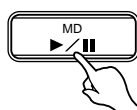
曲の区切りを整理する（デバイド機能）



曲の区切りを整理する

1 つの曲を分ける（デバイド機能）

1 分けたい所で再生 / 一時停止ボタンを押す



分ける曲の演奏中に、分けたい所で押します。一時停止状態になります。



（4 曲目を 2 つに分けるときの状態）

2 ネーム / エディットボタンを押す

NAME/EDIT



NAME/EDIT



編集メニューが表示されます。



3 “デバイド” “DIVIDE” を選ぶ



マルチジョグつまみを回して選びます。



4 エンターボタンを押す

ENTER



ENTER



取り消すとき



停止ボタンを押す

5 もう一度エンターボタンを押す



曲が分けられ、うしろの曲の頭で停止します。分けた曲以降の曲番は、1 つずつ上がります。



注意!

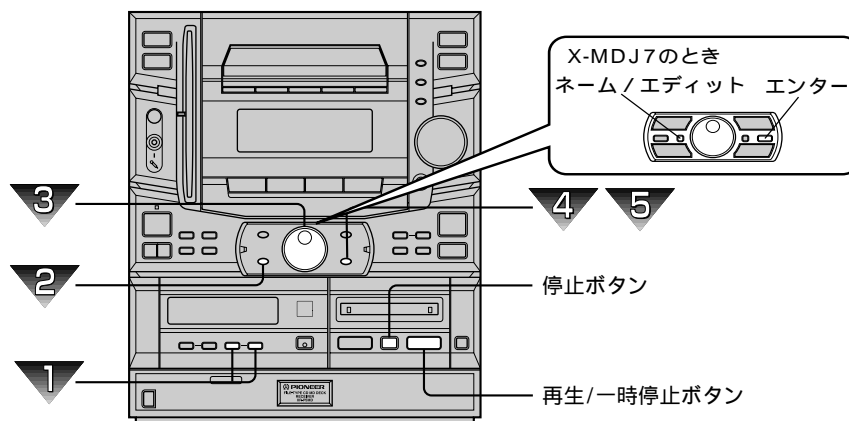
プログラムをセットしているとき（PGM 点灯：P37）は操作できません。
リピート演奏やランダム演奏は解除されます。



曲を分けると、両方の曲に同じ曲名が付きます。ただし、“^{トックフル}TOC FULL”状態では、うしろの曲に曲名が付かないことがあります。
1 枚の MD で最大 254 曲まで曲を分けられます。ただし、253 曲以下でも曲を分けられないことがあります。

MD の
編集機能

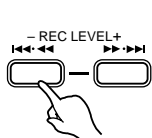
曲の区切りを整理する（コンバイン機能）



イラストはX-MDJ5です。

連続した2つの曲をつなぐ（コンバイン機能）

1 停止中につなぐうしろの曲を選ぶ



ボタンを押して選びます。
うしろの曲の演奏中に再生/一時
停止ボタンを押しても選べます。



2 ネーム/エディットボタンを押す

NAME/EDIT



NAME/EDIT



編集メニューが表示されます。

3 コンバイン
“COMBINE”を選ぶ

DISC SELECT/MULTI JOG

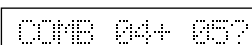
マルチジョグつまみを回して選び
ます。

4 エンターボタンを押す

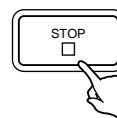
ENTER



ENTER



取り消すとき



停止ボタンを押す

5 もう一度エンターボタンを押す

曲がつながり、つながった曲の
頭で停止します。つないだ曲以降
の曲番は、1つずつ下がります。

COMPLETE!!



004 000n00s

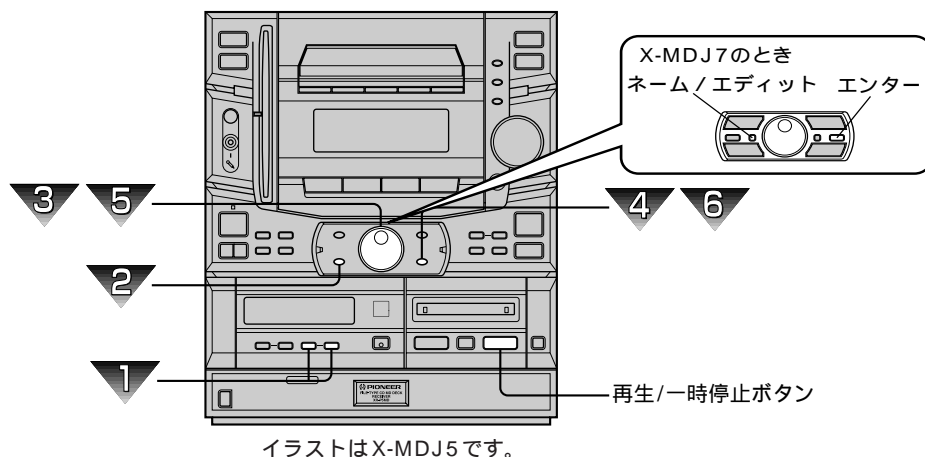
離れた2つの曲をつなぐとき

ムーブ機能 **P44** で2つの曲を連続させた後、コンバ
イン機能でつなぎます。

プログラムをセットしているとき（PGM
点灯：**P37**）は操作できません。
リピート演奏やランダム演奏は解除されます。

デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲をつな
ぐことはできません。

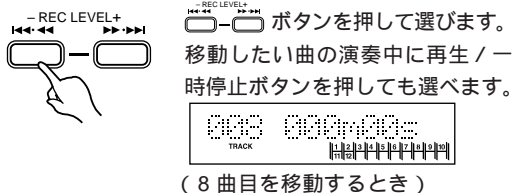
モノラル長時間モードで録音した曲と、ステレオ
モードで録音した曲をつなぐことはできません。
15秒以下の短い曲は、つながることがあります。
曲名は、前の曲のものになります。ただし、前の曲に曲
名が付いていないときは後の曲名が付きます。



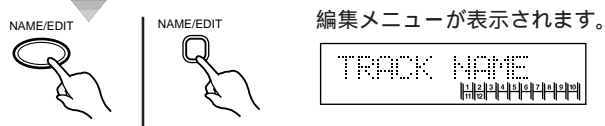
曲を並び換える

1 つずつ移動する（ムーブ機能）
指定した曲を、希望する場所に移動します。

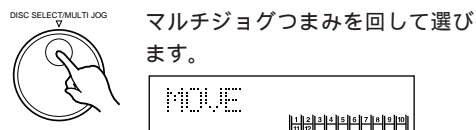
1 停止中に移動したい曲を選ぶ



2 ネーム/エディットボタンを押す



3 “MOVE”を選ぶ



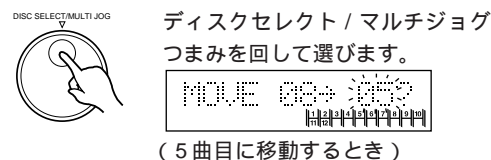
4 エンターボタンを押す



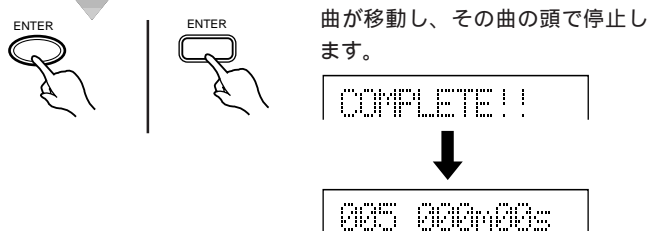
取り消すとき



5 移動先を選ぶ



6 エンターボタンを押す

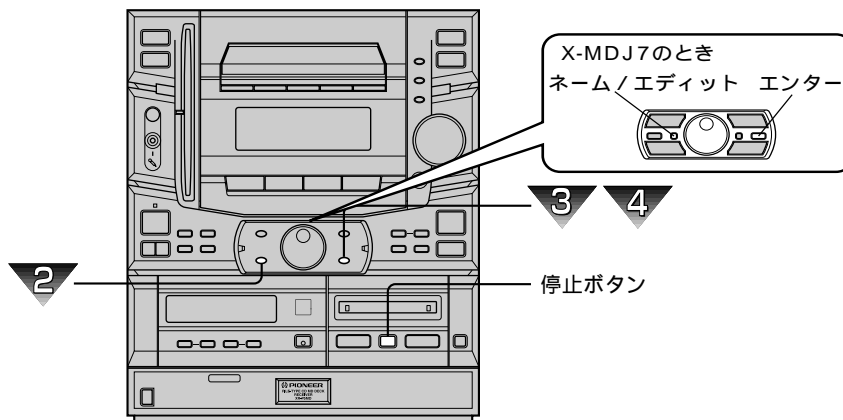


注意!

プログラムをセットしているとき（PGM
点灯：P37）は操作できません。
リピート演奏やランダム演奏は解除されます。

MD の
編集機能

曲を並べ換える (プログラムムーブ機能)



イラストはX-MDJ5です。

プログラム順に並び換える (プログラムムーブ機能)
プログラム選曲で指定した順に曲を並べ換えます。

1

移動したい曲をプログラムにセットする

「プログラム演奏」**P37** の手順でセットします。
このとき **PGM** が表示されるのを確認してください。



2

ネーム/エディットボタンを押す

NAME/EDIT

NAME/EDIT

プログラム ムーブ
“PRGM MOVE”が表示されます。



3

エンターボタンを押す



取り消すとき



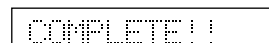
停止ボタンを押す。
プログラム内容も解除されます。

4

もう一度エンターボタンを押す



曲が並べ換えられ、プログラムは
解除されます。



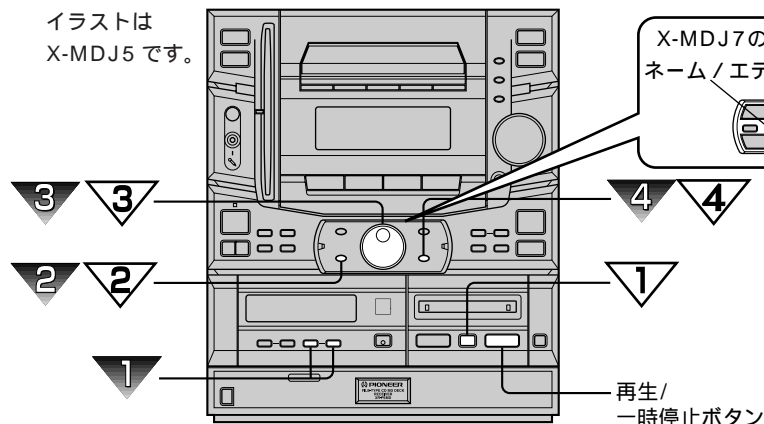
注意!

プログラムした曲以外の曲は、プログラムした曲のうしろに並べ換えられます。
同じ曲を2回以上プログラムしているとき、うしろにプログラムされた内容が優先されます。

MDの編集機能

曲を消す（イレース機能）

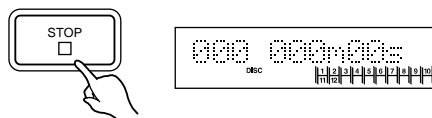
イラストは
X-MDJ5です。



X-MDJ7のとき
ネーム/エディット エンター

全ての曲を消す（オールイレース機能）
ディスク内の全ての曲を消します。（ディスク名・曲名も消えます。）

1 停止ボタンを押す

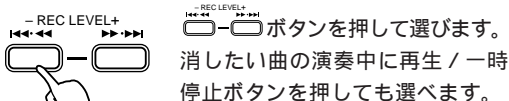


曲を消す

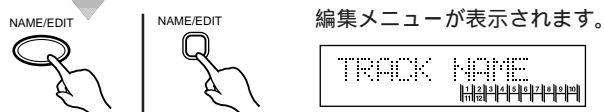
1 曲ずつ消す（イレース機能）

指定した 1 曲を消します。（ディスク名・曲名も消えます。）

1 停止中に消したい曲を選ぶ



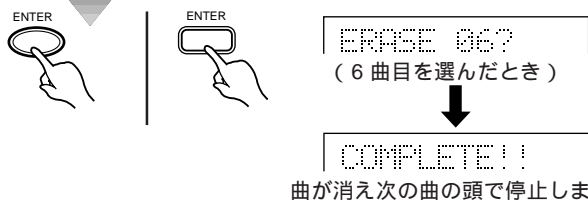
2 ネーム/エディットボタンを押す



3 “ERASE” を選ぶ



4 エンターボタンを押し表示を確認したら、もう一度押す



取り消すとき

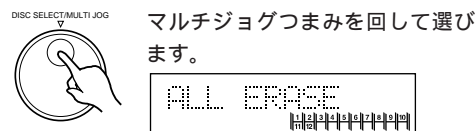


停止ボタンを押す。

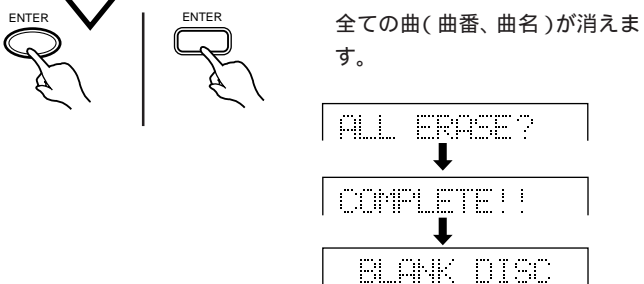
2 ネーム/エディットボタンを押す



3 “ALL ERASE” を選ぶ



4 エンターボタンを押し表示を確認したらもう一度押す



取り消すとき



停止ボタンを押す。

注意!

プログラムをセットしているとき（PGM点灯：P37）は操作できません。リピート演奏やランダム演奏は解除されます。消した曲はもとには戻せません。消してもよいが、よく確かめてから操作してください。

ディスク名や曲名を付ける

文字入力について

1 枚のディスクには、1 つのディスク名と最大 254 曲の曲名を付けることができます。
実際に名前を付ける前に、文字入力について覚えておきましょう。

使える文字の種類

文字の種類	入力できる文字
カタカナ	ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラン ア イ ウ エ オ ヤ ユ ヨ ヅ ° (濁点) ° (半濁点) ー (長音) / (スラッシュ) (空白スペース)
アルファベット (大文字)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z . , /
アルファベット (小文字)	a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z . , /
数字・記号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ _ `

文字入力の流れ

ディスク名や曲名を付けるときの文字入力は、次のような流れで行います。



アルファベット
(大文字)



アルファベット
(小文字)



数字・記号



カタカナ



入力できる文字数について

ディスク名・曲名

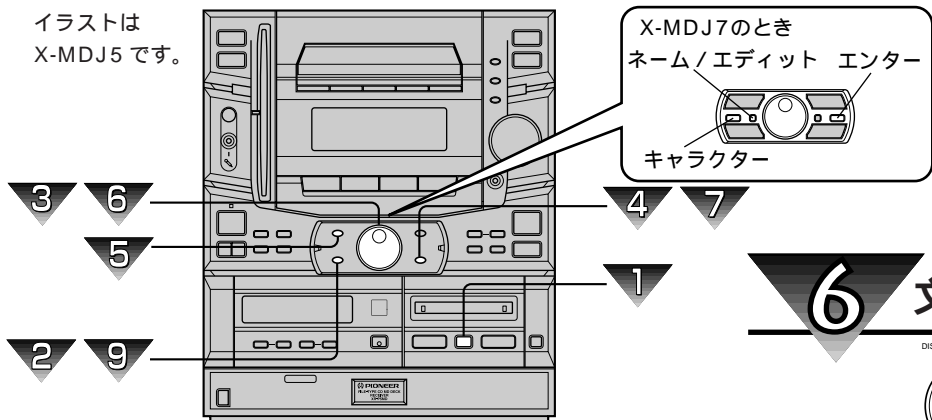
それぞれ 100 文字まで入力できます。

1 枚の MD の総文字数

ディスク名と合わせて、約 1700 文字^{ネームフル}まで入力
できます。文字数をこえると、“NAME FULL”
が表示されます。

カタカナを入力しているときは、総文字数が減
ります。

イラストは
X-MDJ5です。



ディスク名を付ける（ディスクネーム機能）
ディスク全体の名前を付けます。ディスク名は、MDを入れたとき
などに表示されます。

1 停止ボタンを押す



000 000n00s
DISC

2 ネーム/エディットボタンを押す



編集メニューが表示されます。

DISC NAME

3 “DISC NAME”を選ぶ



マルチジョグつまみを回して選び
ます。

DISC NAME

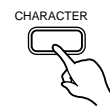
4 エンターボタンを押す



文字入力状態になります。

DISC [MULTI] [F]

5 文字の種類を選ぶ



キャラクターボタンを押して選び
ます。 (カタカナを選択)

DISC [MULTI] [F]

6 文字を選ぶ



マルチジョグつまみを回して選び
ます。

DISC [MULTI] [F]

7 文字入力する



エンターボタンを押して入力し
ます。

DISC [MULTI] [F]

8 5 ~ 7 を繰り返す

同じ種類の文字を入力するときは 5 は必要あり
ません。「文字を修正するとき」 P50

9 ネーム/エディットボタンを押す



全て入力した後に押すと、ディス
ク名が登録されます。

DISC NAME

ネーム入力を中止するとき



停止ボタンを押す。
それまでの入力は無効になります。

注意!

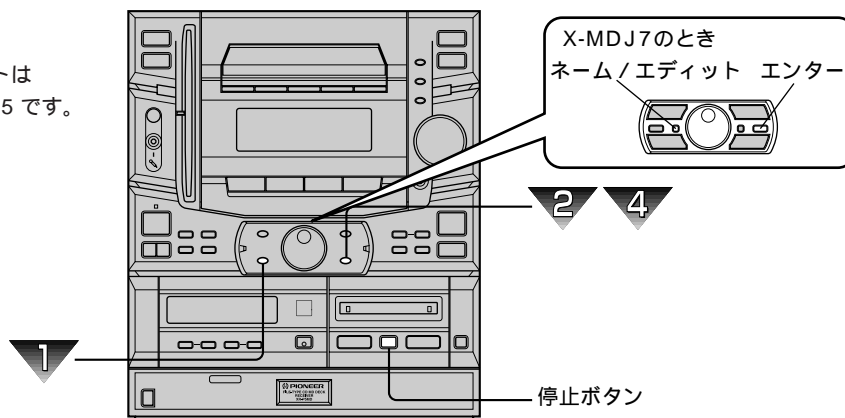
プログラムをセットしているとき (PGM
点灯: P37) は操作できません。
リピート演奏やランダム演奏は解除されます。



本機でカタカナを入力したとき、他の機器では正し
く表示されないことがあります。
また、他の機器でカタカナ入力されたMDは、本機
では正常に表示されないことがあります。

MD の
編集機能

ディスク名や曲名を付ける (トラックネーム機能)

イラストは
X-MDJ5 です。

曲名を付ける (トラックネーム機能)

曲ごとの名前を付けます。曲名は、曲を選んだときや再生中表示されます。

1

再生中にネーム/
エディットボタンを押す

NAME/EDIT



NAME/EDIT



トラック ネーム
“ TRACK NAME ” が表示されま
す。

TRACK NAME ▶

2

エンターボタンを押す

ENTER



ENTER



文字入力状態になります。
聞いている曲が繰り返して再生
されます。

3

文字を選び入力する

P.48 の 5 ~ 8 の操作で入力します。

4

ネーム/エディットボタンを押す

NAME/EDIT



NAME/EDIT



曲名が登録され、普通の再生に戻
ります。

LOVE SONG ▶

ネーム入力を中止するとき



停止ボタンを押す。
それまでの入力は無効になります。
再生が停止します。

注意!

プログラムをセットしているとき (PGM
点灯: P37) は操作できません。
リピート演奏やランダム演奏は解除されます。



トラックネーム機能は、停止中(曲を選んでい
るとき) や一時停止中にも操作できます。(編集メ
ニューで “ TRACK NAME ” を選ぶ。)

イラストは
X-MDJ5です。

キャラクターボタン

X-MDJ7のとき
ネーム/エディット エンター
キャラクター

1 停止ボタン

入力した文字を修正する

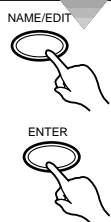
(ディスク名を修正する)

1 停止ボタンを押す



NAME/EDIT
DISC NAME

2 文字入力状態にする



NAME/EDIT
DISC NAME
ENTER
DISC NAME

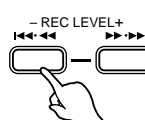
修正を取り消すときとき



停止ボタンを押す。

(曲名を修正する)

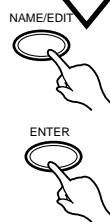
1 停止中に修正したい曲名を選ぶ



- REC LEVEL+ ボタンを押して選びます。

TRACK NAME
LOVE SONG

2 文字入力状態にする



NAME/EDIT
TRACK NAME
ENTER
TRACK NAME

修正を取り消すときとき



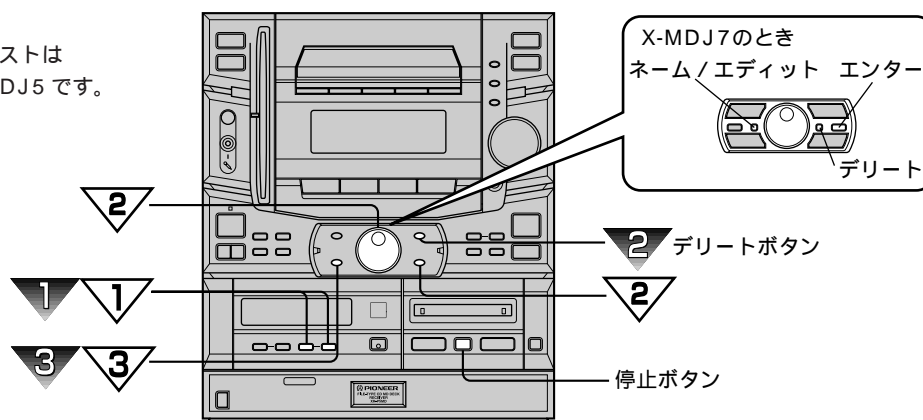
停止ボタンを押す。

このあと文字を消したり、追加します。▶P51

MD の
編集機能

ディスク名や曲名を付ける

イラストは
X-MDJ5 です。



文字を消す

P50 の操作 1、2 のあと、続けて次の操作を行います。

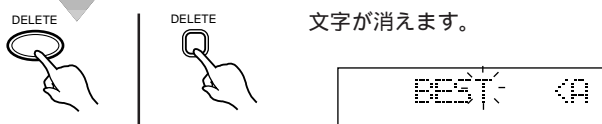
例) "BESUT" を "BEST" にするとき

1 消したい文字を点滅させる

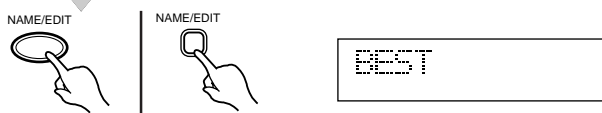


("U" を消すとき)

2 デリートボタンを押す

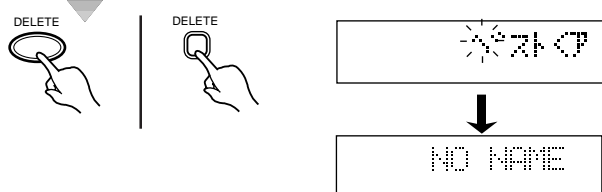


3 ネーム/エディットボタンを押す



ディスク名・曲名を消す

P50 の操作 1、2 のあと、続けて次の操作を行います。

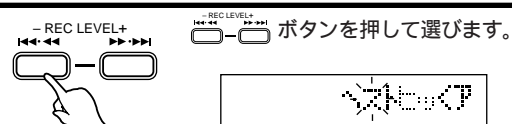
デリートボタンを約 2 秒
以上押し続ける

ディスク名または曲名は消去されます。
消去しないときは停止ボタンを押します。

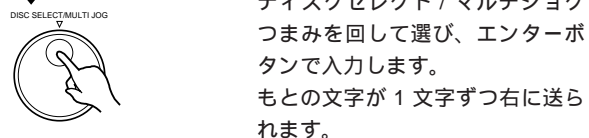
文字を追加する

P50 の操作 1、2 のあと、続けて次の操作を行います。

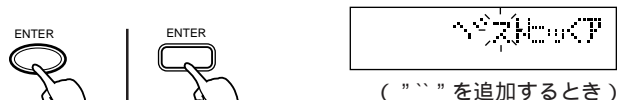
例) "ヘスト" を "ベスト" にするとき

1 追加する位置のうしろの
文字を点滅させる

2 追加する文字を入力する

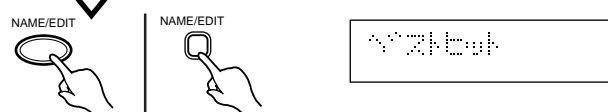


ディスクセレクト / マルチジョグ
つまみを回して選び、エンターボ
タンで入力します。
もとの文字が 1 文字ずつ右に送ら
れます。



(" " を追加するとき)

3 ネーム/エディットボタンを押す



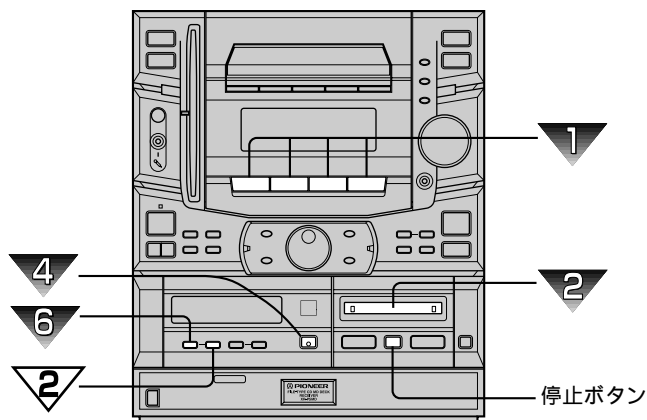
文字のまちがいを直す

文字入力状態にしたあと、まちがった文字を消してから、正しい文
字を入力します。

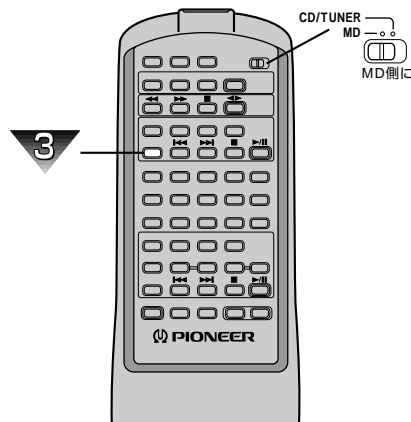
MDの 編集機能

オートフェードイン/フェードアウトで録音する

アナログ録音時にのみ操作できます。



イラストはX-MDJ5です。

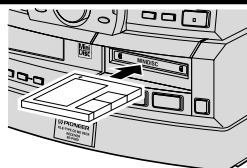


オートフェードインで録音する

1 音源を選ぶ

テープ、CDを選んだときは、演奏が始まりますので停止させてください。

2 録音用 MD を入れる



3 CD で録音する場合は、アナログ録音を選ぶ



デジタル/アナログボタンでアナログ入力を選びます。

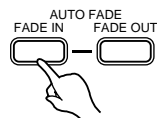
4 MD 録音ボタンを押す



録音待機状態になります。録音レベルを調整します。(「録音レベルの調整のしかた」▶P26)

5 他の機器を演奏する

6 フェードインさせたいところでオートフェードインボタンを押す



録音がはじまり自動的に録音レベルが設定したところまでアップします。

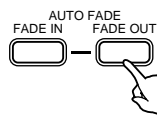
FADE IN

オートフェードアウトで録音する

1 録音をはじめる

手順 1 ~ 6 を行い録音を始めます。

2 録音中にオートフェードアウトボタンを押す



自動的に録音レベルが最小値までダウンした後、録音待機状態になります。

FADE OUT

フェードアウト終了後は、設定した録音レベルに戻ります。

オートフェードイン、オートフェードアウトを中止するには



停止ボタンを押します。

注意!

オートフェードインはアセス録音中には操作できません。

リミックス機能の使い方 (リミックスはX-MDJ7のみの機能です)

リミックス機能でできること

テンポコントロール機能

CDの演奏の速さ(テンポ)を0.1%単位で±10%まで調整できます。

マスターテンポ機能

CDのテンポを変えると音程も同時に変化しますが、マスターテンポ機能をオンにすると、テンポを変えても音程は元のままに保たれます。

これにより、自然な感じで曲の速さだけを調整できます。

オート BPM カウンター

CDやMDの曲のBPM(Beat Per Minute: 1分間の拍子数)を自動的に計測して表示します。

曲のテンポが目で見えてわかります。

キュー機能

CDの頭出し位置(キューポイント)を任意の位置で設定でき(キューポイントメモリー)その位置から瞬時に演奏スタートができます。

キューポイントはCDフレーム単位(75フレーム=1秒)で精密に設定することができます。

カットインレコ機能

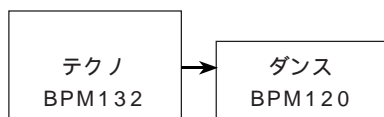
CDの曲をMDにつなぎ目なく録音することができます。

2つの曲のテンポを合わせて、任意の位置で曲のつなぎを行うことにより、自分だけのオリジナル・ノンストップMDが作れます。

基本的な遊び方例

使い方例：異なるテンポの曲をつないでノンストップダンスリミックスMDを創る。

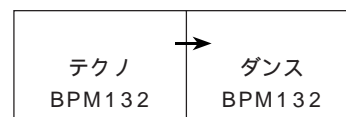
従来のミニコンで
リミックスMDを創る場合



× 曲のテンポが違うため、リズムが合わない。

× つなぎたいフレーズの頭出しができないため、ビートがずれる。

デジタルリミックス機能を使って
リミックスMDを創る場合



テンポを変化させることができ、前後の曲のリズムが合う。
つなぎたいフレーズの頭出しが1/75秒単位で設定できるため、ビートがずれることなくスムーズにつながる。

操作のしかたは“CDからMDにつなぎ録りする”

P57 をご覧ください。

その他の遊び方例

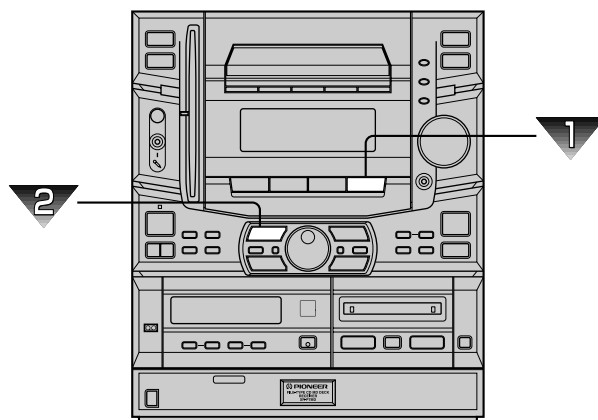
ベストヒットリミックス ヒットしている曲のサビの部分をつないでみる。

似たものリミックス コード進行等が似たような曲同士をつないでみる。

カバーバージョンリミックス オリジナルの曲とカバー曲をつないでみる

等々、自分のセンスと工夫で挑戦してみよう！

リミックス機能を楽しむには (X-MDJ7 のみの機能です)



リミックスをオンにすると、各種のリミックス機能を楽しむことができます。

1 CD ボタンを押す

CD の演奏がスタートします。

2 リミックスボタンを押す



押すたびに

→ リミックス オン
(リミックスボタンが点灯)

← リミックス オフ
(リミックスボタンが消灯)

リミックスがオンの時は、表示などの状態により、マルチジョグつまみは以下のように機能します。

この状態のときに	このように機能します
経過時間表示中	停止、演奏中
音出しの一時停止中	ディスク番号を選びます
キューポイントで待機中	キューポイントを探します
CD BPM / テンポ表示中	機能しません
MD BPM 表示中	テンポの調整を行います
	機能しません

リミックスをオンにすると

CD のBPM / テンポ表示になり、マスターテンポがオンになります。

テンポは、前回の最後に設定したテンポで再設定します。

演奏を開始した時、曲の頭出しをした時や次の曲に移った時に、実際に音声が始まる位置でキューポイントメモリーを自動的にに行い、一時停止になります。(オートキュー機能)

1 曲の演奏が終了すると、次の曲の音出し位置で一時停止になります。

CD と MD の両方の演奏ができます。

MD を演奏しながら、CD のキューポイントから演奏した音をミックスすることができます。



リミックスがオンの時は、以下の機能や操作はできません。

CD のリピート、ランダム、プログラム演奏
CD のベストセレクションメモリー、ハイライトスキャン、プリビュースティクスキャン
CD のディスクタイトル入力
MD のリピート、ランダム、プログラム演奏
MD の編集、ネーム入力
MD のデジタル / アナログ録音の切り替え (アナログ録音になります)
MD の録音モードの切り替え (ステレオ録音になります)
サウンドフィールドコントロール、ピーバス、カラオケ (すべてオフになります)
ウェイクアップタイマー、録音タイマーの設定

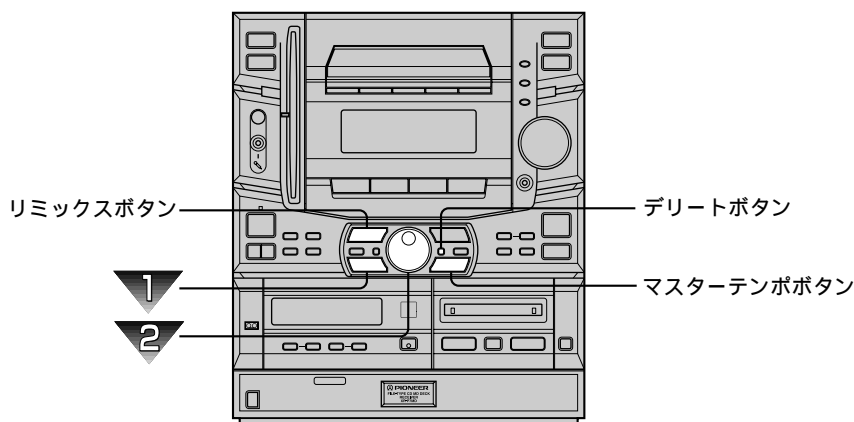


ディスク番号を選ぶのに、リモコンで操作すれば、表示の切り替えをすることなく選ぶことができます。▶ P29

リミックス機能
を楽しむには

演奏の速さ（テンポ）を変える
テンポを変えても音程を変えないようにするには

X-MDJ7 のみの機能です。

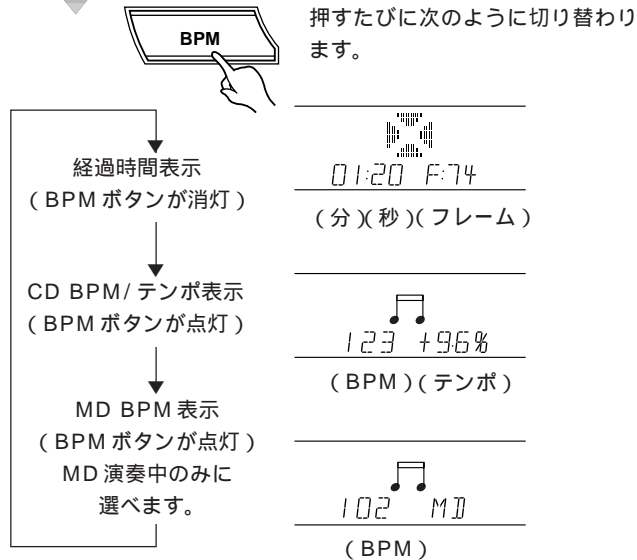


リミックスがオンの状態で操作します。

演奏の速さ（テンポ）を変える

1

BPM ボタンを押して、CD
BPM / テンポ表示に切り替える



2

テンポを変える



マルチジョグつまみを回してテンポを変えます。
± 10% の範囲で調整できます。

102 -6.3%

すぐにオリジナルのテンポにもどすには

DELETE



テンポ表示中に、デリートボタンを押します。
オリジナルのテンポ (0.0%) に戻します。

BPM 表示について

BPM の計測中に点滅し、5 秒以上測定できないと “ --- ” 表示になります。

測定できる範囲は、70 ~ 160BPM です。

範囲外の曲については、実際の BPM の 2 倍や半分の値などを表示する場合があります。

アカペラや楽器のソロなど、曲によっては BPM の計測が正しく行われない場合があります。

MD の録音中に、MD の BPM の計測は行われません。

テンポを変えても音程を変えないようにするには

マスターテンポボタンを
押して、マスターテンポ
をオンにする



押すたびに

→ マスターテンポ オン
(マスターテンポボタンが点灯)
← マスターテンポ オフ
(マスターテンポボタンが消灯)

マスターテンポオフでテンポを変えると、それに依
じて曲の音程も変化します。

マスターテンポをオンにすると、CD BPM / テン
ポ表示に切り替わります。

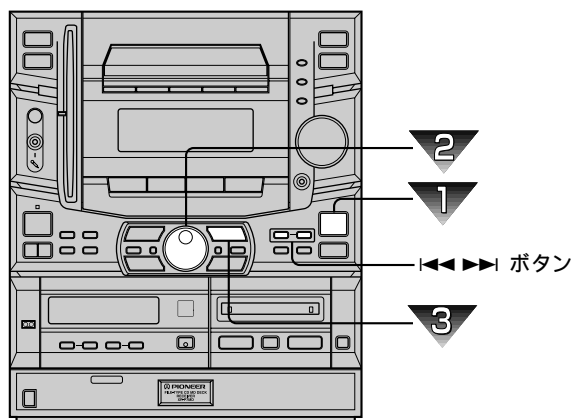
テンポは、次の設定がされるまで、最後に設定されたテンポのま
まになります。

応用操作

リミックス機能
を楽しむには

CD の頭出し位置(キューポイント)を決めて演奏待機する(キューポイントメモリー)

X-MDJ7 のみの機能です。

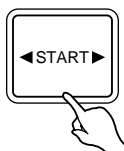


リミックスがオンの状態で操作します。

CD の頭出し位置(キューポイント)を決めて演奏待機する

1

CDを演奏中に、キューポイントを設定したい位置で一時停止にする



スタートボタンを押して、一時停止にします。(CUE ボタンが点滅します)
一時停止している位置の音声が、とぎれとぎれに出力されます。

2

目的のキューポイントを探す



マルチジョグつまみを回しながら音声を聞いて、演奏を開始したい音声の直前まで戻します。



01:20 F:74

CD のフレーム単位で位置決めができます。

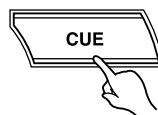
おおまかにキューポイントを探すには
音だしの一時停止中に、◀◀、▶▶ボタンを押し続けると約1倍速での曲の戻しと送りができます。

注意!

音だしの一時停止中に、曲の頭だし(トラックサーチ)をすることはできません。

3

目的のキューポイントになったら、キューボタンを押す



音声ができなくなりキューポイントがメモリーされて、その位置で演奏待機(キューボタンが点灯)となります。

新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントは消されます。

キューポイントの確認をするには

キューポイントで待機中(キューボタンが点灯)に、キューボタンを押すとキューポイントから最大10秒間演奏しますので、頭出しの位置が確認できます。
確認後は、自動でキューポイントに戻って演奏待機になります。

キューポイントの修正をするには

キューポイントで待機中(キューボタンが点灯)に、◀◀、▶▶ボタンを押し続けると曲の戻し、送りが行われて音だしの一時停止になります。
再度 ②、③ の操作を行ってください。

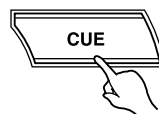
キューポイントから演奏するには



キューボタンが点灯している状態でスタートボタンを押します。
キューポイントから演奏が開始されます。
1曲の演奏が終了すると、次の曲の音出し位置でキューポイントのメモリーをして演奏待機となります。

演奏中にキューポイントに戻すには

(バックキュー)



演奏中にキューボタンを押します。
キューポイントに戻り、演奏待機になります。
キューポイントから演奏して、約10秒以内の位置では瞬時にキューポイントに戻り、演奏待機になります。

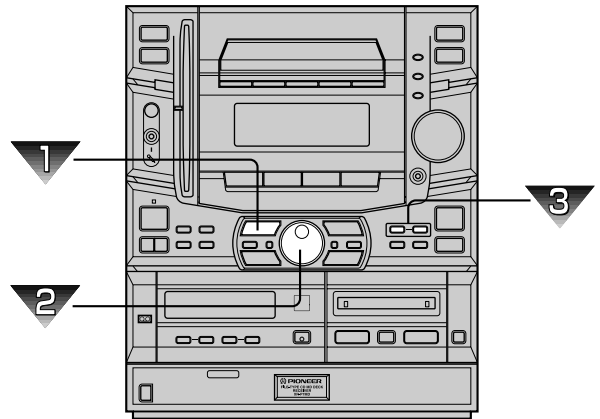
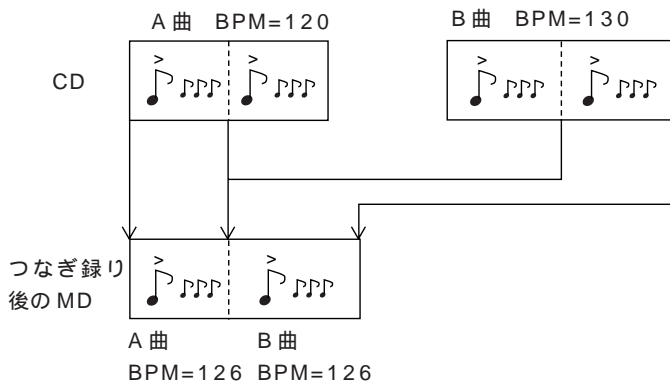


キューポイントから約10秒以内の位置で演奏中に、キューボタン スタートボタンの操作をすばやく行うことにより、音声をループさせる効果をつくることができます。

CD から MD へつなぎ録りする (カットインレコ機能：X-MDJ7 のみの機能です)

カットインレコ機能を使って、曲のテンポを合わせたつなぎ録りができます。

(例) CD の A 曲と B 曲のテンポを合わせて、希望の位置で MD につなぎ録りをする。



CD から MD につなぎ録りする

まずはじめに...

つなぐ曲を選び、あらかじめその曲のBPMを測定し、つなぐポイントを決めておきます。

1 リミックスボタンを押す



リミックスをオン (リミックスボタンが点灯) にします。

CD BPM / テンポ表示になり、マスターテンポがオンになります。

2 つなぐ前半の曲を演奏して、希望のテンポに合わせる

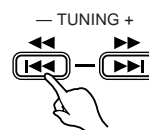


つなぐ前半の曲を選んで演奏します。
マルチジョグつまみを回してテンポを変えます。



126 +50%

3 つなぐ前半の曲の頭で、キューポイントで演奏待機にする



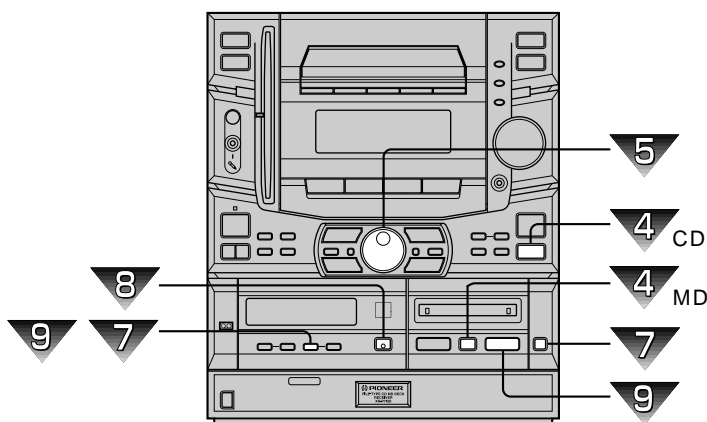
◀◀ ボタンを押します。

つなぐ前半の曲の頭でキューポイントが設定されて演奏待機となります。

[次のページへつづく]

CDからMDへつ
なぎ録りをする

カットインレコ機能



4 つなぐ前半の曲をMDに録音する

アセスで自動録音する

➡ P66 手順 ⑥ ~ ⑨ をご覧ください。

自分で録音する

➡ P26 手順 ② ~ ⑤ をご覧ください。



つなぐポイントを経過してしばらくしたら（5秒程度）MDの停止ボタンを押して録音を終了させます。

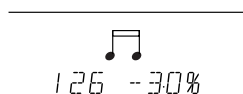


停止ボタンを押して、CDを停止させます。

5 つなぐ後半の曲を演奏して、希望のテンポに合わせる



つなぐ後半の曲を選んで演奏します。
マルチジョグつまみを回してテンポを変えます。

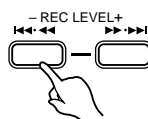


6 つなぐポイントでキューポイントを設定する

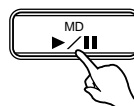
キューポイントの設定のしかたは、➡ P56 “CDの頭出し位置（キューポイント）で演奏待機する” をご覧ください。

キューポイントを設定したらキューボタンを押し、演奏を聞いてつなぐポイントを確認します。

7 すでにMDに録音したつなぐ前半の曲を演奏する

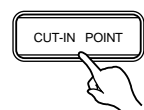


停止中に◀◀・◀◀ボタンを押して最終曲（手順④で録音したつなぐ前半の曲）を選びます。

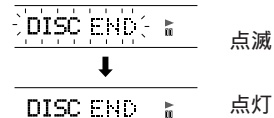


再生/一時停止ボタンを押して、演奏をはじめます。

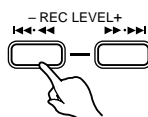
つなぐポイント（最後に録音を終了した付近）をすばやく探すには



MDの停止中にカットインポイントボタンを押します。



最後に録音を終了した位置を探して、そこで一時停止になります。



◀◀・◀◀ボタンを押し続ける。

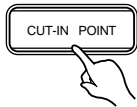
早戻しになるので、つなぐポイントを越えてしばらく戻したところでボタンをはなしてください。

CDからMDへつ
なぎ録りをする

カットインレコ機能

8

MDの演奏中に、つなぐポイントになったところでタイミングを合わせてカットインポイントボタンを押す



MD が一時停止をすると同時に CD のキューポイントから演奏がはじまり、つないだ状態の音声を一度演奏します。

CUT-IN REC?

つなぎ録りの待機状態となり、カットインポイントボタンが点滅します。

CD は最大 10 秒間演奏した後に、自動でキューポイントに戻り演奏待機となります。

つないだ音声を確認して、希望どおりにつなげなかった場合

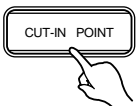


停止ボタンを押します。

つなぎ録りの待機が解除され、MD は一時停止のまま、CD はキューポイントに戻り演奏待機となります。

再度手順 7 ~ 8 を行って、やり直します。

つないだ音声を確認して、希望どおりにつなげた場合



もう一度カットインポイントボタンを押します。

つなぎ録りが開始され、MD の録音開始と同時に CD がキューポイントから演奏をはじめます。カットインポイントボタンが点灯します。

つなぐ後半の曲が終了すると、MD は停止し CD は設定したキューポイントに戻り演奏待機となります。



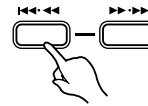
つなぎ録りを解除するには、停止ボタンを押します。

MD は停止し CD は設定したキューポイントに戻り演奏待機となります。

カットインポイントボタンが消灯します。

9

つなぎ録りした MD の曲を演奏する



停止中に ◀◀・▶▶ ボタンを押して、つないだ前半の曲を選びます。



再生 / 一時停止ボタンを押して、演奏をはじめます。

つなぎ録りした曲を通して聴いて確認します。

もし、やり直す場合には再度手順 1 から行います。

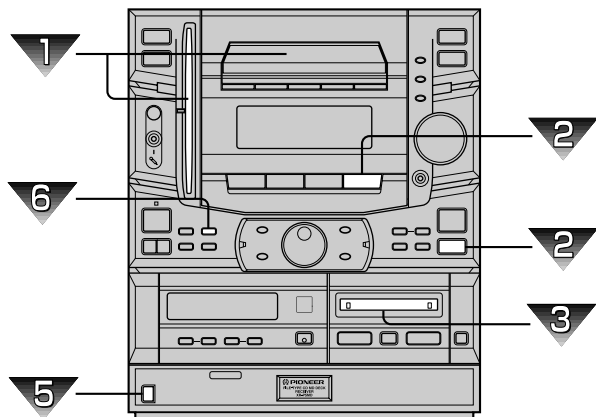
注意!

つなぎ録りを開始した位置以降の曲はすべて消えてしまいます。ご注意ください。
つなぐ前半の曲以降に消したくない曲がある場合には、いったん MD ファンクションに切り替えた後に、ムーブ機能を使ってつなぐ前半の曲をいちばん最後に移動させてから、つなぎ録りを行ってください。▶ P44

Point

手順 5 ~ 9 を繰り返すことにより、複数曲でのつなぎ録りを行うことができます。
CD から MD に録音中も CD のテンポを調整できます。
つなぐポイント付近でテンポを合わせ、その後オリジナルのテンポに戻したりすることができます。

アセス 自動編集録音 (A.S.E.S.) をする

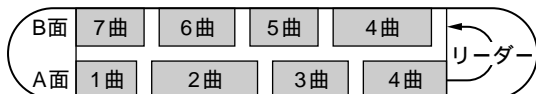


イラストはX-MDJ5です。

アセス

A.S.E.S. とは

CD または MD の曲を順に録音していきます。テープに録音する場合、曲の途中でテープが終わったときにはその曲は B 面の曲に最初から録音されます。



CD を録音するときには 3 種類の A.S.E.S. ができます。

ノーマル A.S.E.S.

ディスクに入っている順またはプログラム演奏の順に録音していく A.S.E.S. です。

ベスト A.S.E.S.

ベスト A またはベスト B の内容を録音していく A.S.E.S. です。

レンタル A.S.E.S.

ディスクの 1 曲目のみ、1 曲目と 2 曲目または 3 曲目のみをつなぎ録音していく A.S.E.S. です。

A.S.E.S. のときに CD 側で演奏モードが選ばれているときは、そのモード順に録音します。

オール : 全ディスクで A.S.E.S.

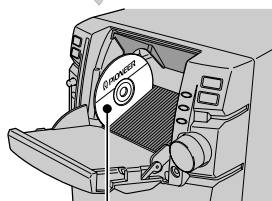
シングル : 表示ディスク 1 枚のみで A.S.E.S.

5 ディスクアクセス : 選んだ 5 ディスクアクセス (1-5 ~ 21-25 で A.S.E.S.

プログラム : 選んだ曲で A.S.E.S.

CD を MD, テープにアセスする

1 ディスクをセットする



レーベル面を右側にする

希望する順番に録音したい場合はプログラムしておきます。

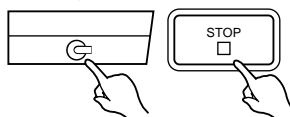
ただしディスクオールプログラムをしている場合は、A.S.E.S. はできません。

希望するディスクから録音したい場合はディスクセレクト/マルチジョグつまみでディスクを選んでおきます。



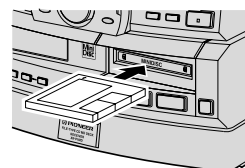
1 つのディスク挿着溝にディスクを 2 枚以上入れるとディスクを傷つけたり、故障の原因となります。

2 CD ボタンを押す

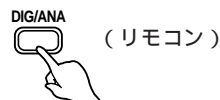


(自動的に演奏されますので必ず停止ボタンを押してください。)

3 MD に録音するときは録音用 MD を入れる



4 デジタル録音かアナログ録音かを選ぶ

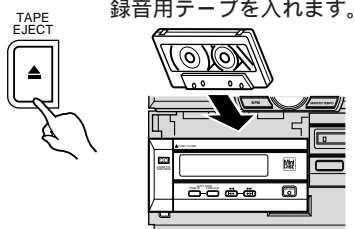


(リモコン)

アナログ録音のときには、録音レベルを調整します。

▶ P26

5 テープに録音するときはテープをセットする



録音用テープを入れます。

録音用テープはリーダー部分を先送りして磁性面にしておいてください。▶ P7

フォワード (手前面) から録音されます。

6 NR の種類を選ぶ

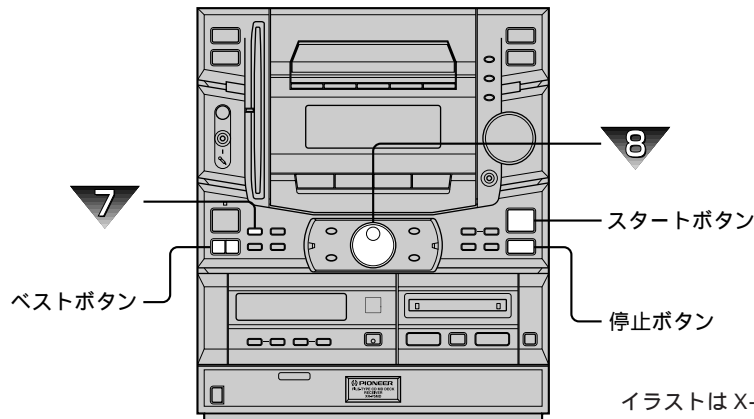
ドルビー NR 切換ボタンで NR の種類を選びます。



押すたびに ☐ オン ☐ オフ

自動編集録音
(A.S.E.S.) をする

CD を MD, テープにアクセスする



イラストは X-MDJ5 です。

7 アセス/コピーボタンを押す



ASES が点灯します。

解除するには



停止ボタンを押します。

8 何に録音するかを選ぶ



マルチジョグつまみを回して何に録音するかを選びます。

CD ▷ MD : MDに録音
 ↓
 CD ▷ TAPE : テープに録音
 ↓
 CD ▷ PARA : MDとテープに同時録音

9 アセスを開始する

ノーマル A.S.E.S. をする



スタートボタンを押します。

ベスト A、B をアセスする (ベスト A.S.E.S.)



ベスト A ボタンを押すと、ベスト A でアセスを開始します。
 ベスト B ボタンを押すと、ベスト B でアセスを開始します。



CD ▷ PARA で、MDとテープに同時録音のアセスをした時には、MD は強制的にデジタル録音になります。

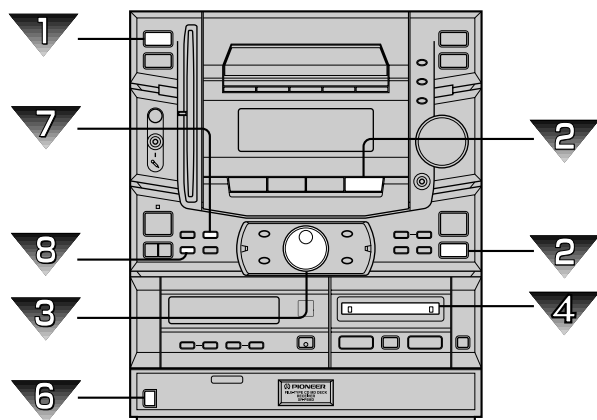
A.S.E.S. 動作時テープの終わり近くで次の曲に移ったり、CD が演奏を終えると動作が中断したりすることがあります。このような時はその曲以降を A.S.E.S. を使わないで録音してください。



CD を全曲リピートにしておくと、MDやテープを余らせずに録音することができます。
 (リピート A.S.E.S.)

自動編集録音
(A.S.E.S.)をする

CD を MD、テープにレンタルアクセスする



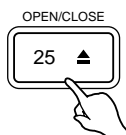
イラストは X-MDJ5 です。

CDをMD、テープにレンタルアクセスする

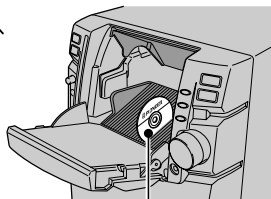
シングル CD (8 cm) の 1 曲目には、メインの曲が収録されています。そのメインの曲 (1 曲目) のみ、1 曲目と 2 曲目、3 曲目のみをつなぎどりすることができます。

例) 18 曲目 25 枚目の順にレンタル CD A.S.E.S. をする場合

1 ディスクをセットする



シングル CD (8 cm) を 18 曲目 25 枚目までのディスク挿着溝にセットします。

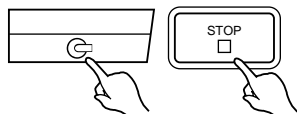


レーベル面を右側にする

注意!

1 つのディスク挿着溝にディスクを 2 枚以上いれようとするとディスクを傷つけたり、故障の原因となります。

2 CD ボタンを押す



(自動的に演奏されますので必ず停止ボタンを押してください。)

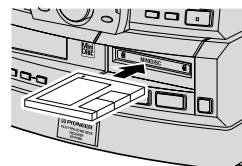
3 ディスクを選ぶ



ディスクセレクトつまみを回して、録音開始するディスクを選びます。(この場合ディスク 18)

4

MD に録音するときは録音用 MD を入れる



5

デジタル録音かアナログ録音かを選ぶ

DIG/ANA

(リモコン)



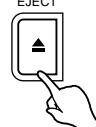
アナログ録音のときには、録音レベルを調整します。

▶ P26

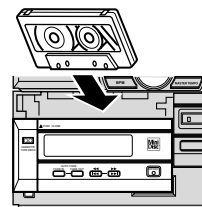
6

テープに録音するときは、テープをセットする

TAPE EJECT



録音用テープを入れます。



録音用テープリーダー部分を先送りして磁性面にしてお入れください。▶ P7

フォワード (手前面) から録音されます。

7

NR の種類を選ぶ

ドルビー NR 切換ボタンで NR の種類を選びます。

NR ON/OFF



押すたびに

オン
オフ

8

レンタルアクセスボタンを押す

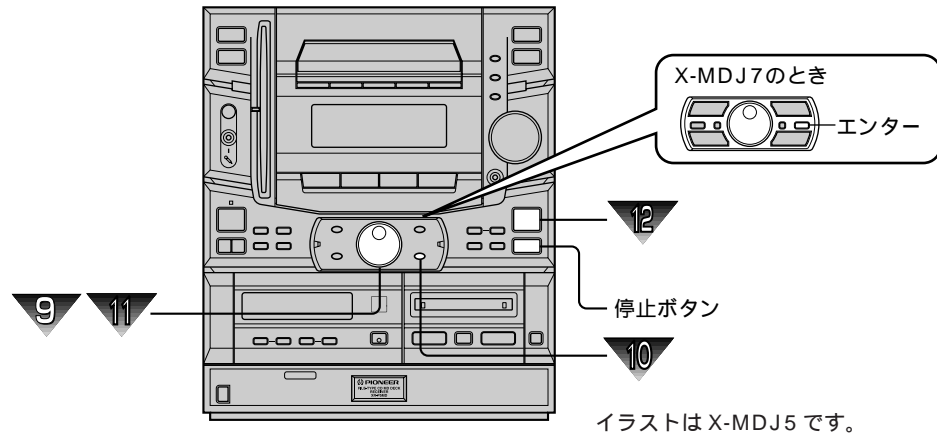
RENTAL ASES

[ASES] 1 2 が点灯します。

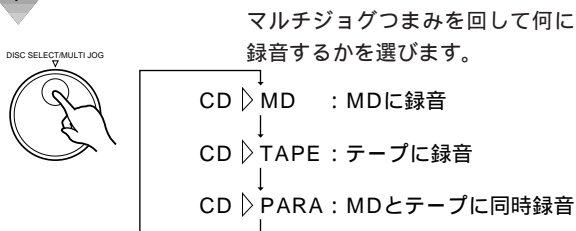


自動編集録音
(A.S.E.S.) をする

CD を MD, テープにレンタルアクセスする



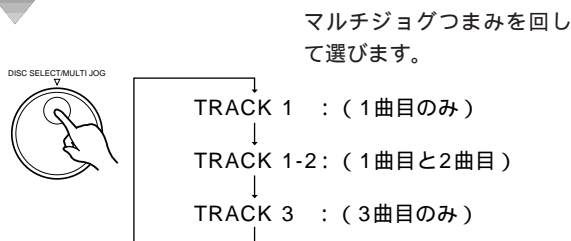
9 何に録音するかを選ぶ



10 エンターボタンを押す



11 何曲目を録音するかを選ぶ



12 スタートボタンを押す



レンタル CD A.S.E.S. が始まります。

解除するには



停止ボタンを押す。



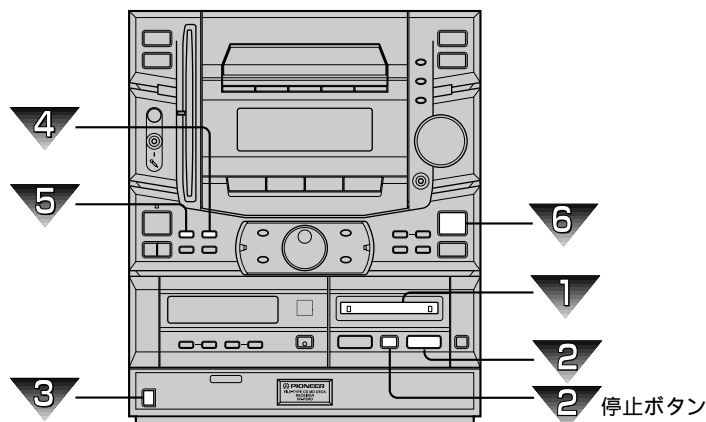
CD ▷ PARA で、MD とテープに同時録音のアセスをした時には、MD は強制的にデジタル録音になります。
レンタル CD A.S.E.S.が始まるとプログラムは解除されます。



12 cm CD でもレンタル CD A.S.E.S. はできませんが 1 曲目のみなどをつなぎとりする機能なのであまりおすすめできません。

**自動編集録音
(A.S.E.S.)をする**

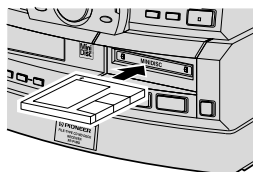
MD をテープにアクセスする
テープを MD にアクセスする



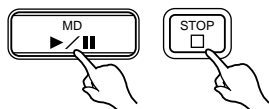
イラストはX-MDJ5 です。

MD をテープにアクセスする

1 MD をセットする



2 MD 再生 / 一時停止ボタンを押す

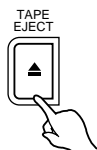


自動的に演奏されますので必ず停止ボタンを押してください。

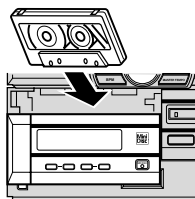
希望する曲から録音したい場合は、 で曲番を選んでおきます。

希望する順番に録音したい場合は、プログラムしておきます。

3 テープをセットする



録音用テープを入れます。



録音用テープリーダー部分を先送りして磁性面にしてお入れ下さい。 P7
フォワード（手前面）から録音されます。

4 NR の種類を選ぶ

NR
ON/OFF



ドルビー NR 切換ボタンで NR の種類を選びます。

押すたびに オン
オフ

5 アセス/コピーボタンを押す

ASES/COPY



ASES H1 が点灯します。

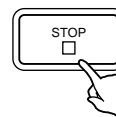
MD ▶ TAPE と表示されます。

6 スタートボタンを押す



アセスがはじまります。

解除するには



停止ボタンを押す

注意!

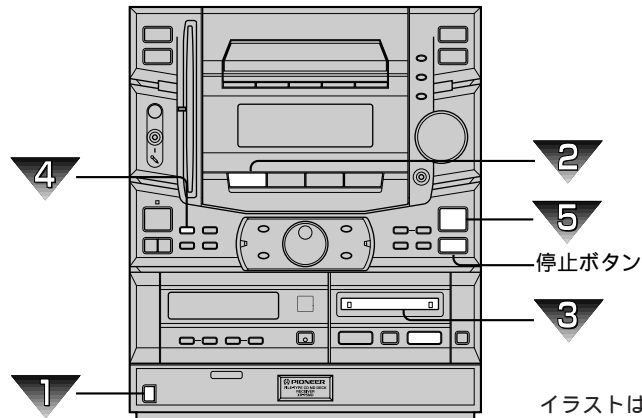
A.S.E.S. 動作時テープの終わり近くで次の曲に移ったり、MDが演奏を終えると動作が中断したりすることがあります。このような時はその曲以降を A.S.E.S. を使わないで録音してください。



MDを全曲リピートにしておくと、テープを余らせずに録音することができます。
(リピート A.S.E.S.)

自動編集録音
(A.S.E.S.) をする

テープを MD にアクセスする

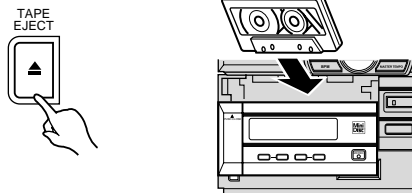


イラストは X-MDJ5 です。

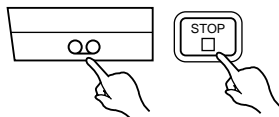
テープを MD にアクセスする

1 テープをセットする

フォワード (手前面) から再生されます。

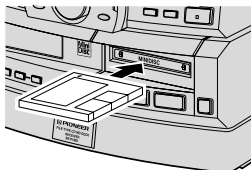


2 テープボタンを押す



自動的に演奏されますので必ず停止ボタンを押してください。

3 録音用 MD を入れる



録音レベルを調整します。P26

4 アセス / コピーボタンを押す

ASES/COPY



ASES 11 が点灯します。

TAPE ▶ MD と表示されます。

5 スタートボタンを押す



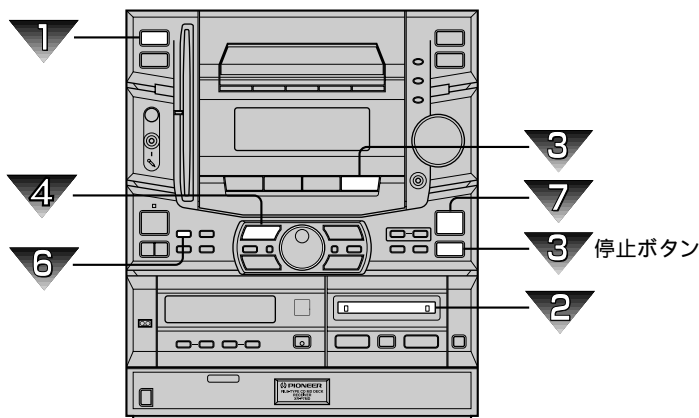
アセスがはじまります。

解除するには



停止ボタンを押す

X-MDJ7 のみの機能です。



リミックスで CD を MD にアクセスする

リミックスでのアクセスは 1 曲のみの録音となります。

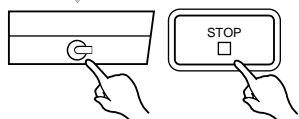
1 ディスクをセットする

セットのしかたは、➡ P60 手順 ① をご覧ください。

2 録音用 MD を入れる

セットのしかたは、➡ P60 手順 ② をご覧ください。
録音レベルを調整します。➡ P26

3 CD ボタンを押す



自動的に演奏されますので、必ず
停止ボタンを押してください。

4 リミックスボタンを押す



リミックスをオン（リミックス
ボタンが点灯）にします。

5 希望の曲またはキューポイントを選ぶ

停止中に希望の曲を選ぶ

BPM ボタンで経過時間表示にしてから、ディスクセレクトつまみで希望のディスクを選び、◀◀、▶▶ ボタンで希望の曲を選びます。

キューポイントで演奏待機する

➡ P56 “CD の頭出し位置（キューポイント）で演奏待機する” をご覧ください。

6 アセス / コピーボタンを押す

ASES/COPY



ASES ① が点灯します。

CD ▶ MD と表示されます。

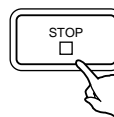
7 スタートボタンを押す



アセスがはじまり、1 曲の演奏を終了すると CD はキューポイントで演奏待機となり、MD は停止します。

解除するには

停止ボタンを押します。

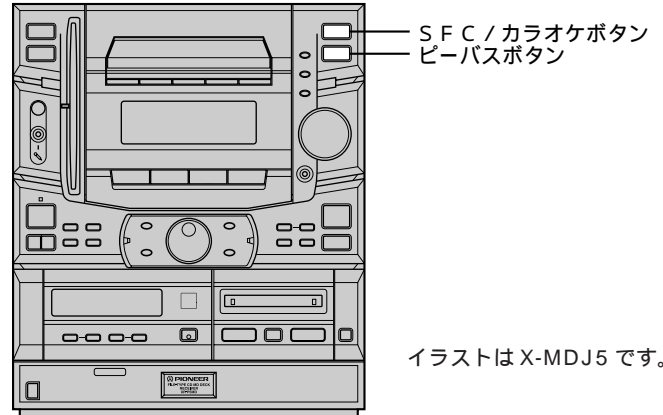
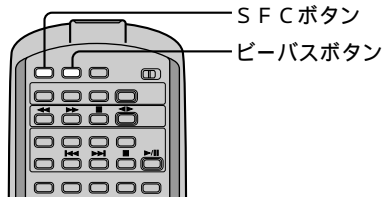


希望のテンポやマスターテンポでの録音ができます。設定のしかたは、➡ P55 をご覧ください。

音質 / 音場効果を変えて楽しもう

SFC（サウンドフィールドコントロール）とは、4種類の音場（HALL、MOVIE、LIVE、DISCO）を選ぶとそれぞれの音場で聞いているような雰囲気音を作り出します。

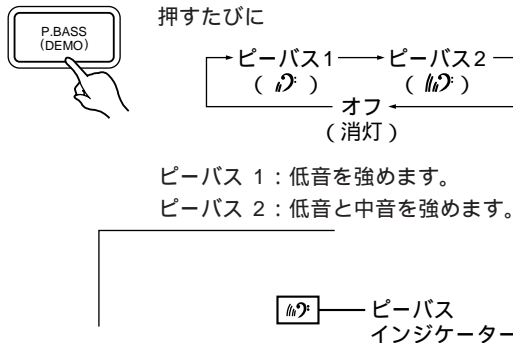
ピーバスは低音または低音と中音を強めて迫力ある音にします。



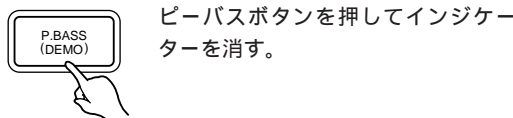
イラストはX-MDJ5です。

ピーバスで低音、中音を強めよう

ピーバスボタンを押す



解除するには

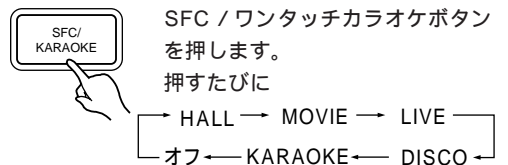


注意! ピーバスおよびサウンドフィールドコントロールは、録音中、サウンドミックス中またはリミックスがオンのときには操作できません。(オフになります。)

音場モードを切り換えてみよう

サウンドフィールドコントロールを切り換えてみよう

SFC ボタンを押す

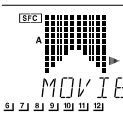


リモコンの SFC ボタンではカラオケは選択できません。



HALL を選ぶ

豊かな音の広がりをもったコンサートホールの音場です。



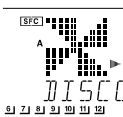
MOVIE を選ぶ

映画ソフトに適した会話や効果音に立体感が出る音場です。



LIVE を選ぶ

臨場感たっぷりのライブハウスの音場です。



DISCO を選ぶ

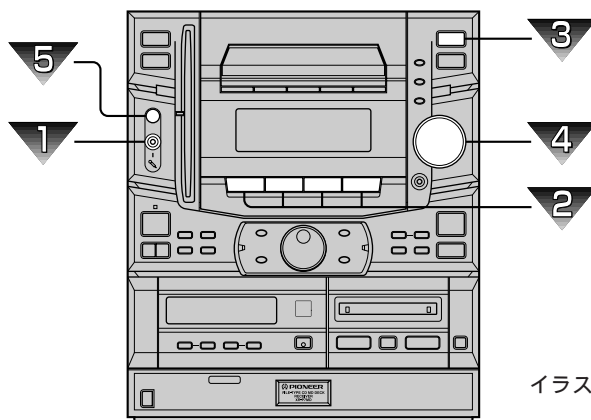
迫力の重低音でビートのきいたディスコの音場です。

解除するには



SFC / カラオケボタンを押しオフにする

カラオケ機能を楽しもう



イラストは X-MDJ5 です。

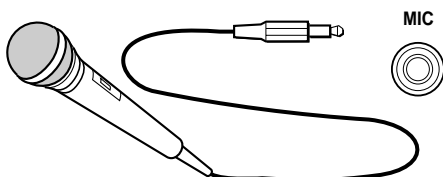
ワンタッチカラオケ機能とは

ステレオソース (CD、MD、テープ、FM 放送など) のボーカル帯域を低減させて再生する機能です。マイクを使って歌えば、簡単にカラオケ風ソフトを楽しむことができます。

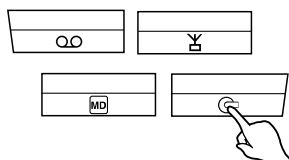
(ただしこの機能はボーカル帯域を低減させる機能であり、音声を完全に消去するわけではありません。またモノラルソースには効果はありません。)

1 マイク端子にマイクをつなぐ

マイクはミニプラグタイプ (3.5) のものを使用してください。



2 演奏する機器を選び演奏する



ファンクションボタンで演奏する機器を選び演奏します。

テープは他のソースに比べて効果が落ちます。

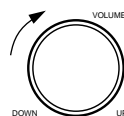
3 “KARAOKE” に切換える



S F C / カラオケボタンで “KARAOKE” 位置に切換えます。



4 音量を調節する



音量調節つまみで音量を適当なところまで上げます。

5 マイクの音量を調整する



マイクレベル調整つまみでマイクの音量を調整する。



デュエット曲などボーカルが左右に別れている曲や、エコーの強い曲、ソースの録音状態などによっては効果が十分に得られない場合があります。

ワンタッチカラオケ機能のときに MD、テープで録音操作を行えば、マイクキシングした音が録音できます。入力切替で MD、テープを選んだときはミキシング録音することはできません。



ハウリング (“ピーッ” といういやな音) が起きたら次の操作を行ってください。

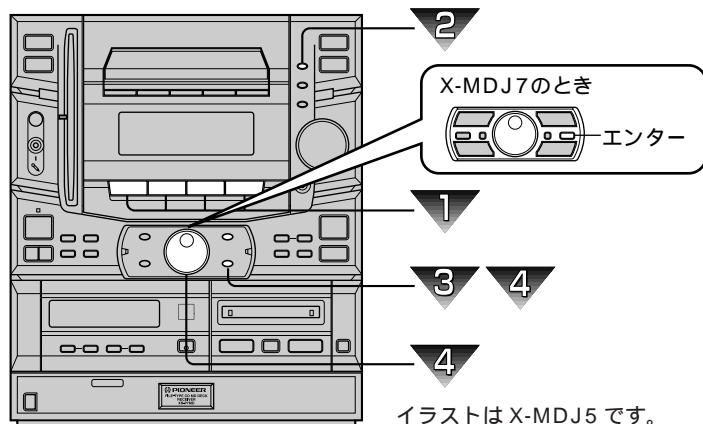
- (1) マイレベルつまみを左側に回します。
- (2) マイクをできる限りスピーカーから離します。
- (3) 音量を下げます。



マイクを使わないとき、マイクを抜くときはマイクレベルを最小 (MIN) にしてください。サウンドミックス中またはリミックスがオンのときにはワンタッチカラオケは機能しません。

アメニティータイマーを使ってみよう

時刻を合わせてください。▶P14



イラストはX-MDJ5です。

好きな音楽で目覚める

(ウェイクアップタイマー)

例) 午前 7 時 30 分から午前 9 時 00 分まで設定する場合 (ファンクションが FM の 87.50MHz で設定します)

“まずはじめに”

再生したい機能の準備をする。

CD: ディスクをセットしておきます。
演奏はパワースタンバイする前に聞いていたディスクではじまります。

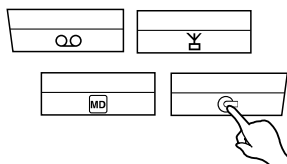
MD: MD をセットしておきます。

チューナー: 聞きたい放送局に合わせてください。
タイマー設定時の放送局が記憶されます。

テープ: カセットテープをセットしておきます。
(再生はテープ のフォワード()方向から始まります。

音量調整つまみを好みの位置にする。

1 目覚ましの音源を選ぶ



電源を入れ目覚しにするファンクションボタンを押し、音源を選択します。

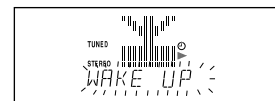
(CD・MD・テープを選択した時は、自動的に演奏されますので必ず停止ボタンを押してください)

2 タイマー録音 / ウェイクアップボタンを押す

TIMER REC / WAKE-UP



ウェイクアップタイマーが表示されます。



3 エンターボタンを押す



タイマー設定待機状態になり、ON の“時”が点滅します。

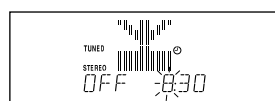


4 タイマー開始時間を設定する

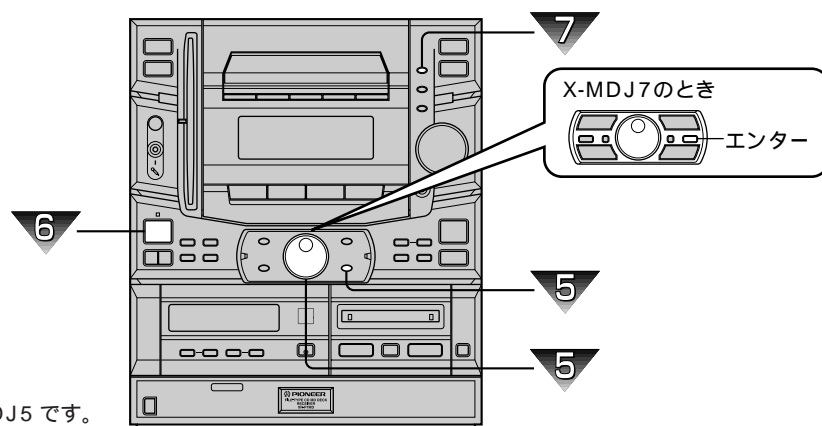
“時”を設定する



“分”を設定する



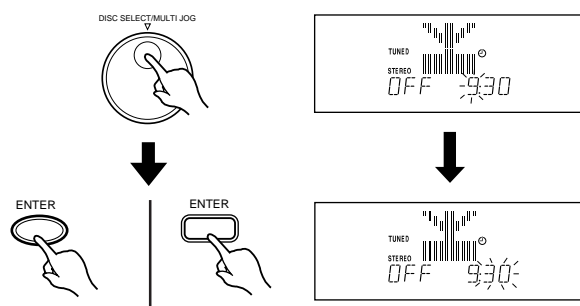
自動的に、開始時間の 1 時間後を表示します。



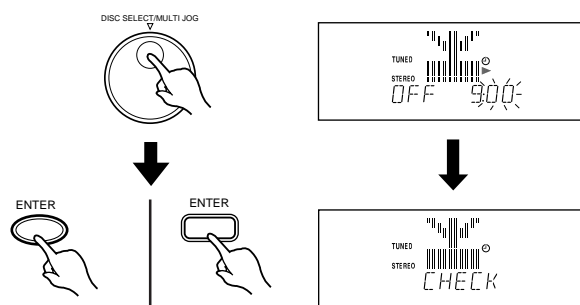
イラストは X-MDJ5 です。

5 タイマー終了時間を設定する

“時”を設定する

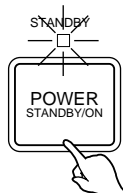


“分”を設定する



チェックモードになり開始時間、終了時間、ファンクション内容、ボリュームレベルを表示します。

6 電源ボタンを押す



電源ボタンを押して電源を切りま
す。

7 タイマー録音 / ウェイク アップボタンを押す

TIMER REC
WAKE-UP



タイマー録音 / ウェイクアップボ
タンを押して“⌚”を点灯させる。
チェックモードになります。

解除するには

TIMER REC
WAKE-UP



タイマー設定後または設定中に
タイマー録音 / ウェイクアップボ
タンを押してタイマーインジケ
ーター“⌚”を消します。



CDを選んだときはラストディスクメモリー機能
➡P20 をもっているため、電源を切る前に聞い
ていたディスクでウェイクアップタイマーが動作
します。

ウェイクアップタイマーは、解除しない限り毎
日、同時刻に実行されます。音量は設定したレ
ベルまでフェードイン（徐々に大きくなる）し
ます。

タイマーの内容を変えるときや設定操作中に内
容を間違えたときは最初から入れ直してくだ
さい。

タイマー動作中、タイマーボタンを押すと動作
解除となります。

タイマー動作中にスリープを設定するとオフの
時刻が早い方が優先されます。



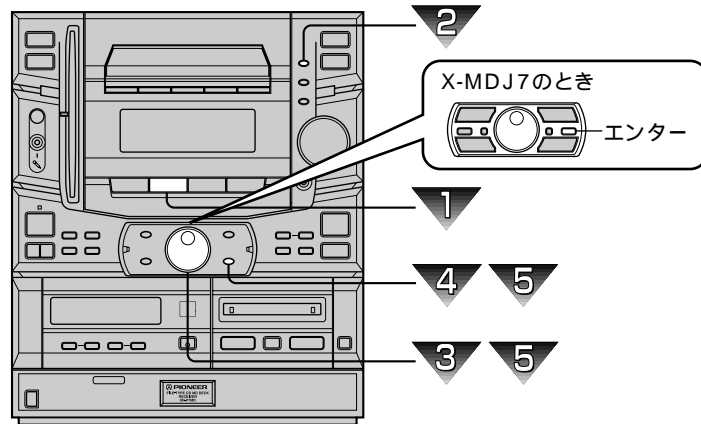
ウェイクアップタイマーと録音タイマー ➡P71
との併用はできません。

アメニティー
タイマー

タイマー録音

時刻を合わせてください。▶P14

イラストはX-MDJ5です。



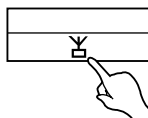
留守録音する（タイマー録音）

タイマー設定した時間に FM、AM 放送を録音します。
例) 午前 7 時 30 分から午前 9 時 00 分まで設定する場合。

“まずはじめに”

録音用 MD ディスクをセットする。または、テープに録音用カセットテープを入れる。（録音はフォワードから始まります。）
チューナーは、録音したい放送局に合わせてください。
ここで設定した放送局が記憶されます。
タイマー録音時の音量は最小となります。

1 チューナーボタンを押す



希望の放送局を選択します。

2 タイマー録音 / ウェイクアップボタンを押す



3 “タイマーレコ” “REC” を選ぶ



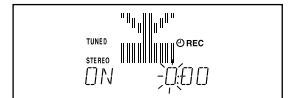
マルチジョグつまみを回して、“REC” を表示させます。



4 エンターボタンを押す



タイマーレコ設定待機状態になり、ON の時が点滅します。

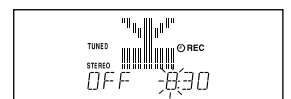


5 タイマー開始時間を設定する

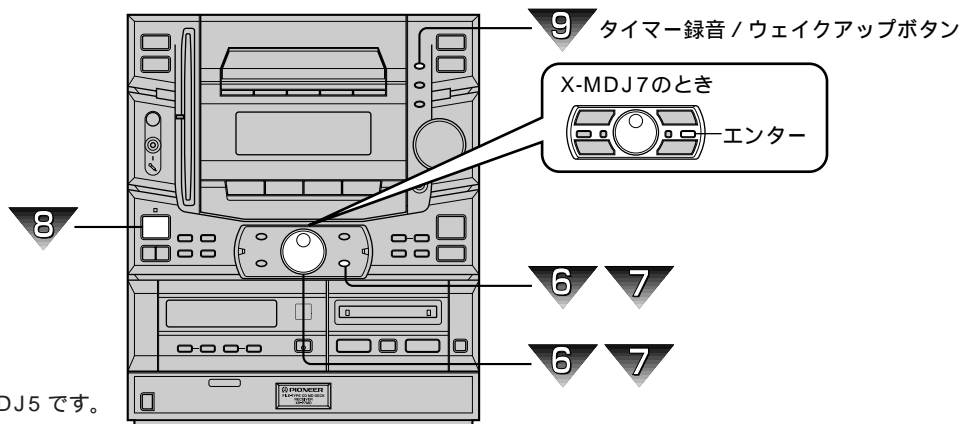
“時” を設定する



“分” を設定する



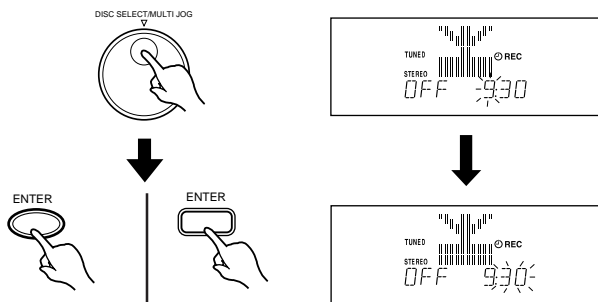
自動的に、開始時間の 1 時間後を表示します。



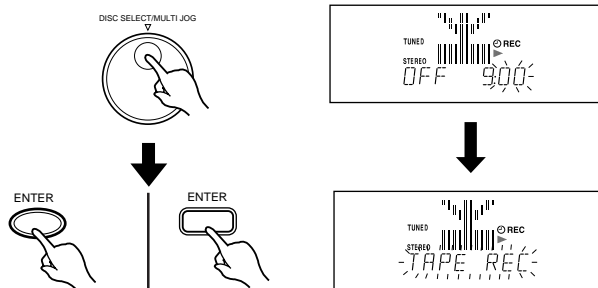
イラストはX-MDJ5です。

6 タイマー終了時間を設定する

“時”を設定する



“分”を設定する

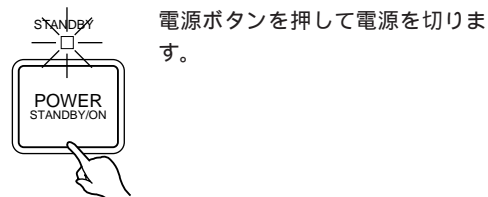


7 録音機器を選びエンターボタンを押す

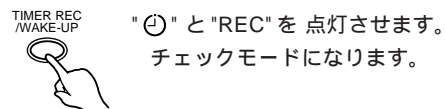


マルチジョグつまみを回して、“TAPE REC”(テープに録音)か“MD REC”(MDに録音)かを選び、エンターボタンを押して決めます。
チェックモードになり開始時間、終了時間、録音放送局、録音機能、ボリュームレベルを表示します。

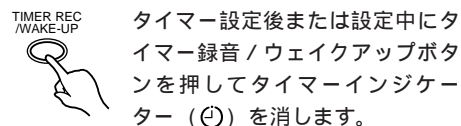
8 電源ボタンを押す



9 タイマー録音 / ウェイクアップボタンを2回押す



解除するには



注意!

ウェイクアップタイマー (P69) と録音タイマーとの併用はできません。

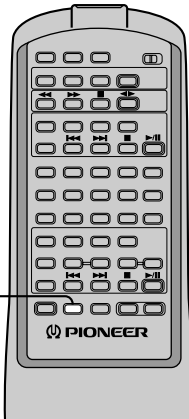


留守録音は一度実行すると設定解除となります。タイマーの内容を変えるときや設定操作中に内容を間違えたときは最初から入れ直してください。
タイマー動作中、タイマー録音 / ウェイクアップボタンを押すと動作解除となります。
タイマー動作中にスリープを設定するとオフの時刻の早い方が優先されます。

アメニティー
タイマー

スリープタイマー

スリープボタン



音楽を聞きながら眠る

(スリープタイマー)

設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。

解除するには

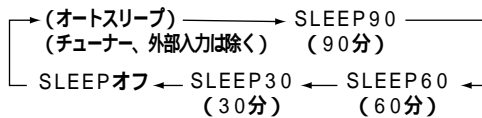
スリープボタンを押して、スリープオフにする。

(★インジケーターが消灯します。)

スリープボタンを押す



押すたびに



例) 30 分後に電源を切るとき



表示部が暗くなります(ディマー機能)

スリープ動作中にスリープボタンを押すと、現在の残り時間を表示します。

もう一度押すと、タイマー設定が切り換ります。

オートスリープとは

CD・MD・テープの再生中、録音中に選べます。再生または録音が終了後、自動的に電源がオフになります。テープはリバース再生()が終了すると電源がオフになります。

CDまたはMDのリピート演奏中はオートスリープは選べません。

CDの再生の場合は演奏モードにより以下ようになります。

- オール : 25 枚目の演奏終了後電源がオフになります。
- シングル : 現在演奏中のディスクの演奏終了後電源がオフになります。
- 5ディスクアクセス : 選択5ディスクアクセスモードの演奏終了後電源がオフになります。



X-MDJ7 の場合

リミックス機能 (P53) がオンのときは、オートスリープは選べません。

増設 CD プレーヤーを使う

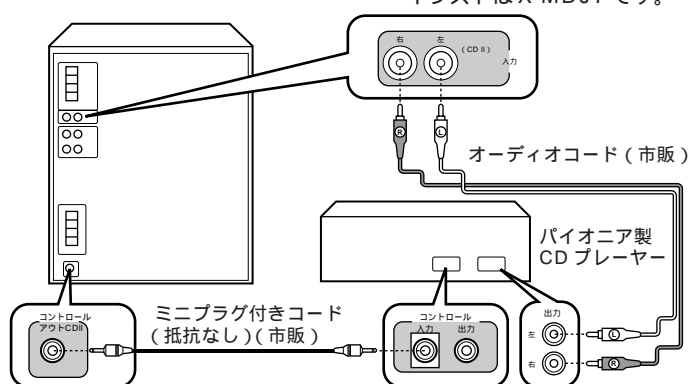
コントロール端子を持つパイオニア製 CD プレーヤーを接続すれば、本機のリモコン受光部を使用できます。

1 接続する

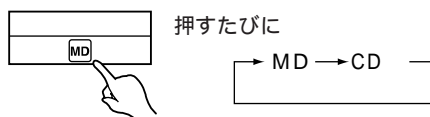
本機の入力 (MD/CD) 端子と CD プレーヤーの出力端子を接続します。

本機のコントロールアウト CD 端子と、コントロール入力端子を持つパイオニア製 CD プレーヤーを接続します。

イラストは X-MDJ7 です。



2 外部入力に (CD) 切り換える



3 動作させる



本機のリモコン CD 再生ボタンを押します。または接続した CD プレーヤーのリモコンで動作させます。

動作内容は接続した CD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

注意!

外部入力切り換えファンクション (MD/CD) に設定されていないと接続した CD プレーヤーを動作させられません。
本機の入力端子と CD プレーヤーの音声出力端子を接続していないと CD プレーヤーを動作させられません。

日ごろのお手入れ

ヘッドは汚れていませんか？

* いままでにお客様の所で、カセットデッキのヘッド汚れによるこんな故障がありました。

正常に録音できない・音がこもっている

高音がでない・正常に再生しない

音がでない・音がおかしい

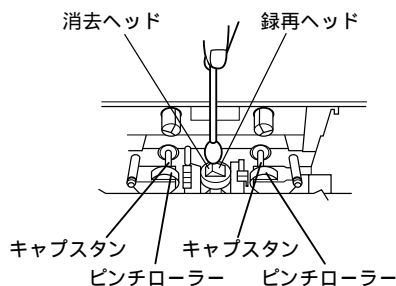
* それほどにヘッド部の清掃は重要なのです。

製品を自分で故障させないために、いつもきれいにしておいてください。

おおよそ、10 時間程度の使用を目安に汚れを拭きとってください。

清掃のしかた

ヘッドクリーニング棒または綿棒をクリーニング液、あるいは無水アルコールで軽くしめらせ、下図に示された部分を軽く拭きます。



注意!

清掃後は、クリーニング液が乾くまで(2 ~ 3 分) テープをセットしないでください。

クリーニングカセットについて

市販されているクリーニングカセットの中には、構造不備のため、クリーニングカセット自体が取り出せなくなる恐れのあるものがありますのでご注意ください。当社別売りのカセットクリーニングキット "JV-CI" を使うと便利です。

カセットデッキのヘッドの消磁

長時間カセットデッキを使ったり、磁石やドライバーなどを近づけると、ヘッド部が磁化され雑音が発生したり高音が低下する原因となりますので、市販のカセットタイプのヘッドイレーサーで定期的にヘッドを消磁してください。

ヘッドの消磁をするときは、本機の電源をオフにして、アンプの音量は必ず最小にしてください。またヘッドホンのプラグは端子から抜いておいてください。

CD レンズクリーナーについて

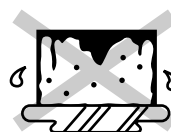
ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されている CD レンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるもの、あるいはディスクが取り出せないものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ~ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを抜きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について



本機を冷えた状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

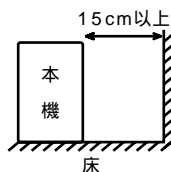
このような場合には 1 時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

音のエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。

設置について



本機の後側には通風用の空冷ファンがあります。吹き出し口をふさいだり通風の流れを止めたりすると誤動作の原因となります。そのため、本機の後側と壁との距離は 15 cm 以上離してください。

故障？ ちょっと調べてください

故障かな・・・？ と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのバイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	症 状	原因と思われること	処 置	
全てに共通	使用中に電源が切れてしまう。	空冷ファンの吹き出し口をふさいでいる。	設置しなおしてください。	
	音が出ない。	電源プラグがはずれている。 すべてのコードが完全に接続されていない。 入力切換が正しく選択されていない。	電源プラグを正しく接続する。 接続のしかたを参照して、正しく接続する。 聞きたい機器を選択する。	
テープ関係	カセットドアが開かない。	テープ走行中に電源コードを抜いた。	電源コードを入れ直す。	
	録音ができない。	誤消去防止用ツメが折れている。	テープを交換するか、またはツメの部分にセロハンテープを貼って穴をふさぐ。	
	音がこもる。録音済みのテープの上から重ねて録音したとき、前の音が残る。	ヘッドが汚れている。	ヘッドを清掃する。	
	音がこもる。高音が強すぎる。	ドルビー NR 切換ボタンが録音したときと同じになっていない。	ドルビー NR 切換ボタンを切り換える。	
	ミュージックサーチ (MS) ができない。	曲間の無録音部分が 4 秒以上ないテープを使用している。	無録音部分が 4 秒上あるテープを使用する。	
CD関係	再生ボタンを押しても演奏が始まらない。	ディスクの裏表を逆にセットしている。 ディスクに汚れやくもりなどがある。 ディスクに大きなキズやソリなどがある。 再生しようとしたディスク番号の位置にディスクがセットされていない。	ディスクのレーベル面 (印刷のある面) を右側にし、正しくセットする。 ディスクをクリーニングする。 ディスクを交換する。 ディスクをセットする。	
	25オープン / クローズボタンを押してもドアパネルが開かない。	演奏している。 ディスクサーチ中及び演奏終了後約 10 秒以内のとき。	ディスクの演奏を停止し 10 秒以上まつ。 停止ボタンを押し 10 秒以上まつ。	
	CD プレーヤーを増設したが動作しない。	ファンクションが外部入力切り換え (CDII) になっていない。	ファンクションを外部入力 (CDII) に設定する。	
	ミニMD/J-CD × 2	リミックスがオンの時に曲の頭出しが終了しない。	曲の頭の無音部分が長いためキューポイントが見つからない。	しばらくすると通常の演奏をはじめる。
		リミックスがオンの時の演奏中にキューボタンを押してもバックキュー機能が働かない。	キューポイントを設定していない。	キューポイントを設定して、キューボタンを点灯させる。
CD を一時停止やキューポイントで演奏待機させていたが、いつのまにか停止している。		一時停止やキューポイントで演奏待機させてから約 1 時間経過すると自動的にディスクの回転を停止します。	再度希望の操作をする。	
MD関係	録音ができない。	MD が誤消去防止状態になっていませんか？ 再生専用の MD (市販の音楽ソフト) に録音しようとしていませんか？ " TOC FULL " になっていませんか？	誤消去防止状態を元に戻す。 録音用 MD を使用する。 他の録音用 MD を使用する	
	MD を入れても " NO DISC " や " ERR " が表示される。 再生音がとぎれる。	ディスクにキズがついていませんか？ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか？ つゆつき現象が起きていませんか？	MD をもう一度入れなおす。 振動のない、水平な場所に設置する。 MD を取り出し、電源を入れて 1 時間程待つ。	
放送関係	放送が聞こえない、聞き苦しい。	アンテナが接続されていない。 アンテナの向き、位置が悪い。 電気器具 (蛍光灯、ドライヤーなど) を使用している。	アンテナを正しく接続する。 アンテナの向きや位置を調整する。 雑音を発生させる機器の使用をやめる。	
	放送がステレオなのにステレオにならない。	表示部のモノインジケーターが点灯している。	モノボタンを押してモノインジケーターを消灯する。	
その他	タイマーが動作しない。	現在時刻の設定がされていない。	現在時刻を設定する。	
	リモコンがきかない。	リモコンの電池がなくなっている。 蛍光灯がリモコン受光部の近くにある。	新しい電池に換える。 蛍光灯をリモコン受光部から離す。	
	カラオケ機能などでマイクを使っているときに、雑音が聞こえる。	電気器具 (蛍光灯、ドライヤーなど) を使用している。	雑音を発生させる機器の使用をやめる。	

MD 表示の意味については次ページをご覧ください。

テレビを近くに設置した場合に、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

故障？ ちょっと調べてください

こんな表示が出たときは

表示	意味	このようにしてください
ノーマル ディスク NO DISC	MDが入っていない。 MDのデータが読めない。	MDを入れる。 MDをもう一度入れ直す。
ディスク エラー DISC ERR	ディスクにキズがついている。 TOCがMDに書き込まれていないか、データに異常がある。	MDをもう一度入れ直す。 他のMDと取り換える。
アンノウン ディスク UNKNOWN DISC	データに異常がある。規格外のMDである。	他のMDと取り換える。
ユーティリティ エラー UTOC ERR	記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか、読み取れない。	他のMDと取り換える。 オプティカルディスクをし、録音をやり直す。
ディスク フル DISC FULL	MDに録音できる空きがない。	他の録音用MDと取り換える。
ブランク ディスク BLANK DISC	何も記録されていない。 (音楽もディスク名も記録されていない。)	再生するときは、録音されたMDと取り替える。
ノーマルトラック NO TRACK	音楽が録音されていない。	録音されたMDと取り替える。
プリマステッド PREMASTERED	再生専用MDに録音や編集をしようとした。	録音用MDと取り替える。
プロテクト PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止状態をもとに戻す。
トラック フル TOC FULL	曲番や文字情報(ディスク名/曲名など)を登録する空きがない。	他の録音用MDと取り換える。
キャント レコード Can't REC	ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	録音をやり直すか、MDを換えてみる。
テンプレット オーバー TEMP OVER	温度が高くなりすぎた。	電源を切ってしばらく休ませる。
キャント エディット Can't EDIT	編集できない。	曲の停止位置を変えて、編集し直す。
ネーム フル NAME FULL	ディスク、曲名の合計が1700文字をこえている。	ディスク名/曲名を短くする。
デフェクト DEFECT	ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。	他の録音用MDと取り替える。
メカ エラー MECHA ERROR	MDが正しく働いていない。	MDの停止ボタンを押す。それでも表示が出る場合、ACプラグを抜いて再度つないでみる。
キャント コピー Can't COPY	コピー禁止のものから録音しようとした。	コピー可能なもの(一般のCDなど)に換える。(表示が消えた場合は、そのままお使いいただけます。)
ノット オーディオ NOT AUDIO	オーディオ用でないデータが記録されている。	他の曲を選ぶ。 MDを取り替える。
ユーティリティ ライトエラー UTOC W ERR	ショックやディスクのキズでTOC情報が正しく作成できない。	電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。 (書き込み中はショックを与えないで下さい。)
ユーティリティ リードエラー UTOC R ERR	記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか、読み取れない。	他のMDと取り換える。 オプティカルディスクをし、録音をやり直す。

仕様

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

チューナーアンプ部

アンプ部	
実用最大出力 (EIAJ)	
1kHz、10%、8	70W + 70W (フロントアンプ)
FM チューナー部	
受信周波数	76.0 ~ 108MHz
アンテナ	75 不平衡型
AM チューナー部	
受信周波数	522kHz ~ 1,629kHz (9kHz ステップ)
	530kHz ~ 1,700kHz (10kHz ステップ)
アンテナ	ループアンテナ (付属)

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック 2チャンネルステレオ
録音 / 再生ヘッド	ハードパーマロイヘッド × 1
消去ヘッド	フェライトヘッド × 1
モーター	DC サーボモーター × 1
周波数特性	
TYPE II (HIGH / クローム) テープ	
	* 35Hz ~ 15,000Hz ± 6dB
	(- 20dB 録音時)
TYPE I (ノーマル) テープ	
	* 35Hz ~ 14,000Hz ± 6dB
	(- 20dB 録音時)
SN 比	* 56dB (ピーク録音レベル、聴感補正)
DOLBY B タイプ NR ON	5kHz で 10dB 改善
* 印は日本電子機械工業会 (EIAJ) 規格に定められた測定方法による数値です。	

コンパクトディスクプレーヤー部

型式	コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク	コンパクトディスク
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
プログラムステップ	32 ステップ

ミニディスクレコーダー部

型式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル (ステレオ)
周波数特性	20Hz ~ 20,000Hz
サンプリング周波数	44.1kHz

電源部・その他

電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力 (電気用品取締法)	120W
外形寸法	260 (幅) × 310 (高さ) × 371.5 (奥行) mm
重量	11.5kg

スピーカーシステム部

型式	15cm 3way ブックシェルフ型、防磁設計 (EIAJ)
使用スピーカー (3ウェイ方式)	
低音用 (ウーファー)	15cm (コーン型)
中音用 (ミッドレンジ)	5.2cm (コーン型)
高音用 (トゥイーター)	2cm (ドーム型)
公称インピーダンス	8
再生周波数帯域	32 ~ 20,000Hz
最大入力	100W (EIAJ)
外形寸法	200 (幅) × 310 (高さ) × 292 (奥行) mm
重量	4.2kg

* 「防磁設計 (EIAJ)」とは、(社)日本電子機械工業会 (EIAJ) の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

付属品

保証書	1
取扱説明書	1
安全上のご注意	1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	1
FM アンテナ	1
AM ループアンテナ	1
リモートコントロールユニット	1
単 3 形乾電池 (R6P)	2
スピーカーコード (スピーカー部に付属)	2
ディスクケーススタンド	1

本機はドルビーラバトリーズライセンスニングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

アフターサービス

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 8 年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。

所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

もう一度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから修理を依頼してください。

保証期間中の修理

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

最寄りのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。保証書の規定に従って修理いたします。

連絡していただきたい内容

ご住所・ご氏名・電話番号

製品名・型番・ご購入日（製品名：X-MDJ5またはX-MDJ7）

故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

訪問のご希望日

ご自宅までの道順と目標物（建物、公園など）

保証期間が過ぎているときの修理

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。



ステップ周波数を切り換えるには

国内では通常 FM 放送は 50kHz ごとに、AM 放送は 9kHz ごとにかわるように設定されていますが（ステップ周波数）これを FM 放送は 100kHz ステップに、AM 放送は 10kHz ステップに変えることができます。


1. 電源をオフにする。

2. 周波数 / ステーションボタンを押しながら、電源をオンにする。

もう一度同じ操作をすると FM 放送は 50kHz ステップに、AM 放送は 9kHz ステップに戻ります。なお、国内の AM 放送は 9kHz ステップで受信できる周波数で放送されています。AM 放送を 10kHz ステップにすると国内のラジオ番組を受信することができません。

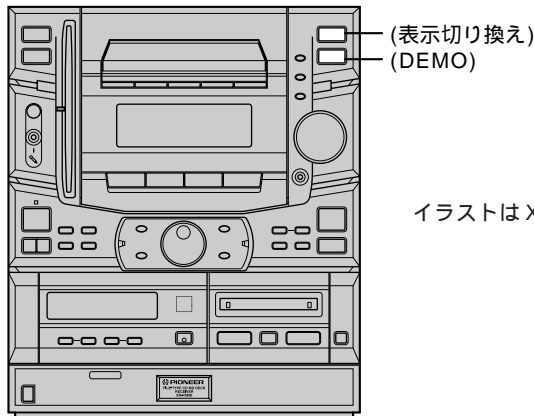
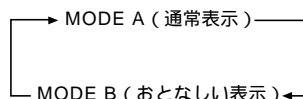
デモモードについて

デモモードについて

- 電源プラグをコンセントに接続するとデモモードになり電源オンになります。電源オフのときにP.BASS (DEMO) ボタンを約 3 秒間押しつづけても、デモモードになり電源オンになります。デモモードではこのシステムのバラエティーに富んだ機能が表示部に表示されます。
- デモモードを解除するには、本機及びリモコンの電源オンに関するボタン  P15 または、本機の P.BASS (DEMO) ボタンを約 3 秒間押ししてください。
- 電源プラグをコンセントに接続したときにデモモードに入らないようにするには、デモモード表示中に P.BASS (DEMO) ボタンを約 3 秒間押しつづけてください。

表示切り換えについて

- 電源オフ (スタンバイ) 状態で SFC / ワンタッチカラオケボタンを押すと表示モードを切り換えることができます。



イラストは X-MDJ5 です。

お客様ご相談窓口 (修理に関しては別添「ご相談窓口・修理窓口のご案内」参照)

お客様相談センター	TEL 03-3491-8181	
技術相談窓口	札幌 TEL 011-644-4779	大阪 TEL 06-353-3705
	仙台 TEL 022-375-4417	広島 TEL 082-228-2239
	名古屋 TEL 052-532-1141	福岡 TEL 092-441-8076

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検 (有料) をご依頼ください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。